



取扱説明書 -本体編-

ATUC-50

デジタル有線会議システム

専用マイクロホン
ATUC-M43H/58H/M32L

会議マイクユニット
ATUC-50DU/ATUC-50DUa

通訳者ユニット
ATUC-50INT

コントロールユニット
ATUC-50CU

インテグレーションユニット
ATUC-50IU

リンクエクステンダー
ATLK-EXT165/ATLK-EXT25

投票ユニット
ATUC-VU

ATUC-IR

ハイブリッド赤外線会議システム

専用マイクロホン
ATUC-M43H/58H/M32L

IR会議マイクユニット
ATUC-IRDU

ハイブリッドコントロールユニット
ATUC-IRCU

ハイブリッドコントロールユニット(Dante搭載)
ATUC-IRCUDAN

IR受発光ユニット
ATUC-IRA

IR分配器
ATUC-IRD

充電器
ATCS-B60

目次

はじめに	4	ATUC-50INT	14
取扱説明書について	4	ATUC-50DU/INT共通	15
本書の記載について	4	ATUC-M	15
本書の構成について	4	ATUC-50IU	16
商標について	4	ATLK-EXT165	22
ATUC-50CUの付属品	4	ATLK-EXT165の取り付けかた	23
ATUC-50IUの付属品	4	ATLK-EXT25	25
ATLK-EXT165の付属品	4	Audio-Technica LINK A端子の電源ON / OFF	26
ATLK-EXT25の付属品	5	モードスイッチで電源供給を設定する	27
ATUC-IRCU/IRCUDANの付属品	5	ATLK-EXT25の取り付け方	28
ATUC-IRDUの付属品	5	ATUC-VU	29
ATUC-IRAの付属品	5	ATUC-50CUで設定を変更する	30
ATCS-B60の付属品	5	文字を入力するには	31
システムの設置について	5	通訳者ユニット(ATUC-50INT)の概要	32
ラックに設置するときは	5	有線システムの接続と構築	34
アンバランス(不平衡)接続の場合は	5	機器を接続する	34
電源コードを接続する場合は	5	❶ 50CUに50DU/INTを接続する	34
お手入れをするときは	5	❷ 50DU/INT同士を接続する	35
本会議システム	6	❸ 50DU/INTにマイクロホンATUC-Mを接続する	48
特長	6	❹ アンプを接続する	48
ATUC-50/ATUC-IRシステムの特長	6	❺ 50CUの電源を入れて50DUの動作確認を行う	48
Audio-Technica LINKについて	6	❻ ネットワークに接続する	49
ATUC-50CUの特長	6	❼ PCやモバイル機器をネットワークに接続する	49
ATUC-50DU/50DUa/INTの特長	6	ATUC-IRシステム	51
ATUC-IRCU/IRCUDANの特長	6	IRシステム接続例	51
ATUC-IRDUの特長	7	各部の名称と機能(ATUC-IRシステム) ..	52
ATUC-IRAの特長	7	ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDAN	52
ATUC-50IUの特長	7	フロントパネル	52
ATLK-EXT165の特長	7	リアパネル	54
ATLK-EXT25の特長	7	ATUC-IRDU	55
ATUC-VUの特長	7	受光範囲	57
ATUC-M43H/58H/32Lの特長	7	ATUC-M	57
オプション品(当社別売)について	8	ATUC-IRA	58
ATUC-50システム	9	ATUC-IRD	59
有線システム接続例	9	ATCS-B60	60
各部の名称と機能	10	充電器を使用する	61
ATUC-50CU	10	Danteを使用する	62
フロントパネル	10	IRCUDANのネットワーク接続	62
リアパネル	12	ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDANで設定を変更する ..	65
ATUC-50DU/ATUC-50DUa	13	文字を入力するには	66

IRシステムの接続と構築.....	67	ATUC-IRDUの仕様.....	91
機器を接続する.....	67	一般.....	91
① IRAとIRCUを接続する.....	67	入力／出力仕様.....	91
② IRDUにマイクロホンATUC-Mを接続する.....	67	ATUC-IRAの仕様.....	92
③ IRDUを起動する.....	68	入力／出力仕様.....	92
④ IRDUの機器IDを設定する.....	68	ATUC-IRDの仕様.....	92
⑤ IRDUを使用可能状態にする.....	69	ATCS-B60の仕様.....	92
ATUC-50/IRハイブリッドシステム.....	70		
ハイブリッドシステム接続例.....	70		
ハイブリッドシステムの接続と構築.....	71		
有線システムとIRシステムの接続と 構築について.....	71		
困ったときは.....	73		
故障かな?と思ったら.....	73		
ATUC-50CU/ATUC-IRCU/ATUC-IRCUDAN.....	73		
ATUC-IRCUDAN.....	74		
ATUC-50DU/DUa/INT.....	74		
ATUC-50IU.....	75		
ATLK-EXT165.....	75		
ATLK-EXT25.....	76		
ATUC-IRDU.....	76		
ATUC-IRA.....	77		
エラーメッセージ一覧.....	78		
仕様.....	82		
ATUC-50CUの仕様.....	82		
一般.....	82		
入力／出力仕様.....	83		
ATUC-50DU/DUa/INTの仕様.....	84		
一般.....	84		
入力／出力仕様.....	84		
ATUC-50IUの仕様.....	85		
一般.....	85		
入力／出力仕様.....	85		
ATLK-EXT165の仕様.....	86		
一般.....	86		
ATLK-EXT25の仕様.....	86		
一般.....	86		
ATUC-VUの仕様.....	86		
一般.....	86		
ATUC-M43H/58Hの仕様.....	87		
ATUC-M32Lの仕様.....	88		
ATUC-IRCU/ATUC-IRCUDANの仕様.....	89		
一般.....	89		
入力／出力仕様.....	90		

はじめに

■ 取扱説明書について

本書の記載について

本書で掲載しているイラストや画面は、実際の製品や画面とは異なる場合があります。

本書の構成について

本書「本体編」では、デジタル有線会議システム ATUC-50とハイブリッド赤外線会議システム ATUC-IRの製品について記載しています。
ウェブリモートの使い方については「ウェブリモート編」を参照してください。
ATUC-IRの設置については「ATUC-IR 設置編」を参照してください。

製品名の表記について

本書では、下記のように省略名を使用しています。

- 50CU:「コントロールユニット」ATUC-50CU
 - 50DU:「会議マイクユニット」ATUC-50DU/ATUC-50DUa*
 - 50INT:「通訳者ユニット」ATUC-50INT
 - ATUC-M:「専用マイクロホン」ATUC-M43H/ATUC-M58H/ATUC-M32L
 - 50IU:「インテグレーションユニット」ATUC-50IU
 - EXT165:「リンクエクステンダー」ATLK-EXT165
 - EXT25:「リンクエクステンダー」ATLK-EXT25
 - VU:「投票ユニット」ATUC-VU
 - IRCU:「ハイブリッドコントロールユニット」ATUC-IRCU
 - IRCUDAN:「ハイブリッドコントロールユニット (Dante搭載)」ATUC-IRCUDAN
 - IRDU:「IR会議マイクユニット」ATUC-IRDU
 - IRA:「IR受発光ユニット」ATUC-IRA
 - IRD:「IR分配器」ATUC-IRD
 - B60:「充電器」ATCS-B60
- *ATUC-50DUaはATUC-VU (投票ユニット) に対応した会議マイクユニットです。

また、下記の場合は、省略名を使用しています。

CU: ATUC-50CU、ATUC-IRCU、ATUC-IRCUDANのすべてを指す場合
DU: ATUC-50DU/ATUC-50DUaとATUC-IRDUの両方を指す場合
EXT: ATLK-EXT165とATLK-EXT25の両方を指す場合

記号について

▶ 詳細情報・関連情報が記載されているページを示しています。

【注意】 製品の故障や誤動作を防ぐため、守っていただきたいことを記載しています。

 補足説明や操作上のアドバイスが記載されています。

[] ウェブリモート画面のメニュー名を示しています。

モバイル機器での操作について

本書では、PCでの操作を中心に説明していますが、タブレットなどのモバイル機器も使用できます。「クリック」「ダブルクリック」の代わりに、「タップ」して操作してください。

商標について

- Apple、Apple のロゴ、iPad、Mac OS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Google Play™およびGoogle Play™ロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していない場合があります。

■ ATUC-50CUの付属品

- 電源コード
- ユーロブロックコネクタ(9個)

■ ATUC-50IUの付属品

- ユーロブロックコネクタ(13個(緑×3、黒×10))

■ ATLK-EXT165の付属品

- ユーロブロックコネクタ
- 電源ケーブル
- テーブルマウント / TABLE MOUNT KIT (テーブルマウント×2、ネジ×4)

■ ATLK-EXT25の付属品

- ユーロブロックコネクタ(2個)

■ ATUC-IRCU/IRCUDANの付属品

- 電源コード
- ユーロブロックコネクタ(9個)

■ ATUC-IRDUの付属品

- 充電電池カバー(2個)

■ ATUC-IRAの付属品

- 取り付けブラケット(1個)
- 取り付けブラケット固定ネジ(2個)

■ ATCS-B60の付属品

- ACアダプター

■ システムの設置について

ラックに設置するときは

ラックの仕様要件

- EIA 規格の 19 インチラック
- 1U サイズ取り付け対応のラック
- CUを支えるガイドレールやCUを載せる棚板があるラック

CUをラックにマウントする場合は、ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内部部品に悪影響を与え故障の原因となります。

他機器やラックとのすきまは、天面、側面、背面に各10cm以上確保してください。

ラックマウント用のアングルは、以下のネジでCU本体に固定されています。標準品以外のネジを使用する場合は、仕様を確認してください。

- Sタイト(タッピングネジ)、呼径4×6
 - * 小ネジ(マシンネジ)、M4×6でも代用可

アンバランス(不平衡)接続の場合は

シャーシ電位の違いによる誘導ノイズを受けやすくなるため、各機器間のシャーシ電位を合わせて使用してください。

- 各機器間の電源位相を合わせる
- 電源系統を統一する
- 各機器のGND(グラウンド)端子またはシャーシを接続する

電源コードを接続する場合は

電源プラグを保護接地されている適切なコンセントに接続してください。確実に接地しないと、感電の原因になります。

お手入れをするときは

ベンジン、シンナー、アルコール、接点復活保護剤など、薬品は使用しないでください。変形、破損、故障の原因になります。

本会議システム

■ 特長

ATUC-50/ATUC-IRシステムの特長

- フィードバックサプレッサーなどのオーディオプロセッシングにより明瞭な会話を実現
- 通訳者ユニット (ATUC-50INT) は最大6台まで接続可能
- 会議マイクユニット (ATUC-50DU)、インテグレーションユニット (ATUC-50IU)、通訳者ユニット (ATUC-50INT) の最大接続台数は、IRCUで合計 500台 (IRCU×1+CUリンク2台の場合、IRDU 200台・50DU 300台)、50CUで合計 300台 (CUリンク 3台の場合)
- Cat5e以上 (導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き) のケーブルでデジチェーン、リング接続が可能
- フリートーク/要求モード/フルリモートの3種類の会議モードを選択可能
- 2言語通訳/3言語通訳/3言語リレー通訳に対応 (ATUC-50INT)
- USBデバイス (マスストレージデバイス) への録音機能も搭載
- ウェブリモートおよび外部制御機器での制御が可能
- 将来的な拡張を考慮した設計
- ハイブリッド赤外線会議システムはレイアウト変更が容易、フレキシブルな運用が可能

Audio-Technica LINKについて

コントロールユニットと会議マイクユニットなど機器間の信号伝送および電源供給に独自フォーマットのAudio-Technica LINKを採用


イーサネット規格に準拠し、汎用的なCat5e以上 (導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き) のケーブル接続に対応するため簡易な施工性を実現。低レイテンシーの高速信号伝送により、安定した制御と、非圧縮音声信号の伝達が可能。

ATUC-50CUの特長

- 最大100台までの会議マイクユニット (ATUC-50DU) などの制御と電源供給が可能 (接続台数やケーブル長により、ATLK-EXT165が必要)
- カスケード接続により最大300台までの会議マイクユニット (ATUC-50DU) の接続が可能
- 4チャンネルのマトリックス平衡出力とOUTPUT 1と同様の音声出力する不平衡の出力を1系統搭載

- 2チャンネルのマイク/ライン入力、2モノラルAUX入力および2リターン入力を搭載
- 2リターンチャンネルはフロアー言語に加え2ヶ国語の同時通訳に対応
- 会議モード：フリートーク、要求モード、フルリモート
- 優先モード：先押し優先、後押し優先 (FIFO、LIFO)
- 発言モード：オルタネイト、モーメンタリー、オートマッチク
- ウェブリモートにより、Webブラウザ経由で容易に設定変更や、会議中の発言者管理が可能
- USBデバイス (マスストレージデバイス) に最大4チャンネル録音可能 (WAV: 最大4チャンネル、MP3: 最大2チャンネル)
- フィードバックサプレッサーなどのオーディオプロセッシングにより高音質を実現
- 将来的に拡張・更新が可能なフルデジタルシステム

ATUC-50DU/50DUa/INTの特長

- 3ピンの平衡コネクタを通して電源供給可能なLEDリングを搭載しつつ、高音質と柔軟性を実現
- 通常の3ピンマイクに接続可能
- ディスクリフトトランジスターを用いたマイクプリアンプでノイズの低減と個別ゲインを調整可能
- 高音質で高解像度のスピーカーを搭載
- 24bit/48kHzの高音質設計
- 複数の独立インジケータを搭載 (マイクのリングLED、 (トーク) ボタン部・会議ユニット (ATUC-50DU) 背面部のマルチカラー LED)
- ボリューム調整とチャンネル表示に見やすいインジケータを搭載
- 安定性を保つため別売アクセサリとしてボトムウェイトを用意
- 会議マイクユニット (ATUC-50DU) など機器接続のためのRJ-45端子を2系統、将来拡張のためのRJ-11を1系統搭載
- モニターチャンネル切り替え可能なヘッドホン端子搭載

ATUC-IRCU/IRCUDANの特長

- 基本的な機能は50CUと共通ながら、FPGAを拡張したアップデートモデル
- 有線会議システム・赤外線会議システム・ハイブリッド会議システムの運用に対応

- 1台で最大300台の会議マイクユニットを制御可能 (50DU100台、IRDU200台、接続台数やケーブル長、アンテナの数により、ATLK-EXT165が必要)
- カスケード接続により最大500台までの会議マイクユニットを接続 (50DU300台、IRDU200台)
- Dante搭載モデルも用意

ATUC-IRDUの特長

- 1台のIRDUを二者で共有する二話者モードに対応。ヘッドホン出力も2箇所用意、ボリュームはそれぞれ独立して調整が可能
- ユーザーの使用用途によってフレキシブルにアサインを変更できるマルチファンクションボタンを2個搭載

ATUC-IRAの特長

- 白色IRカバーと薄型設計により目立ちにくいデザインを実現、さまざまなロケーションに設置可能
- BNC端子を採用し、多重伝送により同軸ケーブル1本で接続可能
- 給電状況を知らせるLEDで、施工ミスを防ぐ安心設計

ATUC-50IUの特長

- 埋め込み可能なATUC-50システム用ディスカッションユニット
- マイク、スピーカー、ヘッドホンなどを接続してシステムを構築
- 状態監視、外部デバイス制御のためのGPIOコントロール端子を搭載
- 会議マイクユニット (ATUC-50DU) など機器接続のためのRJ45端子を2系統搭載
- 24bit/48kHzの高音質設計
- インテグレーションユニット (ATUC-50IU) を議長用/参加者用にウェブリモートから設定可能
- インテグレーションユニット (ATUC-50IU) ごとに会議モードや音量の設定が可能

ATLK-EXT165の特長

- コントロールユニット (ATUC-50CU) や会議マイクユニット (ATUC-50DU) など、Audio-Technica製機器と接続して、会議システムを拡張できるRJ45端子を2系統搭載
- コントロールユニット (ATUC-50CU) から自動的に起動するリモートモード
- フロントパネルの操作で起動可能なスタンドアロンモード

- RJ45端子から供給する電源の過電流(2.6A)を検知して外部機器に知らせるGPO端子を搭載

ATLK-EXT25の特長

- コントロールユニット (ATUC-50CU) や会議マイクユニット (ATUC-50DU) など、Audio-Technica製機器と接続して、会議システムを拡張できるRJ45端子を2系統搭載
- 本機単体で起動可能なスタンドアロンモード
- コントロールユニット (ATUC-50CU) から起動するリモートモード (Remote 1)
- GPI制御により起動するリモートモード (Remote 2)
- RJ45端子から供給する電源の過電流を検知して外部機器に知らせるGPO端子を搭載
- PoE/PoE+電源に対応
- ACアダプター (当社別売) による電源供給に対応

ATUC-VUの特長

- ATUC-50DUaに対応し、ATUC-50またATUC-IRシステムで使用可能な投票ユニット
- ATUC-50DUa拡張端子 (RJ-11 モジュラー端子) からの電源供給が可能
- 全ボタン/全LEDがIPコントロールで自由に制御、機能アサイン可能
- NFCカード読み取り機能搭載、ID番号をIPコントロールを介して伝送可能
- 優先権をオンに設定したATUC-50DUaの拡張パネルとして使用可能 (議長機能等をアサイン可能)
- ATUC-IRCUシステムで最大300台 (CUリンク3台接続時)、ATUC-50CUシステムで最大300台 (CUリンク3台接続時) の投票ユニットを使用可能

ATUC-M43H/58H/32Lの特長

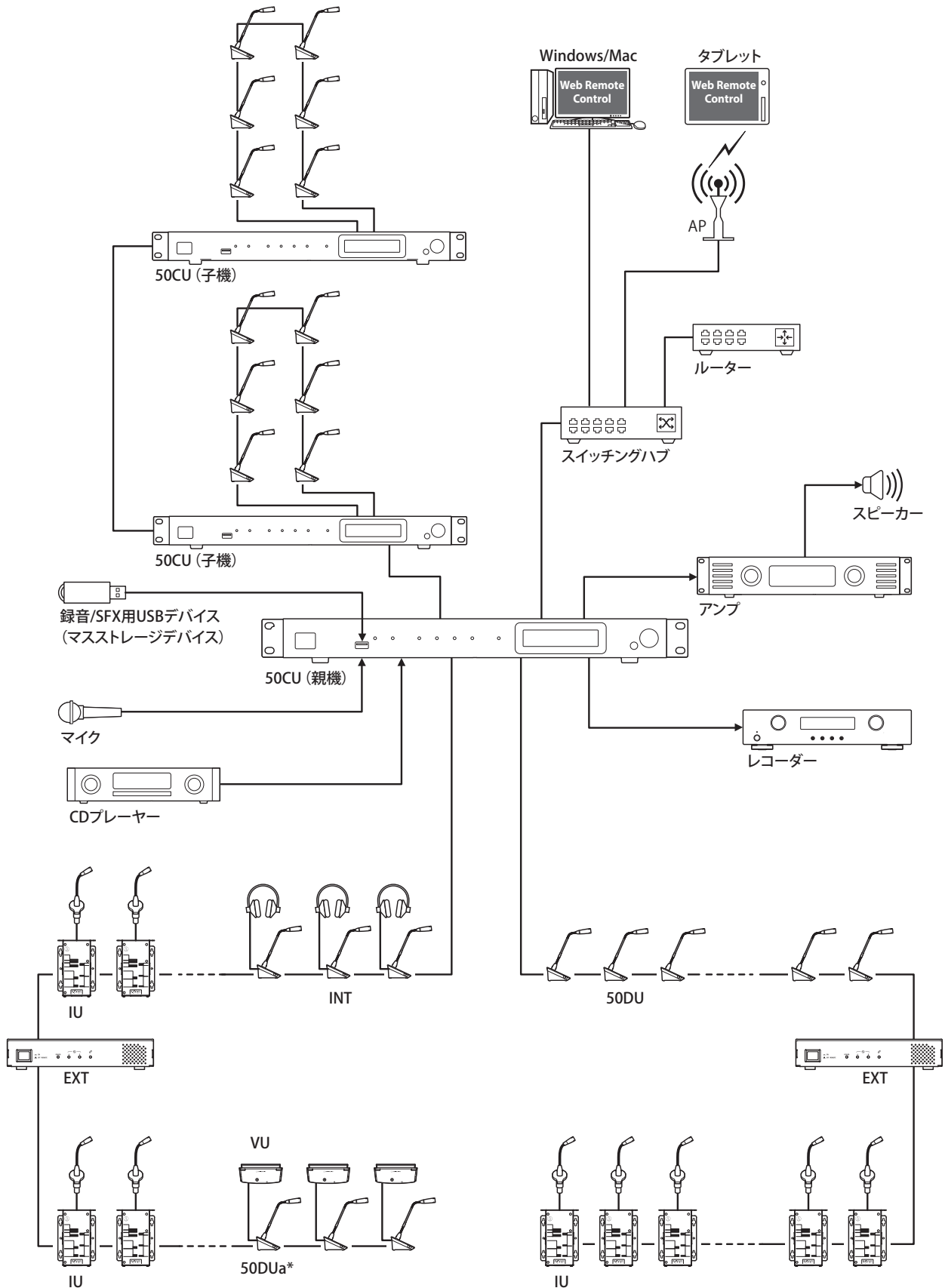
- 3ピンの平衡コネクタを通して電源供給可能なLEDリングを搭載しつつ、高音質と柔軟性を実現
- マイクコネクタと会議マイクユニット間に振動を軽減する機構設計
- 2段構造のポップフィルターを採用
- 外来電波に対するRF対策を強化
- ダブルグースネック設計によって柔軟な設置が可能 (ATUC-M43H、ATUC-M58H)
- 超指向性設計によって遠距離收音が可能 (ATUC-M32L)

オプション品 (当社別売) について

型番	名称	使い方
ATUC-DUWT	DISCUSSION UNIT WEIGHT PLATE	会議マイクユニット設置安定性を向上させるために使用します。
AT8643	RACK MOUNT KIT	リンクエクステンダー(ATLK-EXT165) など、ハーフラックサイズ製品をラックマウントする際に使用します。

ATUC-50 システム

■ 有線システム接続例



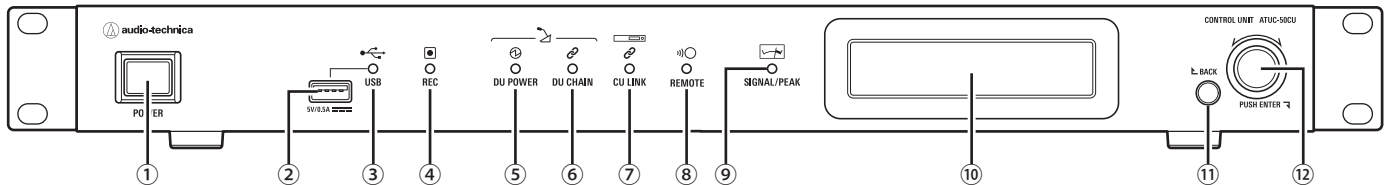
接続可能台数は、お客様の使用するシステム構成により異なります。詳しくは36ページをご覧ください。

* VUはDUaのみに接続可能です。

各部の名称と機能

ATUC-50CU

フロントパネル



① 電源スイッチ

電源をオン／オフします。

② USB端子

USBメモリーやUSBハードディスク等、USB機器（マストストレージデバイス）を接続して下記の操作が可能です。

- 音声録音
- チャイムやブザー音の再生
- プリセットデータのインポート／エクスポート
- ファームウェアアップデート

ご注意 • ファイルシステムはFAT16/FAT32に対応しています。

- 最大ストレージ容量：2TB
- 最大ファイルサイズ：2GB
- USBハブには対応していません。
- 延長ケーブルは使用しないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したUSB機器（マストストレージデバイス）は使用しないでください。
- USB機器（マストストレージデバイス）内に、本システムで使用しないファイルやフォルダを保存・作成しないでください。システムの動作に影響を及ぼす場合があります。
- セキュリティー機能など特殊な機能を持ったUSB機器（マストストレージデバイス）には対応していません。

③ USBアクセスインジケータ

USB機器（マストストレージデバイス）の接続状態を示します。

- アクセス時：緑に点灯

ご注意 • インジケータが緑に点灯しているときにUSB機器（マストストレージデバイス）を抜かないでください。データが破損する場合があります。

④ REC（録音）インジケータ

録音状態を示します。

- 録音中：緑に点灯
- 録音一時停止中：緑に点滅
- 録音停止中：消灯

ご注意 • 録音中および録音一時停止中にUSB機器（マストストレージデバイス）を取り外すと、録音したファイルが正しく書き込まれない場合があります。録音中はUSB機器（マストストレージデバイス）を取り外さないでください。

⑤ DU POWER（DU電源供給）インジケータ

- 正常時：緑に点灯
- 異常時（48V出力系統で電圧降下など）：緑に点滅
- 50DU/INT非接続時：消灯

⑥ DU CHAIN（DUチェーン）インジケータ

- 正常時：緑に点灯
- 異常時（50DU通信NGなど）：緑に点滅
- 50DU/INT非接続時：消灯

⑦ CU LINK（CUリンク）インジケータ

- CUリンク時：緑に点灯
- 異常時（50CU通信NGなど）：緑に点滅
- 50CU非リンク時：消灯

⑧ REMOTE（リモート制御）インジケータ

- 通信時：緑に点灯
- 異常時（外部への送信リトライNG時など）：緑に点滅
- 非通信時：消灯

⑨ SIGNAL/PEAK（信号／ピーク）インジケータ

オーディオ信号のレベルが

- 60dBFS以上のとき：緑
- 20dBFS以上のとき：オレンジ
- 2dBFS以上のとき：赤

に点灯します。

赤に点灯しないようにレベル調整して運用してください。

⑩ ディスプレイ

⑪ BACK（戻る）ボタン

1段階前／1階層上へ戻ります。

また、長押しで現在の位置にかかわらず、HOME画面へ戻ります。

⑫ ダイヤル/ENTER (エンター) ボタン

ダイヤルを回して設定項目を選び、ENTERボタンを押して選択を確定します。

また、ダイヤルを回して設定を調整します。

• 操作ボタンをロックする (キーロック機能)

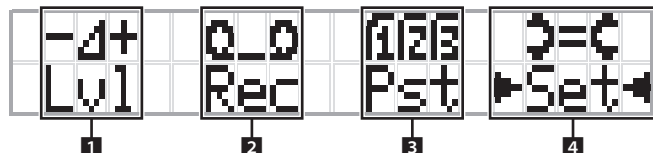
BACKボタンとENTERボタンを一緒に2秒以上押し続けると、電源スイッチ以外のフロントパネルからの操作を受け付けなくなります。

• 操作ボタンのロックを解除する

操作ボタン類がロックされた状態で、BACKボタンとENTERボタンを一緒に2秒以上押し続けると、ロックが解除されます。

ディスプレイ表示とダイヤル操作:

HOME画面

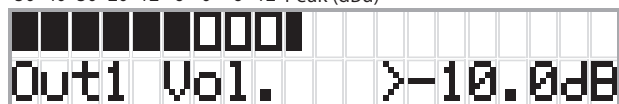


▶ ◀が表示されている項目が選択中の項目です。

ダイヤルを回して実行したい項目に▶ ◀を移動させて、ENTERボタンを押します。

① マスターレベル調整 (Lvl)

マスターレベル
-50 -40 -30 -20 -12 -6 0 6 12 Peak (dBu)



- ダイヤルを回して、CUの出力 (OUTPUT 1) レベルを調整します。
- ENTERボタンを押しながらダイヤルを回すと、10ステップ単位でレベルを調整できます。
- Peakのポイントがつかないようにレベルを調整してください。

② 録音操作 (Rec)

R (録音残時間) / E (録音経過時間) 表示

-50 -40 -30 -20 -12 -6 0 6 12 Peak (dBu)



- ダイヤルを回してRec (録音開始) / Pau (一時停止) / Stp (停止) / RまたはE (録音時間表示) を選び、ENTERボタンを押して操作を確定します。
- 画面右上の時刻表示は、時刻表示を選んだ状態でENTERボタンを押すと、R (録音残時間) / E (録音経過時間) を切り替えることができます。
- 画面左上の録音レベルメーターに▶ ◀を移動させるとRec Lvlと表示され、ENTERボタンを押すと、録音レベル調整モードになります。ダイヤルを回して、Peakのポイントがつかないように録音レベルを調整してください。
- ENTERボタンを押しながらダイヤルを回すと、10ステップ単位でレベルを調整できます。

③ 会議の準備 (Pst)



- [1] *Recall Presets* (プリセット呼出し): ダイヤルを回して呼び出したいプリセット番号に">"を移動して、ENTERボタンを押して選択を確定します。
- [2] *Conf. Setup* (会議設定): 会議設定を変更/確認します。ダイヤルを回して変更/確認したい項目に">"を移動して、ENTERボタンを押して選択を確定します。

Pstメニュー一覧:

ウェブリモートからも各種設定を行えます。()内はウェブリモートの項目名です。

[1] *Recall Presets*

[2] *Conf. Setup*

01 *Conference Mode* (会議モード)

02 *NOM* (同時発言マイク)

03 *Auto Mic Off* (オート・マイク・オフ)

04 *Override Mode* (優先モード)

05 *Max Queue* (マイク待機台数)

06 *MicON Trigger* (発言方法/優先マイク発言方法)

07 *MicON Hold Time* (ホールド・タイム)

08 *Interrupt Option* (オフ/ミュート設定)



• [2] *Conf. Setup*から設定を変更できる項目は、会議モードによって異なります。

• 設定項目の詳細については、ウェブリモート編の「メニュー一覧」を参照してください。

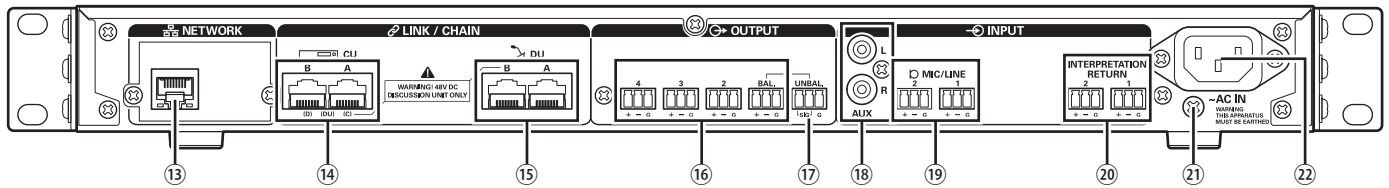
④ 設定 (Set)

ダイヤルを回してお好みの項目や設定に">"を移動して、ENTERボタンを押して選択を確定します。

設定項目については、「Setメニュー一覧」(P.30ページ)を参照してください。

リアパネル

* シリアルナンバーはトップカバー上のシートに記載されています。



- ご注意**
- 接続する外部機器の取扱説明書も参照してください。
 - ネットワーク機器に接続されているLANケーブルを、誤ってCU LINK端子やDU CHAIN端子に接続しないようご注意ください。接続機器が故障する恐れがあります。

⑬ NETWORK (ネットワーク) 端子


- RJ-45
- ローカルエリアネットワークに接続し、ウェブリモートやIPリモートなどの外部制御を行う場合に使用します。(49ページ)

⑭ CU LINK (CUリンク) A/B端子、DU CHAIN (DUチェーン) C/D端子

- RJ-45
- 50CU同士をカスケード接続します。(47ページ)
- また、設定により50DU/IU/INTを接続することも可能です。(35ページ)

⑮ DU CHAIN (DUチェーン) A/B端子

- RJ-45
- 50DU/IU/INTを接続します。複数の50DU/IU/INTをデジーチェーン接続するだけでなく、A/B端子を利用してリング接続も可能です。

-  • 50CUをカスケード接続すると、最大300台の50DU/IU/INTを接続できます。ただしINTは、最大6台までとなります。(47ページ)

⑯ アナログ出力 (バランス) 端子 : OUTPUT 1-4 (BAL)

- ユーロブロック
- ピン配置 “+” Hot / “-” Cold / “G” GND

⑰ アナログ出力 (アンバランス) 端子 : OUTPUT1 (UNBAL)

- ユーロブロック
- ピン配置 “SIG” Signal (2 系統) / “G” GND

⑱ アナログ入力 (アンバランス) 端子 : INPUT (AUX)

- RCA

⑲ アナログ入力 (バランス) 端子 : INPUT (MIC/LINE 1-2)

- ユーロブロック
- ピン配置 “+” Hot (ファントム電源対応) / “-” Cold (ファントム電源対応) / “G” GND
- 設定により、入力タイプ (MIC/LINE) の切り替えができません。

⑳ アナログ入力 (バランス) 端子 : INPUT (INTERPRETATION RETURN 1-2)

- ユーロブロック
- ピン配置 “+” Hot / “-” Cold / “G” GND
- 同時通訳システムからの音声信号を入力します。

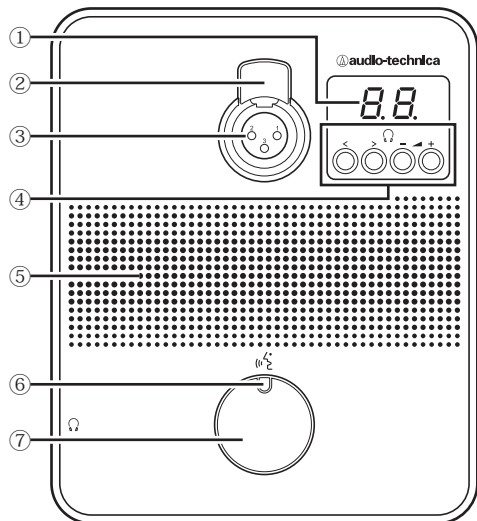
㉑ アース用ネジ

付属の電源コードは3芯プラグのため、ACコンセントが接地されていればCUは電源コードから適切にアース接続されます。

㉒ ACインレット (AC IN)

付属の電源コードを接続します。

- ご注意**
- 電源コードは、50CU子機や50DU/IU/INTを含むすべての外部機器の接続が終わってから接続してください。
 - 本体から取るアースは1箇所だけにしてください。本体から2箇所以上のアースを取ると、アースのループ現象により、ハムノイズ等が発生する可能性があります。



① ディスプレイ

モニターチャンネルの変更やボリュームの調整をすると設定値が表示されます。

② マイクロホン取り外しレバー

マイクを接続します。

* ATUC-Mシリーズだけでなく、ES925/XLRや通常の3ピンXLRタイプのマイクロホンも接続可能です。

④ 「<」/「>」モニターチャンネル選択ボタン

操作すると、ディスプレイ①に、現在選択されているモニターチャンネルが表示されます。

- FL：フロアーチャンネルの音声モニターされています。
- 01～03：グループ1～3の音声モニターされています。INTが同一システム上に接続されている場合など、通訳機器からの通訳された音声も、グループ1～3の音声が加わります。

「-」/「+」ヘッドホンボリューム調整ボタン

操作すると、ディスプレイ①に、現在のボリューム値(0～20)が表示されます。

⑤ 内蔵スピーカー

会議音声を出力します。

⑥ トーク LED

DUの発言状態を示します。

- 発言中：赤に点灯
- 発言要求中(待機中)：緑に点滅
- 発言要求却下：緑に点滅(速い点滅4回)

• LEDの色は変更可能です。ウェブリモート編を参照してください。

⑦ トーク ボタン

発言または発言要求をします。もう一度押しすと、発言を終了または発言要求をキャンセルします。また、プライオリティがオンに設定されたDUの場合、ボタンを長押しすることで、その他のDUの発言を中止したり、音声をミュートすることができます。

トーク ボタン短押しの動作一覧：

会議モード	ボタンを押す前の状態	発言方法		
		オルタネイト	モーメンタリー	オートマッチック
フリートーク	マイク・オフ	マイク・オン	長押し中はマイク・オン	— (受け付けない)
	発言要求中	要求キャンセル		
	マイク・オン	マイク・オフ		
要求モード	マイク・オフ	発言要求	— (設定なし)	発言要求
	発言要求中	要求キャンセル		要求キャンセル
	マイク・オン	マイク・オフ		マイク・オフ
フルリモート	—	— (外部制御のみ)		

• ただし、プライオリティがオンに設定されたDUの場合、会議モードによらず、フリートークと同様の動作となります。

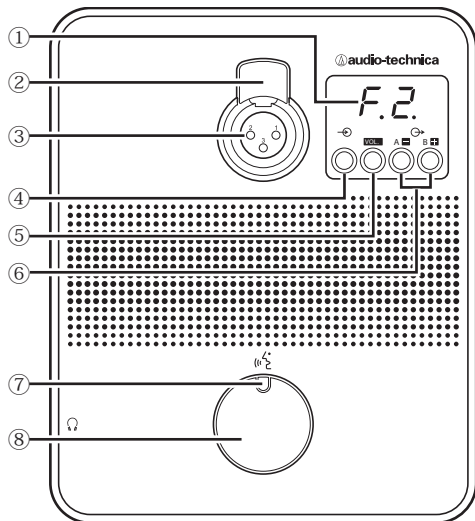
トーク ボタン長押しの動作一覧：

プライオリティがオンで「オフ/ミュートする」がオンに設定されたDUのみ

ボタンを押す前の状態	発言方法				
	オルタネイト	モーメンタリー	オートマッチック	オルタネイト/モーメンタリー/オートマッチック	
	ボタンを押す			オフモード	ミュートモード
マイク・オフ	マイク・オン	長押し中はマイク・オン	— (受け付けない)	マイク・オン(*1)	マイク・オン(*2)
マイク・オン	マイク・オフ	— (設定なし)		マイク・オンのまま(*1)	マイク・オンのまま(*2)

*1：あらかじめ設定されたDUは、すべてマイク・オフされます。

*2：あらかじめ設定されたDUは、すべてミュートされます。



① ディスプレイ

- 左桁：現在のモニターチャンネルが表示されます。
F：フロアーチャンネルの音声（会議参加者すべての音声）がモニターされています。
1：言語グループ1の音声モニターされています。
- 右桁：INTのマイクから入力された通訳音声、どの言語グループ（1～3）へ出力されるか表示されます。
また、ボリュームの調整をすると、その設定値が表示されます。

② マイクロホン取り外しレバー

③ マイクロホン端子

マイクロホンを接続します。

* ATUC-Mシリーズだけでなく、ES925/XLRや通常の3ピンXLRタイプのマイクロホンも接続可能です。

④ モニターチャンネル選択ボタン

フロアーチャンネルの音声と言語グループ1の音声をボタンを押すたびに切り替えます。

⑤ **VOL** ヘッドホンボリューム調整ボタン

操作すると、ディスプレイ①に、現在のボリューム値（0～20）が表示されます。その状態で **+** / **-** ボタン⑥を操作することでボリュームを調整します。
ボリューム値が表示された状態で操作すると、モニターチャンネル表示に戻ります。

⑥ **A / B** 通訳言語選択ボタン（双方向通訳のみ操作可能）

通訳言語パターンで双方向通訳を選択しているときのみ操作可能です。（出力先言語A / 出力先言語B）
通訳音声の出力先が、通訳パターンに応じて切り替わります。

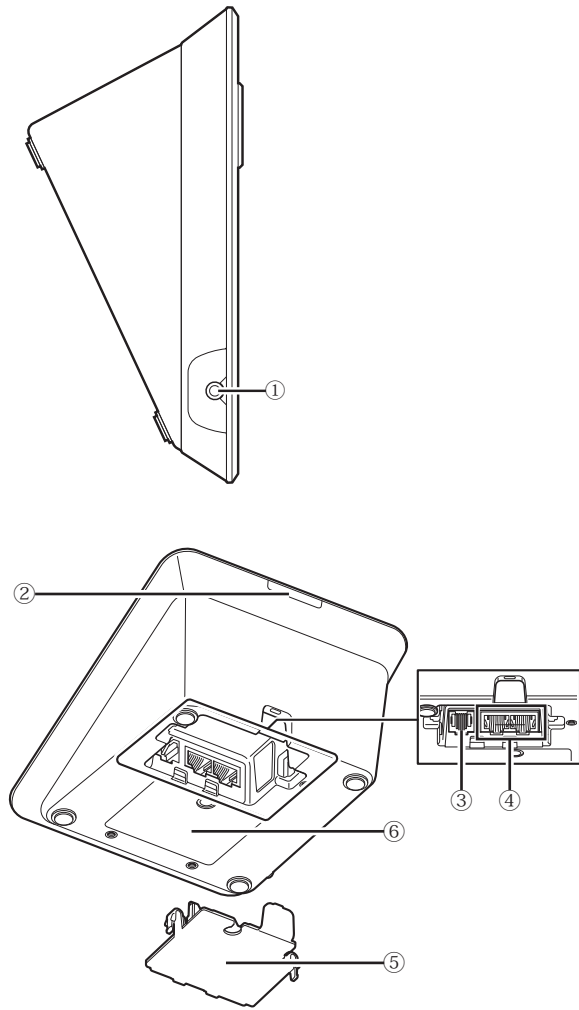
⑦ **🗨️** (トーク) LED

INTの発話状態を示します。

⑧ **🗨️** (トーク) ボタン

ボタンを押すと発話可能状態になります。もう一度押すと発話可能状態を終了します。

■ ATUC-50DU/INT共通



① ヘッドホン接続端子

選択されたモニターチャンネルの音声が出力されます。

② リアLED

50DUごとに色を設定できます。50DUをグループ分けするのに便利です。色はウェブリモートで変更可能です。

ご注意 ・INTは色の設定ができません。デフォルト設定のままとなります。

③ 拡張用端子

VUを接続するポートです。50DUaのみ接続可能です。

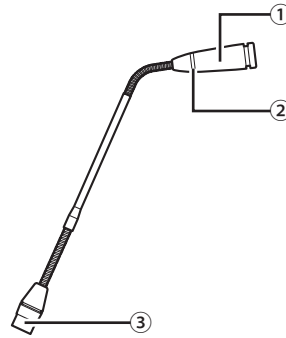
④ DU / CU接続端子 (▶34ページ)

⑤ ボトムカバー

端子部をカバーして埃などの侵入を防ぐだけでなく、ケーブルの抜け止めも兼ねているため、各端子にケーブルを接続したら、必ず装着してください。

⑥ シリアルナンバー

■ ATUC-M

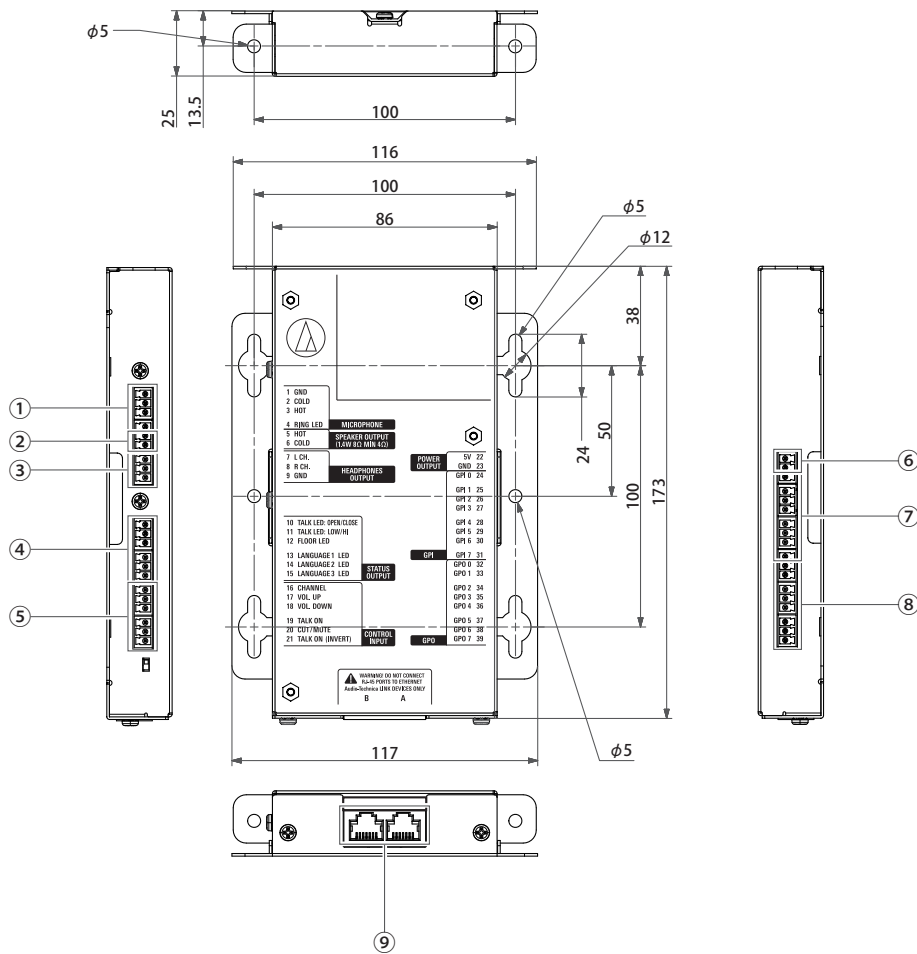


① マイク

② リングLED

マイクがオンになっているときに赤点灯します。発言待機中は赤点滅します。

③ コネクター



IUは、テーブルなどに埋め込んで使用することを前提としているため、表示器、操作子、入出力端子などのユーザーインターフェイスは、使用環境に合わせてカスタマイズが可能です。
ユーザーインターフェイスについての仕様は以下のとおりです。

① マイク入力端子

ピン番号	信号名	説明	端子色
1	GND	マイク入力 GND	緑
2	COLD	マイク入力 バランス	
3	HOT	ファントム電源+48V供給 (ON/OFF切替可能)	
4	RING LED	ATUC-M, ES925/XLR LED制御用	

② スピーカー出力端子

ピン番号	信号名	説明	端子色
5	HOT	スピーカー出力	緑
6	COLD	1.4W 8 Ω (インピーダンス 4 Ω 以上)	

• スピーカー出力端子には、シールド線を使用することを推奨します。その場合のGNDシールドは、GNDピン(9)に接続します。

③ ヘッドホン出力端子

ピン番号	信号名	説明	端子色
7	L ch	ヘッドホン出力	緑
8	R ch	15mW 32 Ω	
9	GND	ヘッドホン出力 GND	

④ ステータス出力端子

ピン番号	信号名	説明	端子色
10	TALK LED : OPEN/CLOSE	マイク・オン : Close マイク・オフ : Open 発言要求中(待機中) : 点滅 発言要求却下 : 速い点滅	黒
11	TALK LED : LOW/HI	マイク・オン : +5V マイク・オフ : 0V ON/OFF動作は、TALK LEDピン(10)のOpen/Close動作と同期する マイクロホンの接続については、「各種マイクロホンと使用するとき」 (p19 ページ)を参照してください。	
12	FLOOR LED	モニターチャンネルでフロアーチャンネルを 選択時 : Close 非選択時 : Open	
13	LANGUAGE1 LED	モニターチャンネルでグループ 1 を 選択時 : Close 非選択時 : Open	
14	LANGUAGE2 LED	モニターチャンネルでグループ 2 を 選択時 : Close 非選択時 : Open	
15	LANGUAGE3 LED	モニターチャンネルでグループ 3 を 選択時 : Close 非選択時 : Open	

⑤ 操作入力端子

ピン番号	信号名	説明	端子色
16	CHANNEL	モニターチャンネル選択	黒
17	VOL. UP	ヘッドホンボリューム調整	
18	VOL. DOWN		
19	TALK ON	発言要求 有 : Close 無 : Open	
20	CUT/MUTE	マイク・オフ/ミュート要求 有 : Close 無 : Open	
21	TALK ON (INVERT)	AT8657/LED 発言要求 有 : +5V 無 : 0V ES925/FM5、ES9450/FM5、ES947C/FM5 発言要求 有 : Open 無 : Close このピンの機能は、TALK ONピン(19)と同じ ※TALK ONまたはTALK ON (INVERT)の発言要求があった場合、システムとして発言要求を行う マイクロホンの接続については、「各種マイクロホンと使用するとき」 (p19 ページ)を参照してください。	

⑥ 電源出力端子

ピン番号	信号名	説明	端子色
22	5V	LED用 5V電源	黒
23	GND	電源GND	

⑦ 汎用入力端子(GPI)

ピン番号	信号名	説明	端子色
24	GPI0	汎用入力端子0	黒
25	GPI1	汎用入力端子1	
26	GPI2	汎用入力端子2	
27	GPI3	汎用入力端子3	
28	GPI4	汎用入力端子4	
29	GPI5	汎用入力端子5	
30	GPI6	汎用入力端子6	
31	GPI7	汎用入力端子7	

⑧ 汎用出力端子(GPO)

ピン番号	信号名	説明	端子色
32	GPO0	汎用出力端子0	黒
33	GPO1	汎用出力端子1	
34	GPO2	汎用出力端子2	
35	GPO3	汎用出力端子3	
36	GPO4	汎用出力端子4	
37	GPO5	汎用出力端子5	
38	GPO6	汎用出力端子6	
39	GPO7	汎用出力端子7	

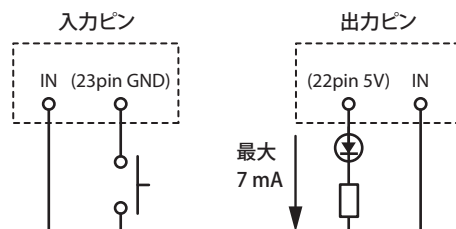
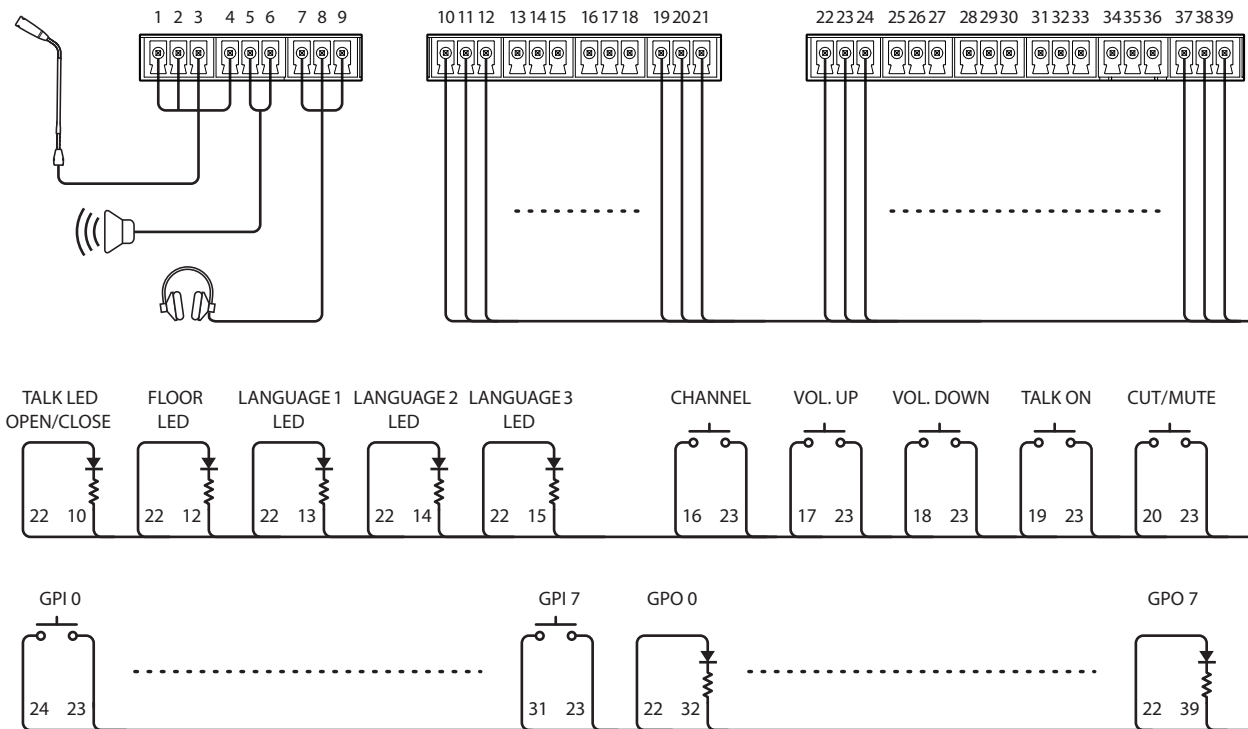
- 汎用入出力端子(GPI/GPO)へは、ウェブリモートの設定画面で各種機能の割り当てが可能です。

⑨ Audio-Technica LINK端子

Audio-Technica製品を接続してシステムを構築します。

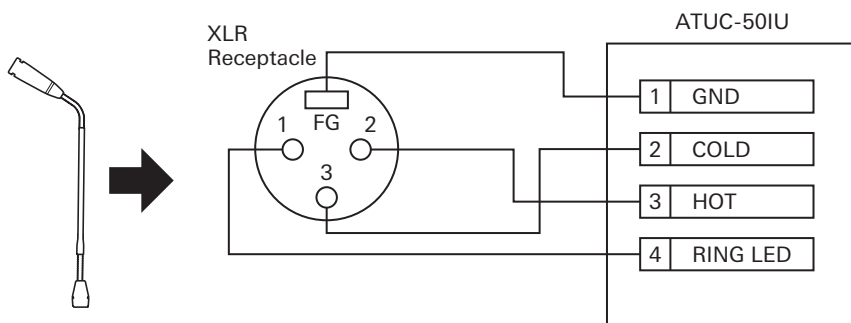
- ご注意**
- 5Vピン(22)から、外部機器に電源を供給しますが、このピンの最大定格は +5VDC 100mA となっています。定格を超えることのないように回路および電流制限(抵抗値)を選択してご使用ください。
 - 定格内で使用しないと製品の故障の原因となるほか、火災や思わぬ事故を引き起こす原因になることがあります。

ユーザーインターフェースの接続例

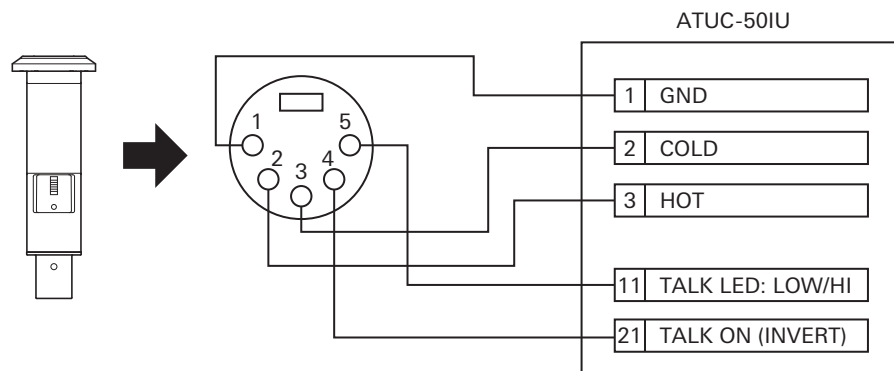


各種マイクロホンと使用するとき

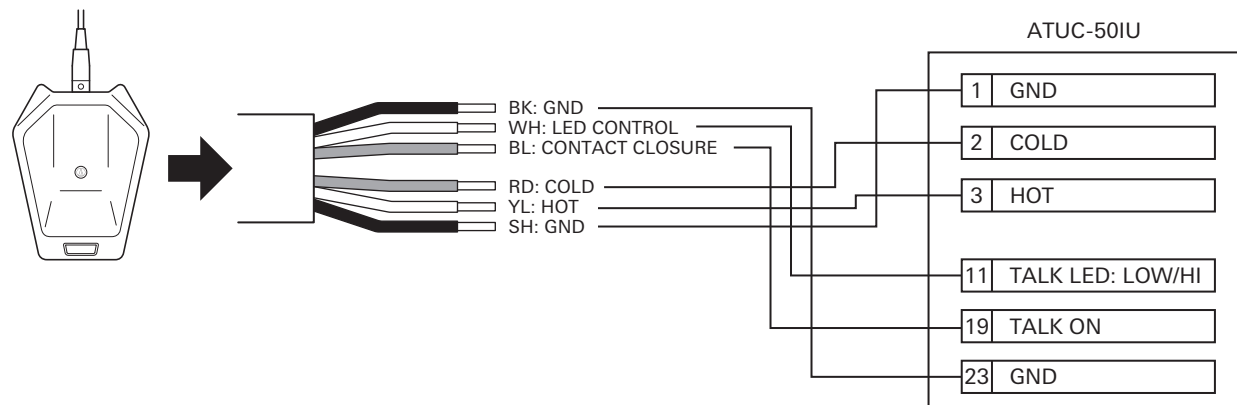
- ATUC-M、ES925/XLR



• AT8657/LED、ES925/FM5、ES9450/FM5、ES947C/FM5



• U891RCb、ES925/DS5



U891RCb、ES925/DS5 を以下のように設定してください。

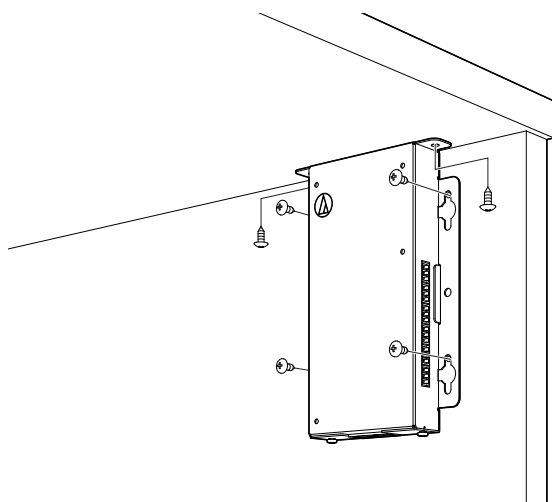
SW.FUNCTION : MOM. ON

CONTROL : LED Remote

IUの取り付け方

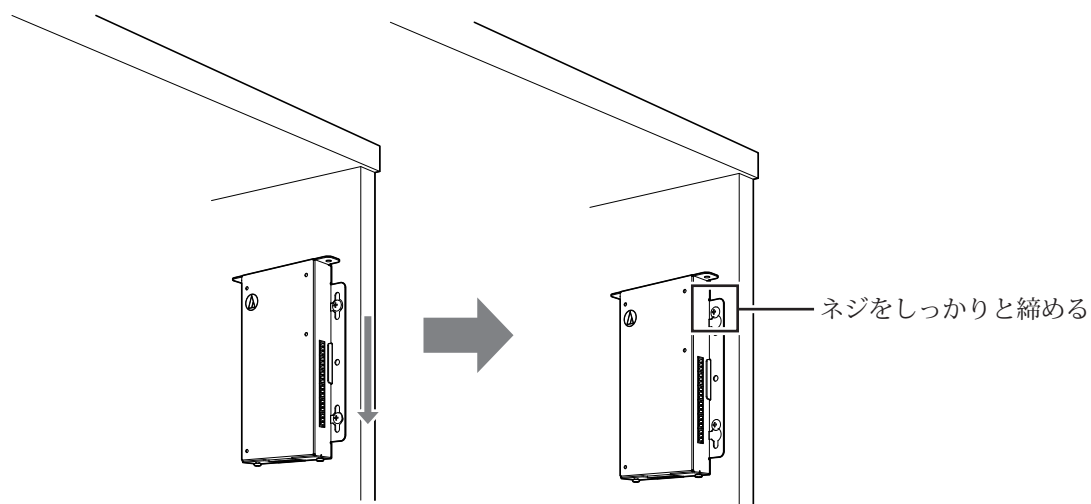
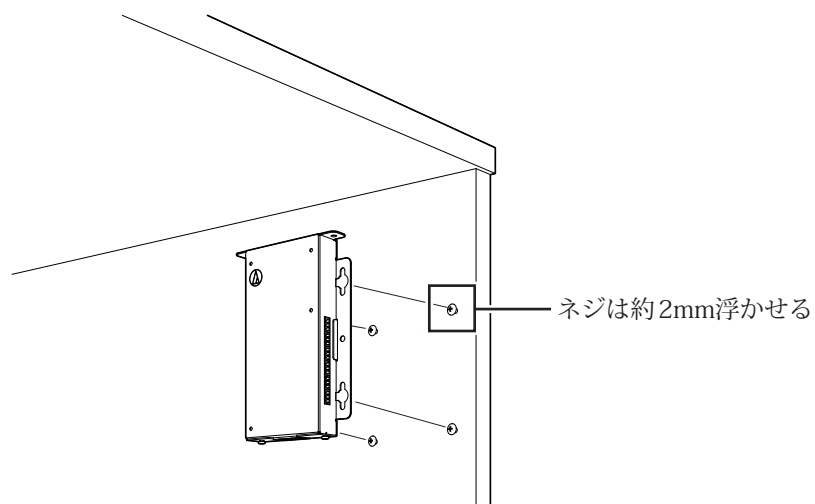
• 2方向で固定する場合

テーブルなどの端にIUを合わせて、ネジで固定します。

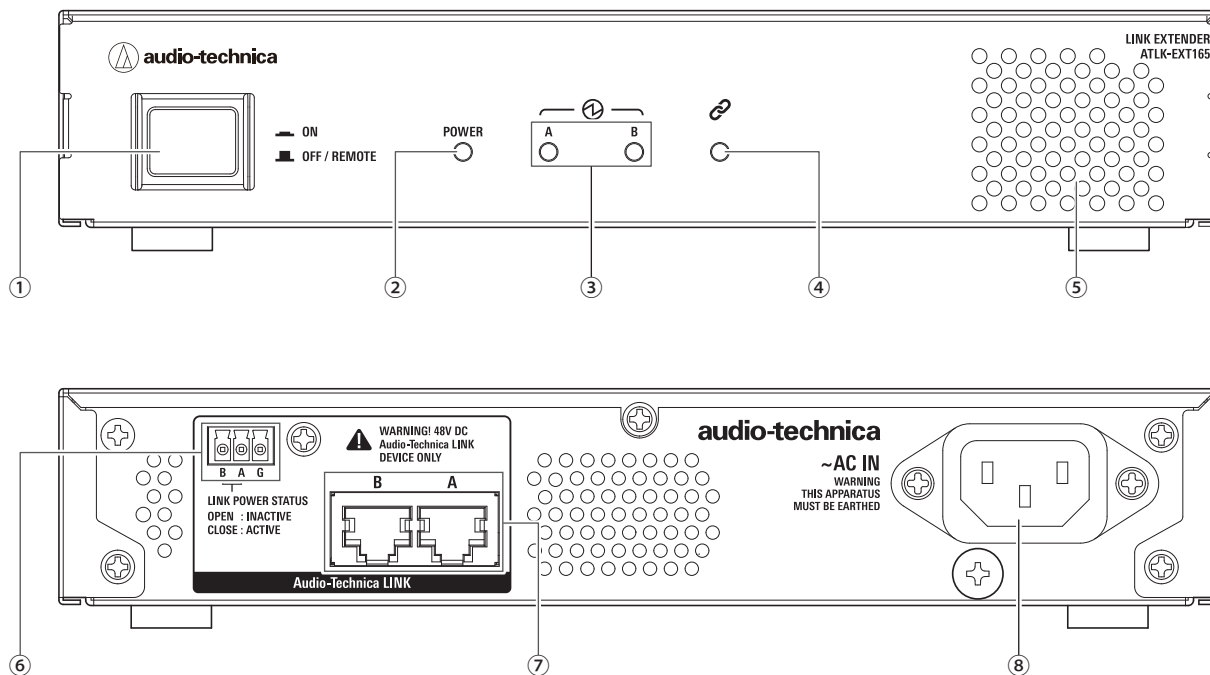


•側面のみで固定する場合

ネジを約2mm浮かせてテーブルなどに固定した後、IUを掛けます。IUを下にずらしたあと、ネジをしっかりと締めて固定します。



- IUを逆向きにつけたり、横向きにつけたりすることもできます。設置の際は、最低限2箇所をネジで固定してください。
- 使用するネジはネジ径φ5mm以下、ネジ頭径φ6mm以上の市販のネジを使用してください。



① モードスイッチ

リモートモード	CUから自動的に起動可能なモードです。
スタンドアロンモード	EXT単体で動作可能なモードです。

EXTを使用する場合、リモートモードでの使用を推奨します。

スタンドアロンモードで手動によりEXTのモードスイッチをオン/オフする場合は、以下の順番で操作してください。操作順を変えると接続されている50DUを正しく認識しない場合があります。

- 電源オンする場合
50CUの電源オン→EXTのモードスイッチオン
- 電源オフする場合
EXTのモードスイッチオフ→CUの電源オフ

② 電源インジケータ

③ Audio-Technica LINK 接続機器インジケータ

Audio-Technica LINKに対応した機器との接続状態を示します。

- 接続済み：点灯
- 接続なし：消灯

④ データインジケータ

- リンクが確立している状態（データ通信なし）：点灯
- データ通信状態：点滅
- リンクなし：消灯

⑤ 冷却ファン

⑥ Audio-Technica LINK POWER STATUS出力端子

- Open：電源インアクティブ
- Close：電源アクティブ

⑦ Audio-Technica LINK A/B端子

- RJ-45
- Audio-Technica LINKに対応した機器を接続するのに使用します。

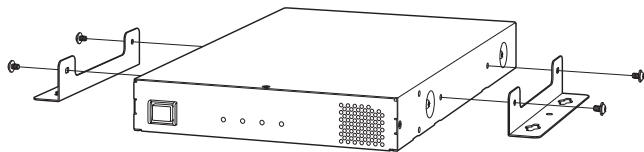
⑧ ACインレット (AC IN)

付属の電源コードを接続します。

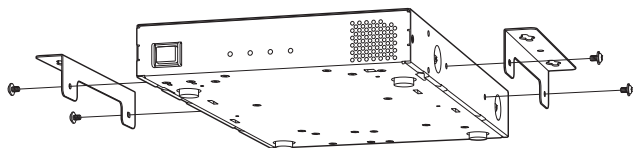
ATLK-EXT165の取り付けかた

1 テーブルマウントを付属のネジ4本でEXT165の側面に取り付けます。

- 底面側を設置する場合

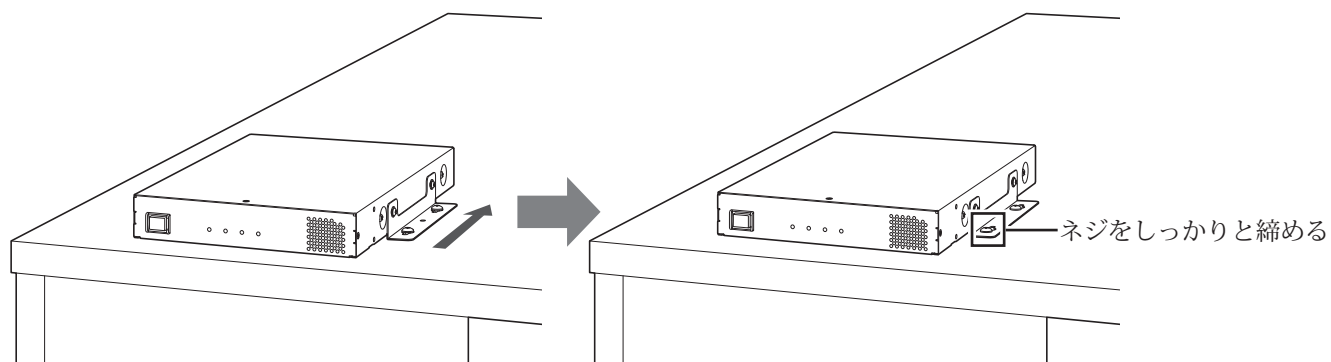
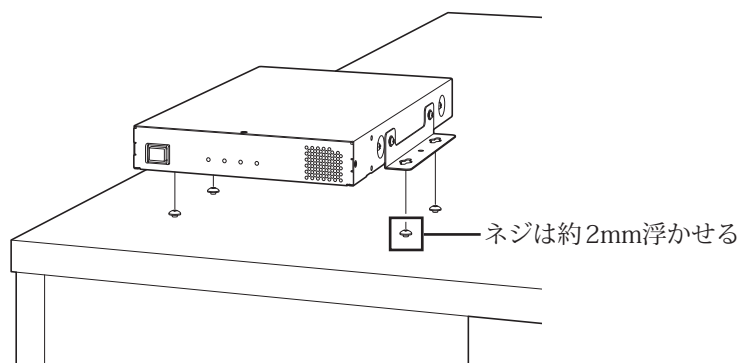


- 上面側を設置する場合

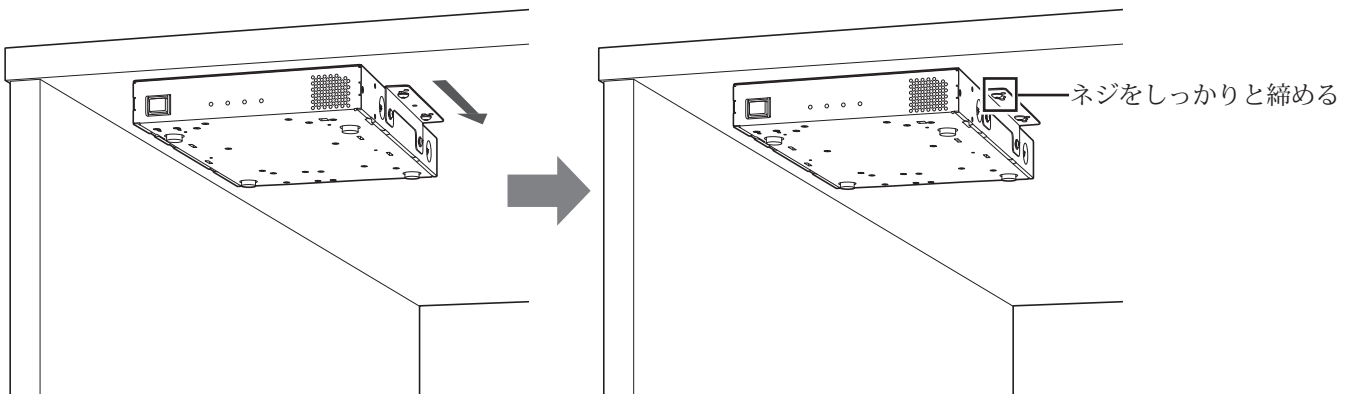
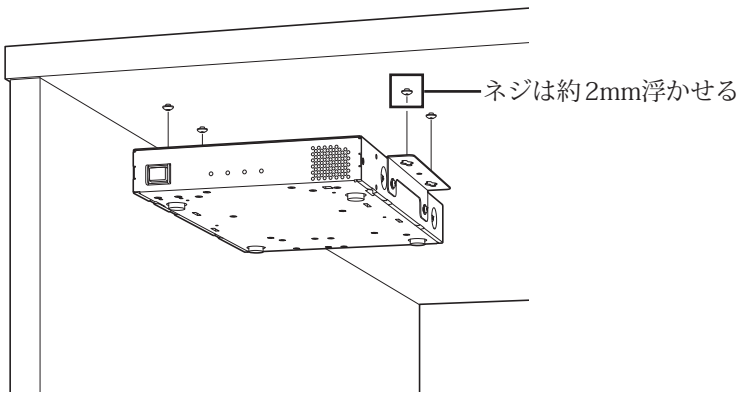


2 テーブルマウントのネジ穴にあわせて市販のネジ（ネジ径φ5mm以下、ネジ頭径φ6mm以上のネジ）を約2mm浮かせてテーブルなどに固定した後、EXT165を置きます。EXT165をずらした後、ネジをしっかりと締めて固定します。

- 底面側を設置する場合



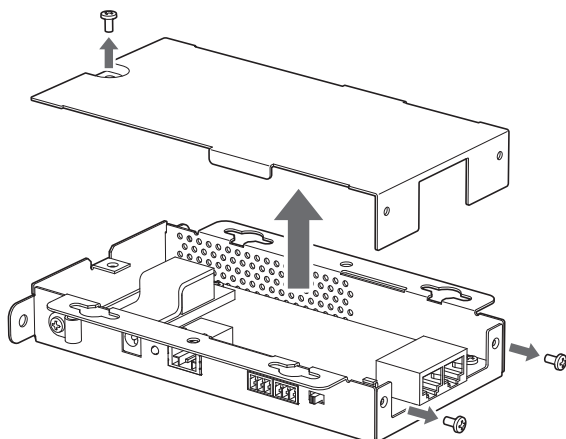
- 上面側を設置する場合



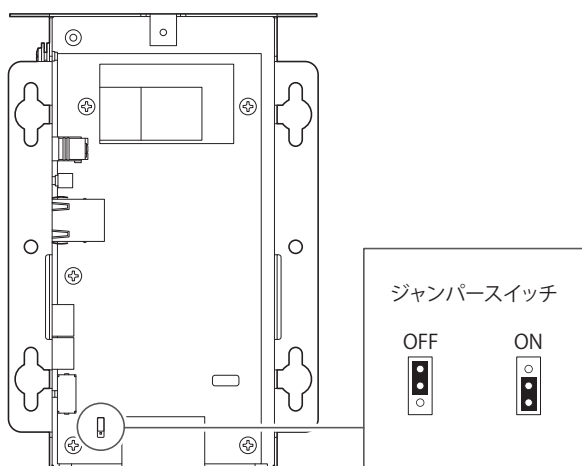
Audio-Technica LINK A端子の電源ON / OFF

- ご注意**
- 内部調整を行うには、安全上の知識を有する専門の施工業者がカバーを取り外す必要があります。お客様ご自身ではカバーを取り外さないでください。
 - 本製品のACアダプターをコンセントに差し込むと、高電圧が発生します。施工業者は、ACアダプターが接続された状態で内部調整を行わないでください。内部の高電圧部分に触れる危険があるため、カバーを取り外す前に、ACアダプターコンセントから抜いてください。また手などを傷つける恐れがあるため、製品内部の鋭い角や天面およびケースの切断面に触れないよう充分注意してください。
 - 内部調整を行う場合、ほかの電子部品に触らないでください。故障の原因になります。

1 図の3か所のねじを取り外し、本体カバーを開きます。



2 ジャンパースイッチのピンを移動し、Audio-Technica LINK A端子の電源ON / OFFを切り替えます。初期設定はOFFになっています。



3 本体カバーを取り付け、手順1で取り外した3か所のねじを取り付けます。

モードスイッチで電源供給を設定する

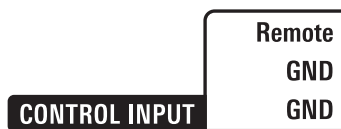
モードスイッチでAudio-Technica LINK端子から電源を供給する場合の動作モードを設定します。



Standalone：常にAudio-Technica LINK端子から電源を供給する。

Remote 1：CUとの接続時にAudio-Technica LINK端子から電源を供給する。

Remote 2：操作入力端子（下図）のRemoteとGNDのOpen / Closedにより、Audio-Technica LINK端子からの電源供給を制御する。



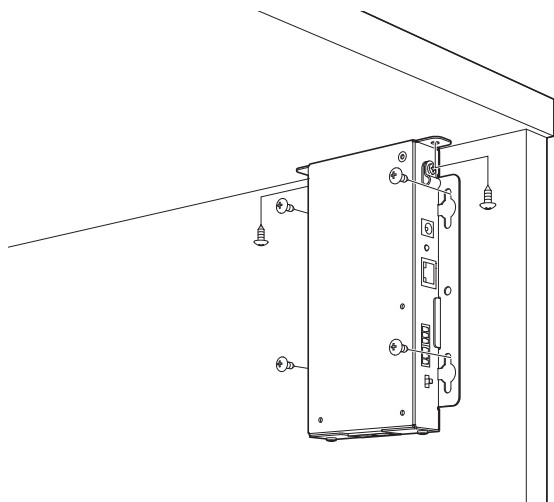
Open：電源供給OFF

Closed (RemoteとGNDをショート)：電源供給ON

ATLK-EXT25の取り付け方

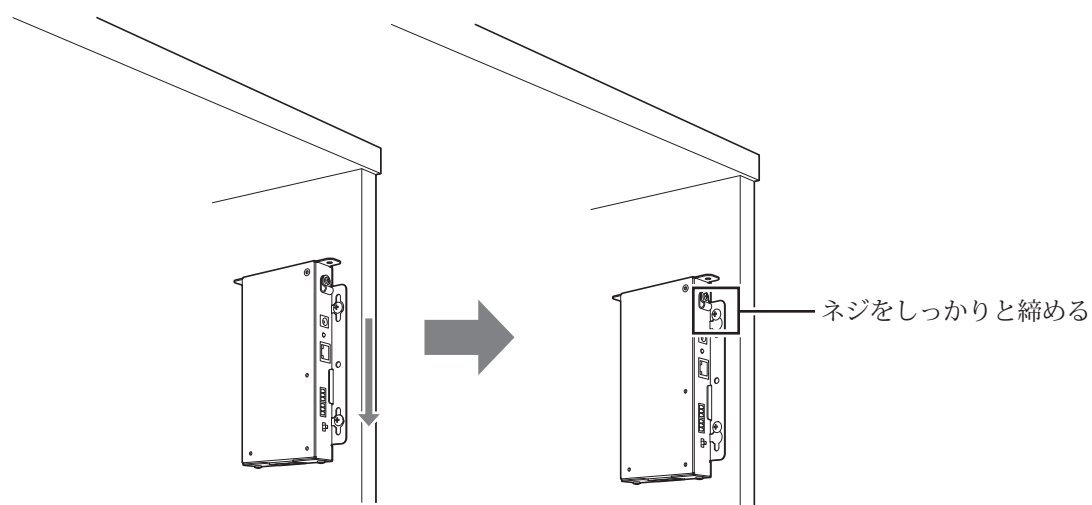
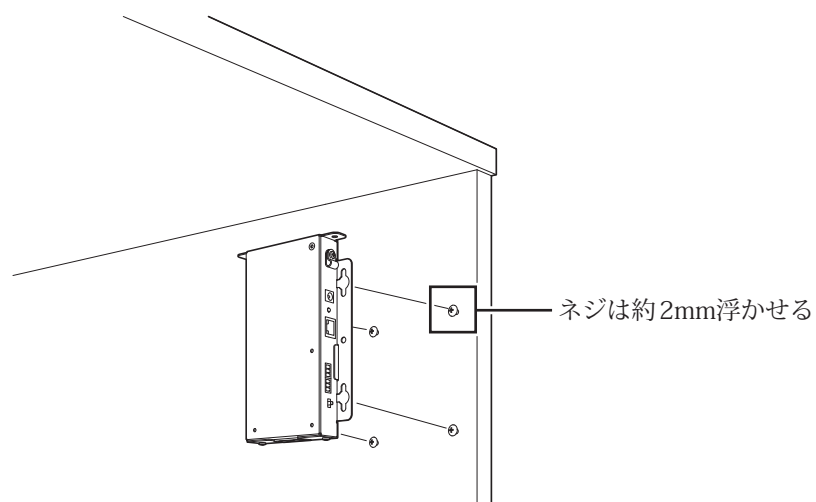
•2方向で固定する場合


テーブルなどの端にEXT25を合わせて、ネジで固定します。



•側面のみで固定する場合

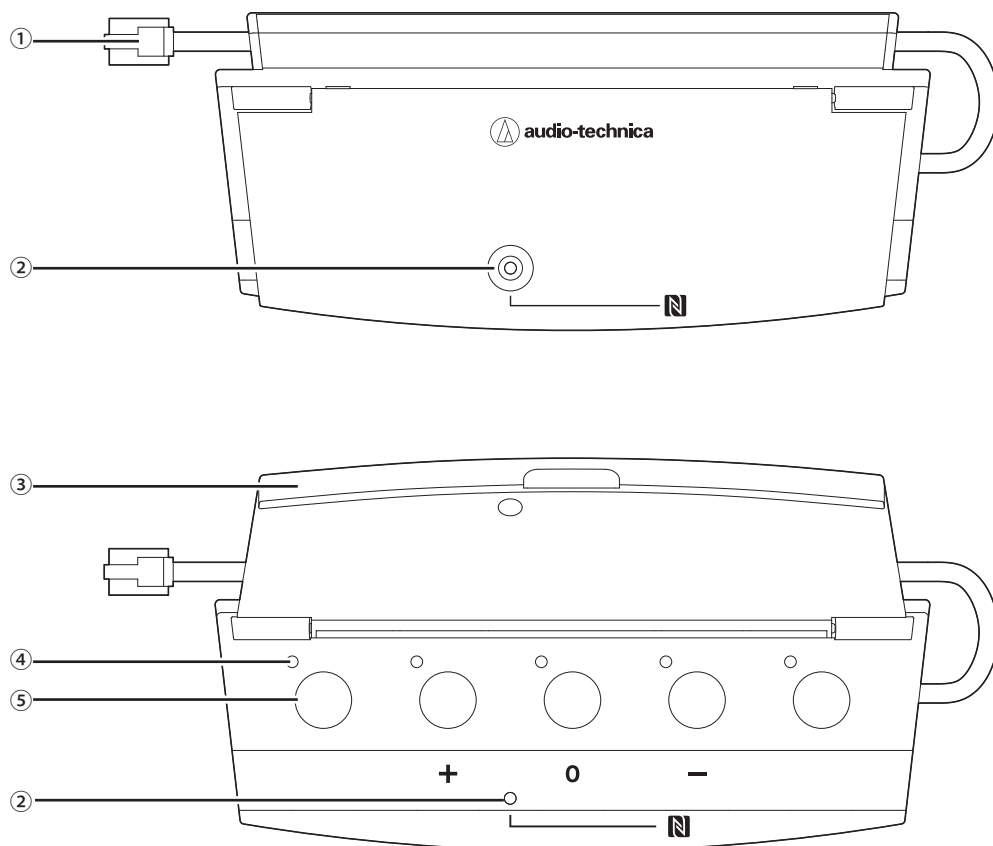
ネジを約2mm浮かせてテーブルなどに固定した後、EXT25を掛けます。EXT25を下にずらしたあと、ネジをしっかりと締めて固定します。



 •EXT25を逆向きにつけたり、横向きにつけたりすることもできます。設置の際は、最低限2箇所をネジで固定してください。

•使用するネジはネジ径φ5mm以下、ネジ頭径φ6mm以上の市販のネジを使用してください。

投票の集票結果の管理や保存については、ATUC-50CUに接続した制御用PC上で行います。



① 接続ケーブル

- RJ-11
- DUaと接続するためのケーブルです。

② NFCインジケータ（Nマーク部分）

- NFCカードリーダーが内蔵されています。対応NFCカードをかざすと、カードのIDが読み込まれます。
- カバーを閉じた状態でも使用できます。
- インジケータは緑色に点灯します。

 • Nマーク付近に、対応NFCカードをかざしてください。

- 対応NFCカードが反応しなかった場合など、もう一度かざすときは0.5秒以上の間隔をおいてください。

③ カバー


本体の保護カバーです。

④ インジケータ

投票状態を示すインジケータです。

⑤ ボタン


投票を行うためのボタンです。

 • NFC機能の使用や、ボタン・インジケータの制御は、IPコントロールで行います。詳しくはIPコントロールプロトコル仕様書を参照してください。

- 優先権をオンに設定されたDUaに接続している場合、ウェブリモートでボタン、インジケータについて特定の機能を割り当てることができます。詳しくは、ウェブリモート編を参照してください。

■ ATUC-50CUで設定を変更する

ディスプレイのHOME画面で「Set」を選択すると、50CUの設定が変更できます。変更可能な項目は、下表のとおりです。より詳細な設定や、50DU/IU/INTの個別設定については、ウェブリモートを使用してください。

 ネットワーク設定の項目を変更した場合、設定値を有効にするため50CUの再起動が必要となります。

Setメニュー一覧

[1] System Setting	
01 Device Name	ATUC-50CU
02 Link Port Set	CU A/B, DU C/D
03 CU Link Mode	Primary, Extension Pass Thru, Extension Last Unit
04 CU Error Notice	On, Off
05 IP Setting	
01 IP Config Mode	Auto, Static
02 IP Address	0.0.0.0 - 255.255.255.255
03 Subnet Mask	0.0.0.0 - 255.255.255.255
04 Gateway Address	0.0.0.0 - 255.255.255.255
06 Allow Discovery	On, Off
07 IP Ctrl Setting	
01 IP Ctrl Port No	00001 - 65535
02 IP Ctrl Ntfy	On, Off
03 Audio Level Ntfy	On, Off
04 M-cast Adrs	0.0.0.0 - 255.255.255.255
05 M-cast Port No	00001 - 65535
08 Auto Mode Change	
01 Auto Mode Change	On, Off
02 Hold Time(Err)	20, 30, 40 秒
09 NTP Setting	
01 NTP	On, Off
02 NTP Adrs	0.0.0.0 - 255.255.255.255
03 NTP Port	00001 - 65535
04 Time Zone	UTC -12:00 - +14:00
05 DST	On, Off
06 DST Start Date	1/1 - 12/31
07 DST Start Time	0:00 - 23:00
08 DST End Date	1/1 - 12/31
09 DST End Time	0:00 - 23:00
10 Login Password	
01 Admin.Pwd.Login	On, Off
02 Admin.Password	パスワードを表示
03 Opr.Pwd.Login	On, Off
04 Opr.Password	パスワードを表示
11 Reset All Dflt.	
[2] System Info	
現在の設定値を表示	
01 Device Name	
02 Serial Number	
03 FW Version	
04 IP Config Mode	
05 IP Address	
06 Subnet Mask	

07 Gateway Address	
08 Mac Address	
09 Allow Discovery	
10 IP Ctrl Port No	
11 IP Ctrl Ntfy	
12 Audio Level Ntfy	
13 M-cast Adrs	
14 M-cast Port No	
15 NTP	
16 NTP Adrs	
17 NTP Port	
18 Time Zone	
19 CU Link Status	
20 CU Link Mode	
21 No.ofExtensionCU	
22 Total No.of DU	
23 Total No.of IU	
24 Total No.of INT	

[3] Audio Setting	
01 MIC/LINE Input 1	
01 Input Type	Mic, Line +4dBu, Line 0dBV
02 Input Gain	-24dB - +20dB
03 Level	-∞, -120 - +10dB
04 Phantom Power	On, Off
05 Mix to Floor	On, Off
02 MIC/LINE Input 2	
01 Input Type	Mic, Line +4dBu, Line 0dBV
02 Input Gain	-24dB - +20dB
03 Level	-∞, -120 - +10dB
04 Phantom Power	On, Off
05 Mix to Floor	On, Off
03 AUX Input	
01 Level	-∞, -120 - +10dB
02 Mix to Floor	On, Off
04 DU SP Output Lvl	0 - 20
05 DU Floor Lock	On, Off
06 VoiceDetectSens	-5, -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4, 5
07 Auto to Mic2 In	On, Off

[4] Recorder Setting	
01 Rec Format	WAV, MP3
02 RecordingQuality	64, 128, 192, 256, 320kbps
03 No.of Rec CH	1 - 4 (WAV), 1 - 2 (MP3)
04 Rec Source CH1	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix

05 Rec Source CH2	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix
06 Rec Source CH3	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix
07 Rec Source CH4	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix
08 Auto Track	Off, 15, 30 min, 1, 2 hour
09 Filename Prefix	ファイル名のプレフィックスを表示

[5] Conference Mode

01 Conference Mode	Free Talk, Request Talk, Full Remote
02 NOM	1 - 10
03 Auto Mic Off	5 - 60sec, Off
04 Override Mode	No Override, FIFO, LIFO (Conference Mode (会議モード)による)
05 Max Queue	0 - 150
06 MicON Trigger	All Button, All Push-to-Talk, All Voice
07 MicON Hold Time	1.0 - 10.0 seconds
08 Interrupt Option	Cut, Mute

[6] Logging

01 Logging	On, Off
02 Destination	Internal, USB

[7] Presets

01 Recall Presets	プリセットの呼び出し
02 Save Presets	プリセットの保存
03 Import Presets	プリセットのインポート
04 Export Presets	プリセットのエクスポート
05 Boot Up Preset	起動時に呼び出すプリセット

■ 文字を入力するには

例えば [4] *Recorder Setting* → *09 Filename Prefix*などで、テキストを入力するには下記の手順に従ってください。

1 ダイヤルを回して入力する文字を選択する。

入力できる文字は下記のとおりです。

(1) *Password*

A~Z, a~z, 1~9, 0

(2) *Device Name*

A~Z, a~z, 1~9, 0, ! # \$ ' () * + , - . : ; < = > ? @ ` \ ,
(スペース)

(3) *Filename Prefix*

A~Z, a~z, 1~9, 0, ! # \$ ' () + , - . : ; = ? @ ` \ ,
(スペース)

2 ENTERボタンを押して文字を確定する。

カーソルが次のセルに移動します。

3 手順1、2を繰り返してテキストを入力する。

入力済みの文字を編集する場合は、下記の手順に従ってください。

• **カーソルを編集したい文字に移動するには：**

- (1) BACKボタンを押しながらダイヤルを回してカーソルを移動する。
- (2) BACKボタンを離す。

• **入力済みの文字を削除するには：**

- (1) 削除したい文字にカーソルを移動する。
- (2) BACKボタンを押しながらENTERボタンを押す。
カーソルの場所の文字が削除されます。



• カーソルがテキスト末尾にあり、“_”の点滅状態の場合は、カーソルの1つ前の文字が削除されます。

• **入力済みの文字を修正するには：**

- (1) 修正したい文字にカーソルを移動する。
- (2) ダイヤルを回して文字を選択する。

• **編集を終了するには：**

- (1) カーソルが“■”の点滅状態の時に、ENTERボタンを押す。
編集を終了して、カーソルがテキスト末尾に移動し、“_”の点滅状態になります。

4 カーソルが“_”の点滅状態のときに、ENTERボタンを押して、テキストを確定する。

*Completed!*が表示された後、ファイル名が表示されます。

通訳者ユニット(ATUC-50INT)の概要

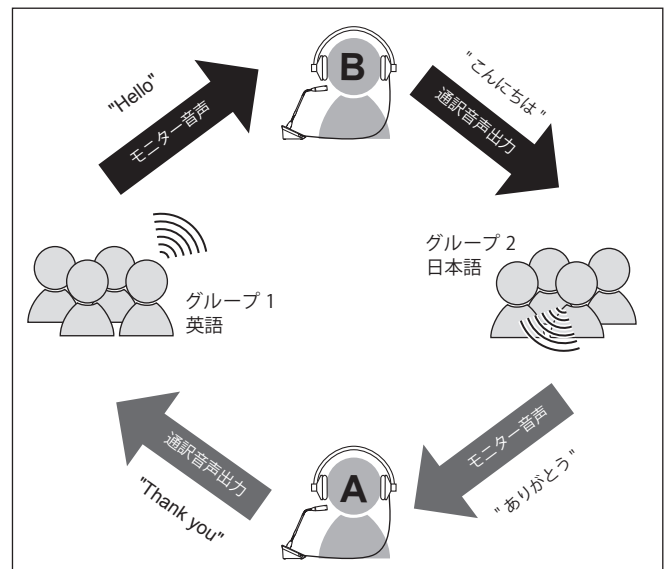
- 通訳者ユニットは最大6台まで接続可能です。
- 50DU/IU/INTの最大接続台数は合計300台です。(CUリンク3台の場合)
- INTは親機のみ接続できます。子機には接続できません。

通訳者ユニットATUC-50INTを加えたデジタル会議システムATUC-50は、次の(1)～(3)の3種類の通訳が可能となります。ここでは通訳言語を下表のとおり設定したと仮定して、概略動作について説明します。

言語名	グループ1	英語
	グループ2	日本語
	グループ3	仏(フランス)語

(1) 2言語通訳 (2言語)

- 2言語通訳を選択した場合、INTの通訳パターンは3パターンから選択できます。(下表)
- 通訳パターンを例えば「英 -> 日」に設定した場合、ディスプレイ①の左の桁に「F」が、右の桁に「2」が表示されます。このとき、モニターチャンネルからはフロアーチャンネルの音声聞こえてきます。また、INTのマイクから入力した通訳音声は、グループ2(日本語グループ)へ出力されます。
- 双方向通訳パターンを選択した場合、そのINT1台だけで通訳システムが成立します。通訳言語選択ボタン⑥を押すことで、通訳パターン「日 -> 英(出力先言語A)」と「英 -> 日(出力先言語B)」が切り替わり、通訳音声の出力先が連動して切り替わります。「日 -> 英(出力先言語A)」と「英 -> 日(出力先言語B)」のどちらの通訳パターンを選択していたかは保存されないため、システム起動時の通訳パターンは「日 -> 英(出力先言語A)」となります。

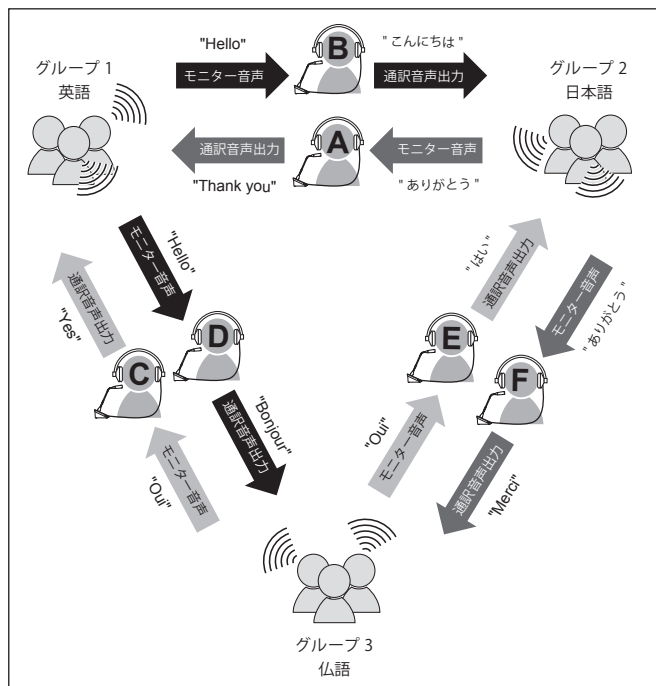


通訳パターン	通訳者	モニター音声	左桁表示	出力先グループ	右桁表示
英 <-> 日	A+B	フロアー*	F*	出力先言語 A	英 1
				出力先言語 B	日 2
英 -> 日	B			日	2
日 -> 英	A			英	1

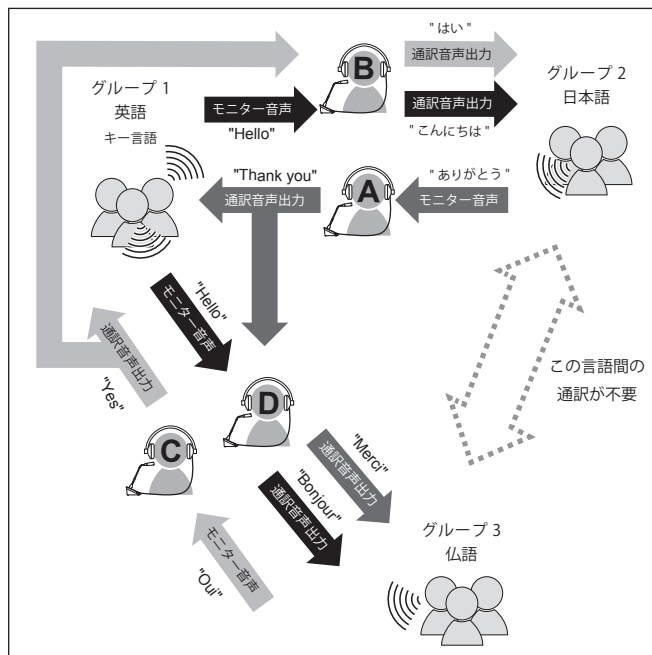
* 通訳者による切替操作で言語グループ1(キー言語)の音声をモニターすることも可能

(2) 3言語通訳 (3言語)

- 3言語通訳を選択した場合、INTの通訳パターンは9パターンから選択できます。(下表)
- 2言語間の組合せが3通りありますが、基本的な動作は2言語通訳と同様です。



- 3つの言語のうち、グループ1の言語をキー言語(ここでは英語)として、リレー通訳運用ができます。(下図)
- 例えば仏(フランス)語から日本語へ通訳する場合、まず通訳者Cが「仏 -> 英」の通訳を行います。通訳者Bは、モニターチャンネルをキー言語の「1」に切り替え、通訳者Cによって通訳された英語の音声を聞いて、「英 -> 日」の通訳を行います。
- その他、基本的な動作は2言語と同様です。



通訳パターン	通訳者	モニター音声	左桁表示	出力先グループ	右桁表示		
英 <-> 日	A+B	フロアー*	F*	出力先言語 A	英 1		
				出力先言語 B	日 2		
英 <-> 仏	C+D			出力先言語 A	英 1		
				出力先言語 B	仏 3		
日 <-> 仏	E+F			出力先言語 A	日 2		
				出力先言語 B	仏 3		
英 -> 日	B					日	2
日 -> 英	A					英	1
英 -> 仏	D					仏	3
仏 -> 英	C			英	1		
日 -> 仏	F			仏	3		
仏 -> 日	E			日	2		

* 通訳者による切替操作で言語グループ1(キー言語)の音声をモニターすることも可能

通訳パターン	通訳者	モニター音声	左桁表示	出力先グループ	右桁表示		
英 <-> 日	A+B	フロアー / 英	F/1	出力先言語 A	英 1		
				(通訳者による切替)	出力先言語 B	日 2	
英 <-> 仏	C+D			出力先言語 A	英 1		
				(通訳者による切替)	出力先言語 B	仏 3	
英 -> 日	B			英	1	日	2
日 -> 英	A			フロアー	F	英	1
英 -> 仏	D			英	1	仏	3
仏 -> 英	C			フロアー	F	英	1

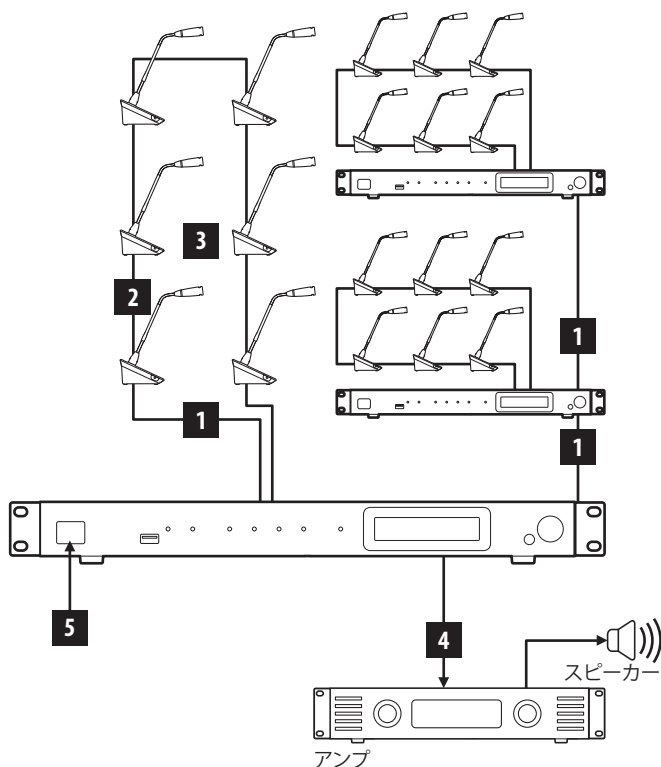
有線システムの接続と構築

■ 機器を接続する

- ご注意**
- 付属の電源コードは、他のすべての接続が終わってから接続してください。
 - 機器を接続するときは、コネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。コネクタがゆるんでいると、雑音や動作不良の原因となります。
 - 端子の向きをよく確認してください。
 - 機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書も参照してください。
 - ここでは50CU、50DU、INTの接続について記載していますが、IUの基本的な接続は50DUと同様なので、IUを接続する場合はDUの接続を参考にしてください。ただし、IUの接続台数については、「LANケーブルの長さ、接続台数と必要なEXTの台数の関係」の表(37、44 ページ)を参考にしてください。

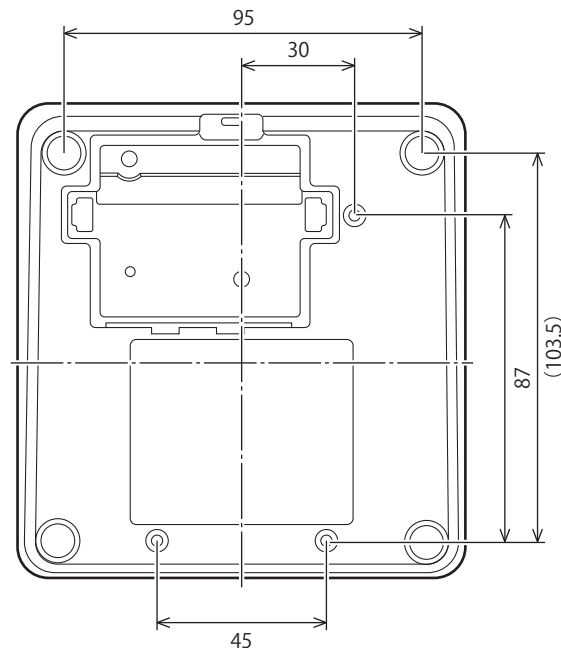
接続全体図(1)

接続全体図(2) (49 ページ) に続きます。



- ご注意**
- ストレートケーブルをお使いください。(导体サイズ24AWGの径以上、シールド付き)
 - フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
 - 電源アースは接続してください。

50DU/INTを机やテーブルに固定する場合、底面にあるねじ穴(3箇所)を利用できます(ネジ:M3、P=0.5、ボトム面からネジ先端まで6mm以内)

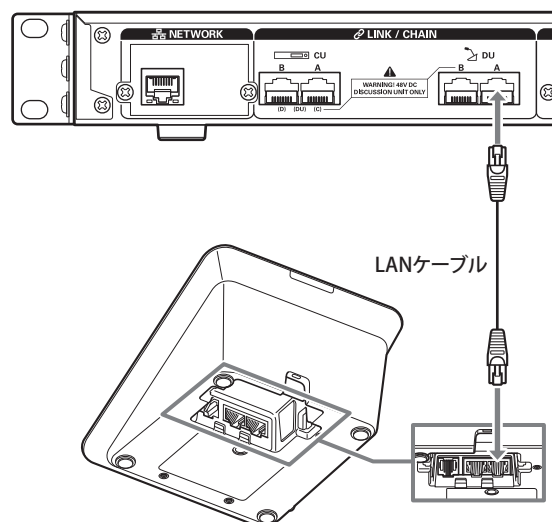


■ 1 50CUに50DU/INTを接続する

1 50CUと50DU/INTを配置する。

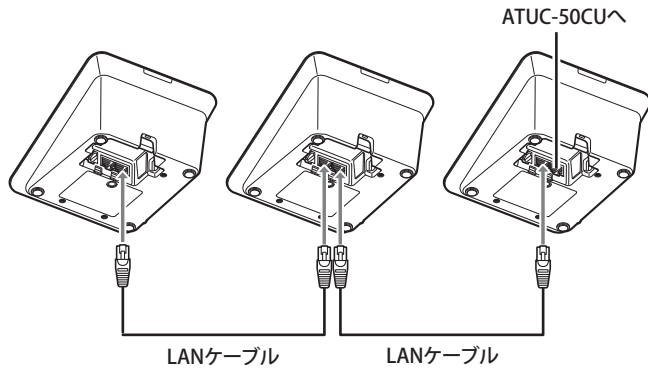
- ご注意**
- 平らな場所に設置してください。機器が落下して故障や怪我の原因となります。
 - 50CUをラックマウントする場合は、15ページの注意事項を確認のうえ、設置してください。

2 DU CHAIN A/B端子に50DU/INTを接続する。



- 50DU/INTのボトムカバーを外して、LANケーブルを接続してください。ボトムカバーは、両側のツメを内側へつまみ上げて外します。
- 50DU/INT側では、50DU/50CU接続端子に区別はないため、左右どちらの端子に接続してもかまいません。

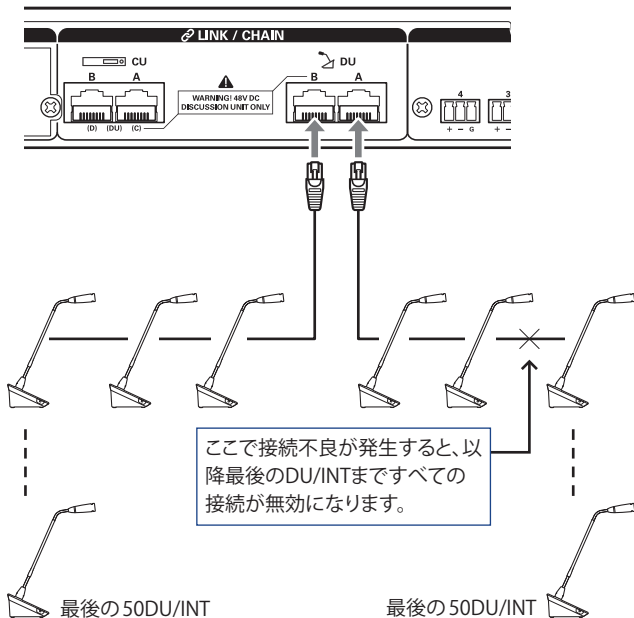
2 50DU/INT同士を接続する



1 設置環境や運用方法に合わせて50DU/INTを接続する。

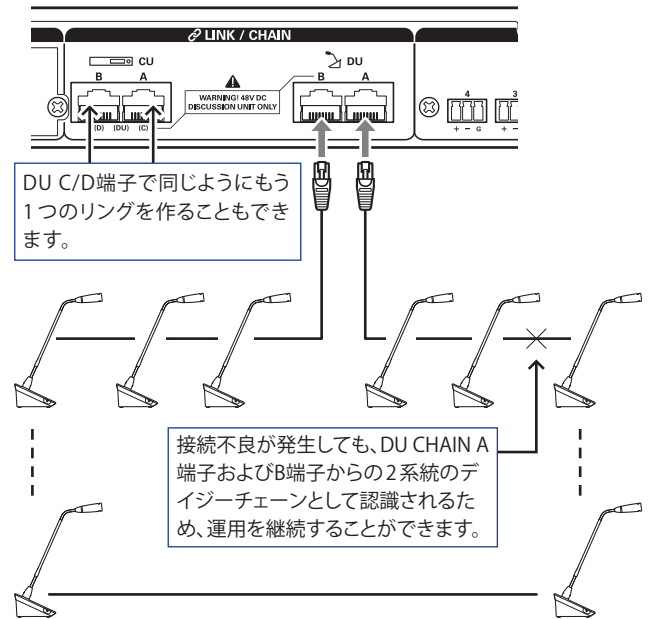
デジチェーン接続：

DU CHAIN A/B (C/D) 端子に50DU/INTを直列に接続します。リング接続に比べると、50CUからより離れたところまで50DU/INTを配置することができます。

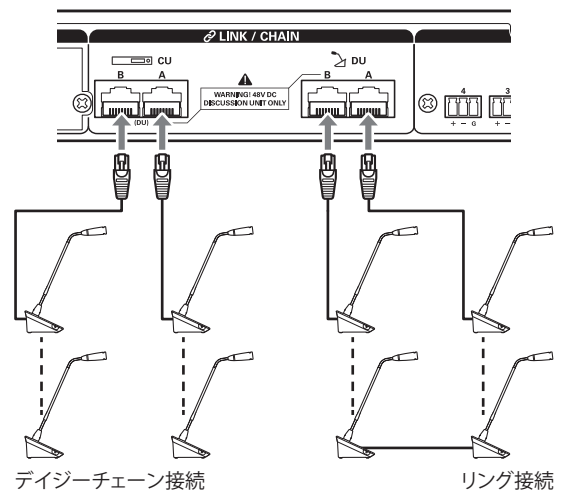


リング接続：

DU CHAIN A/B端子にそれぞれ50DU/INTをつないでいき、最後の50DU/INT同士を接続してリングを作ります。リング接続の中で接続不良が発生しても、DU CHAIN A端子およびB端子からの2系統のデジチェーンとして認識されるため、不具合の影響を最小限にとどめて、運用を継続することができます。



- DU CHAIN A/B端子はリング接続でDU CHAIN C/D端子はデジチェーン接続というように、異なる接続を組み合わせることもできます。



2 EXTでシステムを拡張する

EXTをシステムに加えることで、50DU/INTの接続台数を増やしたり、接続ケーブル (LANケーブル) の総延長距離を延ばすことが可能です。

一例として、DU CHAIN A/B端子ともデジチェーン接続している場合、B端子の近傍にATLK-EXT165を接続すると、両端子とも最大50台、合計100台の50DU/INTが接続可能です。

スタンドアロン時の各ポート/各50CUの最大端末接続数

	DU CHAIN端子の最大接続数				
	A	B	C	D	合計
デジチェーン接続	50	50	50	50	100*
リング接続	50		50		100

* DU CHAIN各端子に接続された端末の最大接続数は、EXTを使用することで100台まで可能となります。

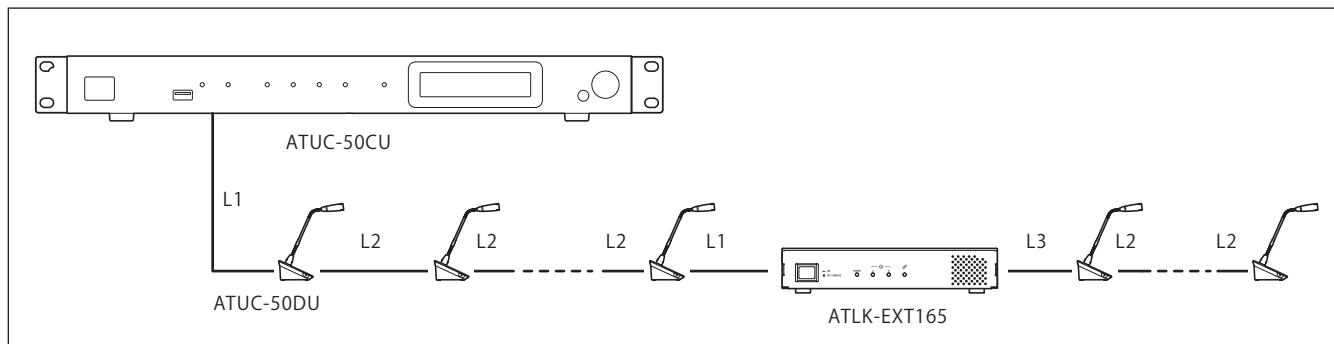
* IUは50DUよりも消費電力が大きいため、表で示した台数を接続できません。接続すると50CUやEXTの故障の原因となります。IUの接続可能台数については、「LANケーブルの長さ、接続台数と必要なEXTの台数の関係」の表(p37、44 ページ)を参考にしてください。

CU LINK 3 台時の各ポート/各CUの最大端末接続数

	ATUC-50CU親機			ATUC-50CU子機*最大2台				システム の合計
	DU CHAIN端子の最大接続数			DU CHAIN端子の最大接続数				
	A	B	合計	A	B	合計	50CU x 2 合計	
デジチェーン接続	50	50	100	50	50	100	200	300
リング接続	50		50	50		50	100	150

ご注意 ・INTは親機に最大6台まで接続可能です。

デジチェーン接続 (ATLK-EXT165)



- ご注意**
- 50CU-50DU-50DU-…50DU-EXT165となる接続の[50DU-EXT165]間の距離はL1になります。
 - EXT165-50DU-…50DU-50DU-となる時の[EXT165-50DU]の距離はL3になります。

LANケーブルの長さ、接続台数と必要なATLK-EXT165の台数の関係：デジチェーン接続

ケーブルの長さ			1ポートデジチェーン接続 (DU使用)		1ポートデジチェーン接続 (IU使用)		1ポートデジチェーン接続 (50DUa+VU使用)	
50CU- 50DU間	50DU- 50DU間	EXT165- 50DU間	50DU接続 台数	EXT165必要 台数	IU接続台数	EXT165必要 台数	50DUa+VU 接続台数	EXT165必要 台数
L1	L2	L3						
10m	1.5m	10m	1～45台	0台	1～30台	0台	1～32台	0台
			46～50台	1台	31～45台	1台	33～49台	1台
50m	1.5m	10m	1～36台	0台	1～24台	0台	1～26台	0台
			37～50台	1台	25～39台	1台	27～42台	1台
100m	1.5m	10m	1～24台	0台	1～16台	0台	1～17台	0台
			25～50台	1台	17～33台	1台	18～36台	1台
10m	2.0m	10m	1～29台	0台	1～27台	0台	1～31台	0台
			44～50台	1台	28～43台	1台	32～48台	1台
50m	2.0m	10m	1～34台	0台	1～23台	0台	1～25台	0台
			35～50台	1台	24～37台	1台	26～41台	1台
100m	2.0m	10m	1～24台	0台	1～16台	0台	1～17台	0台
			25～50台	1台	17～33台	1台	18～36台	1台
10m	5.0m	10m	1～33台	0台	1～25台	0台	1～26台	0台
			34～50台	1台	26～39台	1台	27～42台	1台
50m	5.0m	10m	1～27台	0台	1～20台	0台	1～21台	0台
			28～50台	1台	21～34台	1台	22～38台	1台
100m	5.0m	10m	1～20台	0台	1～14台	0台	1～15台	0台
			21～48台	1台	15～30台	1台	16～34台	1台

ケーブルの長さ			2ポートデジター接続 (50DU使用)			2ポートデジター接続 (IU使用)			2ポートデジター接続 (50DUa+VU使用)		
50CU- 50DU 間	50DU- 50DU 間	EXT165- 50DU 間	50DU接 続台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数	IU接続台 数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数	50DUa +VU接続 台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数
L1	L2	L3									
10m	1.5m	10m	1～25 × 2台	(計50台)	0台	1～16 × 2台	(計32台)	0台	1～18 × 2台	(計36台)	0台
			26～50 × 2台	(計100台)	2台	17～39 × 2台	(計78台)	2台	19～42 × 2台	(計84台)	2台
50m	1.5m	10m	1～23 × 2台	(計46台)	0台	1～15 × 2台	(計30台)	0台	1～16 × 2台	(計32台)	0台
			24～50 × 2台	(計100台)	2台	16～37 × 2台	(計74台)	2台	17～40 × 2台	(計80台)	2台
100m	1.5m	10m	1～20 × 2台	(計40台)	0台	1～13 × 2台	(計26台)	0台	1～14 × 2台	(計28台)	0台
			21～50 × 2台	(計100台)	2台	14～35 × 2台	(計70台)	2台	15～38 × 2台	(計76台)	2台
10m	2.0m	10m	1～25 × 2台	(計50台)	0台	1～16 × 2台	(計32台)	0台	1～18 × 2台	(計36台)	0台
			26～50 × 2台	(計100台)	2台	17～37 × 2台	(計74台)	2台	19～42 × 2台	(計84台)	2台
50m	2.0m	10m	1～23 × 2台	(計46台)	0台	1～15 × 2台	(計30台)	0台	1～16 × 2台	(計32台)	0台
			24～50 × 2台	(計100台)	2台	16～36 × 2台	(計72台)	2台	17～40 × 2台	(計80台)	2台
100m	2.0m	10m	1～20 × 2台	(計40台)	0台	1～12 × 2台	(計24台)	0台	1～14 × 2台	(計28台)	0台
			21～50 × 2台	(計100台)	2台	13～34 × 2台	(計68台)	2台	15～38 × 2台	(計76台)	2台
10m	5.0m	10m	1～24 × 2台	(計48台)	0台	1～16 × 2台	(計32台)	0台	1～17 × 2台	(計34台)	0台
			25～50 × 2台	(計100台)	2台	17～35 × 2台	(計70台)	2台	18～38 × 2台	(計76台)	2台
50m	5.0m	10m	1～22 × 2台	(計44台)	0台	1～14 × 2台	(計28台)	0台	1～15 × 2台	(計30台)	0台
			23～50 × 2台	(計100台)	2台	15～33 × 2台	(計66台)	2台	16～37 × 2台	(計74台)	2台
100m	5.0m	10m	1～19 × 2台	(計38台)	0台	1～12 × 2台	(計24台)	0台	1～13 × 2台	(計26台)	0台
			20～48 × 2台	(計96台)	2台	13～31 × 2台	(計62台)	2台	14～34 × 2台	(計68台)	2台

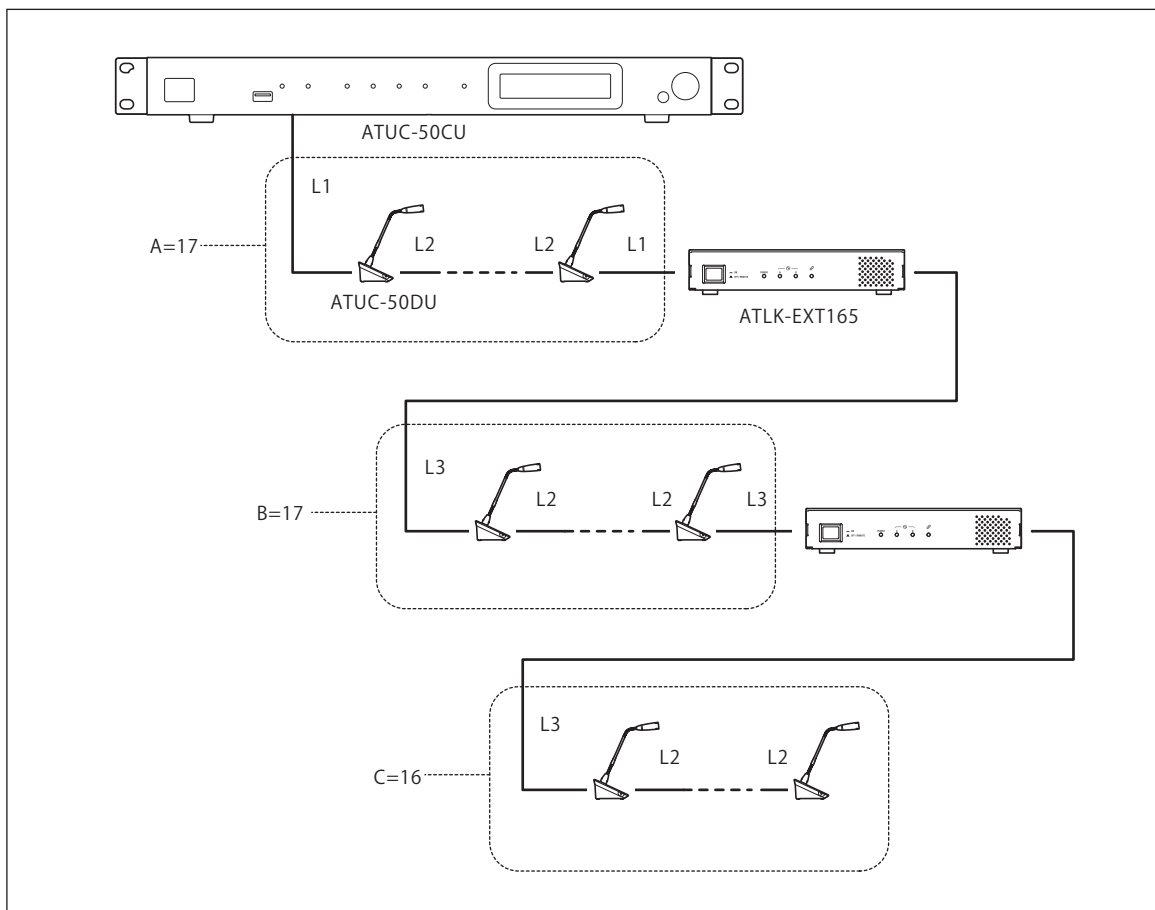
ケーブルの長さ			接続 ポート	4ポートデジター接続 (50DU使用)			4ポートデジター接続 (IU使用)			4ポートデジター接続 (50DUa+VU使用)		
50CU- 50DU 間	50DU- 50DU 間	EXT165- 50DU 間		50DU接続 台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数	IU接続台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数	50DUa+VU 接続台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数
L1	L2	L3										
10m	1.5m	10m	A/B	1～15 × 2台	(計50 台)	0台	1～10 × 2台	(計32 台)	0台	1～12 × 2台	(計36 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台
			A/B	16～30 × 2台	(計100 台)	2台	11～30 × 2台	(計100 台)	2台	13～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台
50m	1.5m	10m	A/B	1～15 × 2台	(計50 台)	0台	1～9 × 2台	(計30 台)	0台	1～12 × 2台	(計34 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～5 × 2台		0台
			A/B	16～30 × 2台	(計100 台)	2台	10～30 × 2台	(計100 台)	2台	13～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	6～20 × 2台		2台
100m	1.5m	10m	A/B	1～14 × 2台	(計48 台)	0台	1～8 × 2台	(計28 台)	0台	1～10 × 2台	(計30 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～5 × 2台		0台
			A/B	15～30 × 2台	(計100 台)	2台	9～30 × 2台	(計100 台)	2台	11～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	6～20 × 2台		2台
10m	2.0m	10m	A/B	1～15 × 2台	(計50 台)	0台	1～10 × 2台	(計32 台)	0台	1～12 × 2台	(計36 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台
			A/B	16～30 × 2台	(計100 台)	2台	11～30 × 2台	(計100 台)	2台	13～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台
50m	2.0m	10m	A/B	1～15 × 2台	(計50 台)	0台	1～9 × 2台	(計30 台)	0台	1～12 × 2台	(計34 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～5 × 2台		0台
			A/B	16～30 × 2台	(計100 台)	2台	10～30 × 2台	(計100 台)	2台	13～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	6～20 × 2台		2台
100m	2.0m	10m	A/B	1～14 × 2台	(計48 台)	0台	1～8 × 2台	(計28 台)	0台	1～10 × 2台	(計30 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～5 × 2台		0台
			A/B	15～30 × 2台	(計100 台)	2台	9～30 × 2台	(計100 台)	2台	11～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	6～20 × 2台		2台

ケーブルの長さ			接続 ポート	4ポートデージー接続 (50DU使用)			4ポートデージー接続 (IU使用)			4ポートデージー接続 (50DUa+VU使用)		
50CU- 50DU 間	50DU- 50DU 間	EXT165- 50DU 間		50DU接続 台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数	IU接続台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数	50DUa+VU 接続台数	最大 接続台数	EXT165 必要 台数
L1	L2	L3										
10m	5.0m	10m	A/B	1～15 × 2台	(計50 台)	0台	1～10 × 2台	(計32 台)	0台	1～12 × 2台	(計36 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台
			A/B	16～30 × 2台	(計100 台)	2台	11～29 × 2台	(計98 台)	2台	13～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台
50m	5.0m	10m	A/B	1～15 × 2台	(計50 台)	0台	1～9 × 2台	(計30 台)	0台	1～11 × 2台	(計32 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～5 × 2台		0台
			A/B	16～30 × 2台	(計100 台)	2台	10～29 × 2台	(計98 台)	2台	12～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	6～20 × 2台		2台
100m	5.0m	10m	A/B	1～14 × 2台	(計48 台)	0台	1～8 × 2台	(計28 台)	0台	1～11 × 2台	(計32 台)	0台
			C/D	1～10 × 2台		0台	1～6 × 2台		0台	1～5 × 2台		0台
			A/B	15～30 × 2台	(計100 台)	2台	9～28 × 2台	(計96 台)	2台	12～30 × 2台	(計100 台)	2台
			C/D	11～20 × 2台		2台	7～20 × 2台		2台	6～20 × 2台		2台

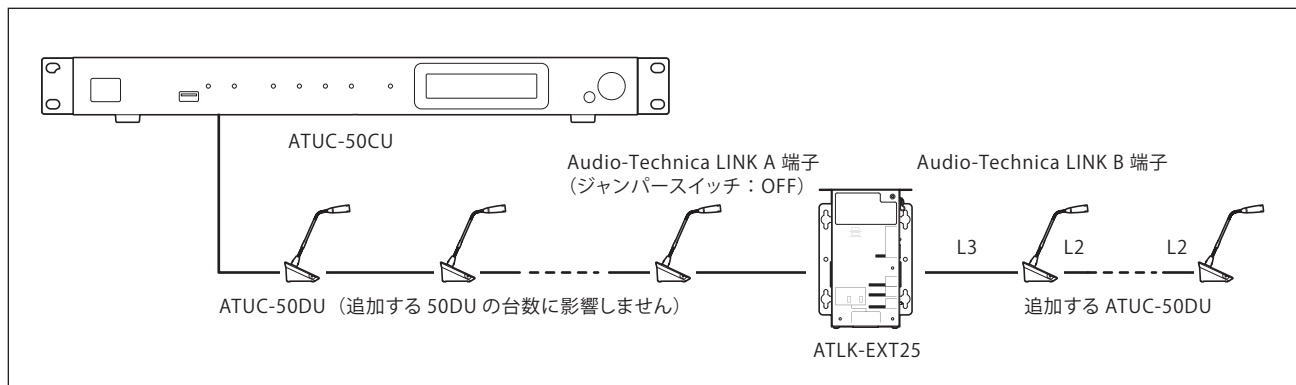
上表は以下の条件で算出されています。

- 50DUの接続可能台数は、ATUC-Mを使用した場合の数値です。
- IUの接続可能台数は、ATUC-M、TALK LED、およびFLOOR LED、8Ωスピーカーユニット、負荷32Ωヘッドホン、GPO端子にLED×4個(各7mA)を使用した場合の数値です。
- Cat5e以上(導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き)のケーブルを使用します。
- 1ポートデージー接続：DU CHAIN A/B端子のうち、どちらか一方に50DU/IUをデージー接続します。
- 2ポートデージー接続：DU CHAIN A/B両端子に同数の50DU/IUをデージー接続します。
- 4ポートデージー接続：DU CHAIN A/B両端子に同数の50DU/IUをデージー接続、およびDU CHAIN C/D両端子に同数のDU/IUをデージー接続します。
- 「50DUa+VU接続台数」はNFCを使用した場合です。

- ご注意**
- 50DU/IUを接続する場合、絶対に接続可能台数と接続距離を超過しないでください。50CUやEXT165の故障の原因となります。
 - CUの設定により、CU LINK端子もDU CHAIN C/D端子としてDU/IUを接続できますが、DU CHAIN A/B端子の接続台数に余裕がある場合は、必ずDU CHAIN A/B端子に接続してください。
 - 上表や注記についてはINTも50DUと同様です。ただし、接続できるINTは、1システムで最大6台です。
 - 上表の組み合わせは代表例です。その他の組み合わせにつきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
 - EXT165を接続する位置は、50CUの1ポートに接続される50CU-EXT165間およびEXT165-EXT165間の50DU台数(下図A、B、C)が、なるべく等しくなるように接続します。
例えば、L1=10m、L2=1.5m、L3=10m、接続台数50台、1ポートデジター接続の場合は、次のように接続してください。



デジチェーン接続 (ATLK-EXT25)



- ご注意**
- ATLK-EXT25のAudio-Technica LINK A端子のジャンパースイッチはOFFにしてください。
 - ATLK-EXT25のAudio-Technica LINK A端子にATUC-50CU側を接続し、Audio-Technica LINK B端子に追加するATUC-50DUを接続してください。
 - EXT25-50DU-…-50DU-50DU-となる時の[EXT25-50DU]の距離はL3になります。

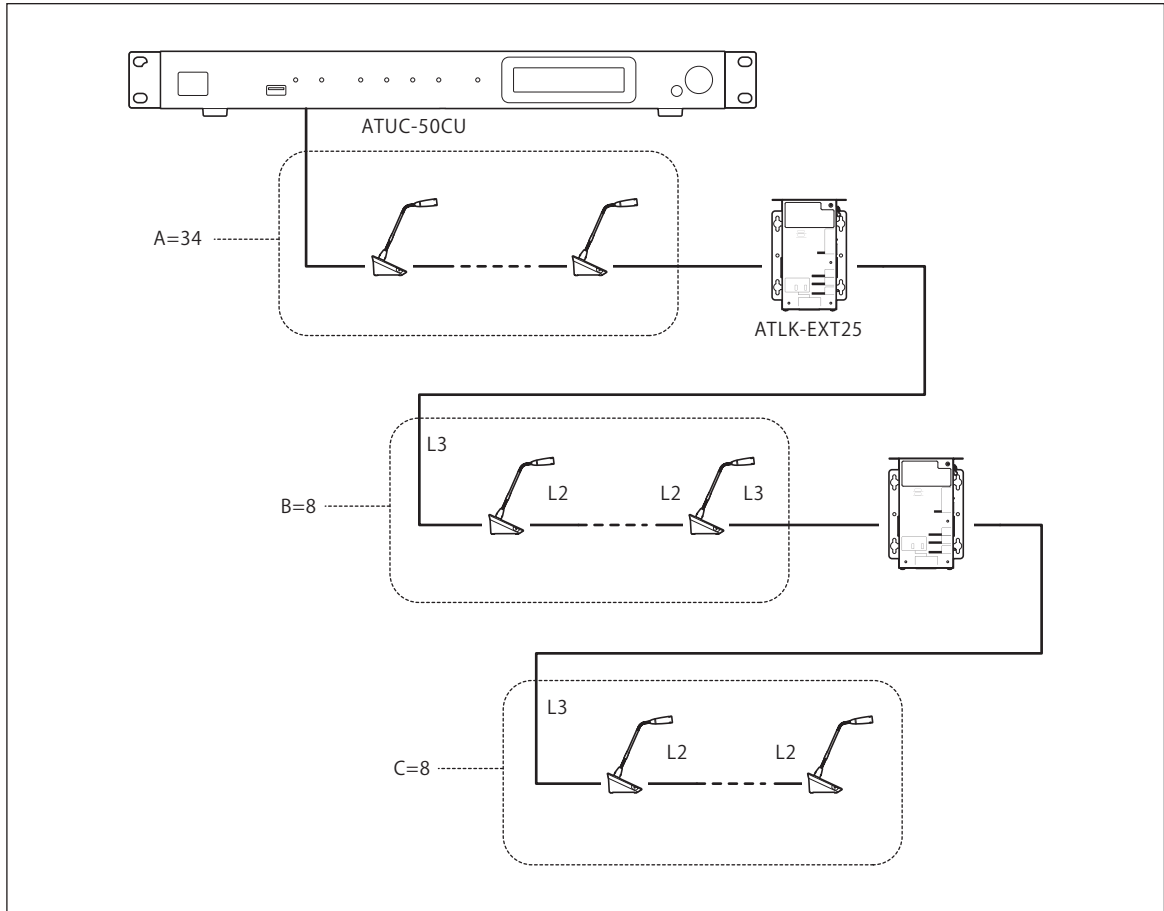
ATLK-EXT25の1台あたりのLANケーブルの長さ、接続台数の関係：デジチェーン接続

電源	ケーブルの長さ		EXT25 1台あたり		
	EXT25-50DU間	50DU-50DU間	50DU 追加台数	IU 追加台数	50DUa+VU 追加台数
	L3	L2			
PoE	10m	1.5m ~ 5.0m	4台	2台	2台
PoE+	10m	1.5m ~ 5.0m	8台	5台	4台
ACアダプター (当社別売)	10m	1.5m ~ 5.0m	12台	8台	7台

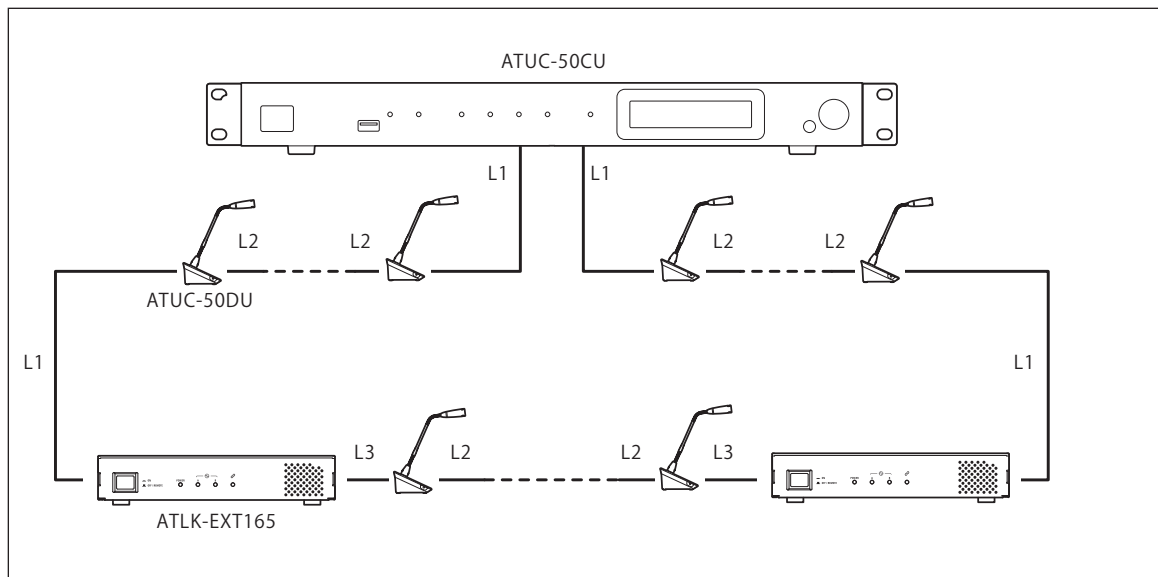
上表は以下の条件で算出されています。

- 50DUの接続可能台数は、スピーカーの出力レベルがデフォルト値でATUC-Mを使用した場合の数値です。
- IUの接続可能台数は、スピーカーの出力レベルがデフォルト値でATUC-M、TALK LED、およびFLOOR LED、8Ωスピーカーユニット、負荷32Ωヘッドホン、GPO端子にLED×4個(各7mA)を使用した場合の数値です。
- Cat5e以上(導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き)のケーブルを使用します。
- 1ポートデジチェーン接続：DU CHAIN A/B端子のうち、どちらか一方に50DU/IUをデジチェーン接続します。
- 2ポートデジチェーン接続：DU CHAIN A/B両端子に同数の50DU/IUをデジチェーン接続します。
- 4ポートデジチェーン接続：DU CHAIN A/B両端子に同数の50DU/IUをデジチェーン接続、およびDU CHAIN C/D両端子に同数のDU/IUをデジチェーン接続します。
- 「50DUa+VU追加台数」はNFCを使用した場合です。

- ご注意**
- 50DU/IUを接続する場合、絶対に接続可能台数と接続距離を超過しないでください。50CUやEXT25の故障の原因となります。
 - CUの設定により、CU LINK端子もDU CHAIN C/D端子としてDU/IUを接続できますが、DU CHAIN A/B端子の接続台数に余裕がある場合は、必ずDU CHAIN A/B端子に接続してください。
 - 上表や注記についてはINTも50DUと同様です。ただし、接続できるINTは、1システムで最大6台です。
 - 上表の組み合わせは代表例です。その他の組み合わせにつきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
 - EXT25-EXT25間の50DU台数(下図B、C)が、なるべく等しくなるように接続します。
例えば、L2=2.0m、L3=10m、接続台数50台、1ポートダイジー接続の場合は、次のように接続してください。



リング接続 (ATLK-EXT165)



- ご注意**
- 50CU-50DU-50DU-…-50DU-EXT165 となる接続の[50DU-EXT165]間の距離はL1になります。
 - EXT165-50DU-…-50DU-50DU-となる時の[EXT165-50DU]の距離はL3になります。

LANケーブルの長さ、接続台数と必要なATLK-EXT165の台数の関係：リング接続

ケーブルの長さ			1リング接続 (50DU使用)		1リング接続 (IU使用)		1リング接続 (50DUa+VU使用)	
50CU-50DU間	50DU-50DU間	EXT165-50DU間	50DU接続台数	EXT165必要台数	IU接続台数	EXT165必要台数	50DUa+VU接続台数	EXT165必要台数
L1	L2	L3						
10m	1.5m	10m	1～45台	0台	1～30台	0台	1～32台	0台
			46～50台	1台	31～50台	2台	33～50台	2台
50m	1.5m	10m	1～36台	0台	1～24台	0台	1～26台	0台
			37～50台	2台	25～50台	2台	27～50台	2台
100m	1.5m	10m	1～24台	0台	1～16台	0台	1～17台	0台
			25～50台	2台	17～48台	2台	18～50台	2台
10m	2.0m	10m	1～43台	0台	1～29台	0台	1～31台	0台
			44～50台	1台	30～50台	2台	32～50台	2台
50m	2.0m	10m	1～34台	0台	1～23台	0台	1～25台	0台
			35～50台	2台	24～50台	2台	26～50台	2台
100m	2.0m	10m	1～24台	0台	1～16台	0台	1～17台	0台
			25～50台	2台	17～48台	2台	18～50台	2台
10m	5.0m	10m	1～33台	0台	1～25台	0台	1～26台	0台
			34～50台	2台	26～50台	2台	27～50台	2台
50m	5.0m	10m	1～27台	0台	1～20台	0台	1～21台	0台
			28～50台	2台	21～50台	2台	22～50台	2台
100m	5.0m	10m	1～20台	0台	1～14台	0台	1～15台	0台
			21～50台	2台	15～45台	2台	16～49台	2台

ケーブルの長さ			2リング接続 (DU使用)			2リング接続 (IU使用)			2リング接続 (50DUa+VU使用)		
50CU-50DU間	50DU-50DU間	EXT165-50DU間	50DU接続台数	最大接続台数	EXT165必要台数	IU接続台数	最大接続台数	EXT165必要台数	50DUa+VU接続台数	最大接続台数	EXT165必要台数
L1	L2	L3									
10m	1.5m	10m	1~25 × 2台	(計50台)	0台	1~16 × 2台	(計32台)	0台	1~18 × 2台	(計36台)	0台
			26~50 × 2台	(計100台)	4台	17~40 × 2台	(計80台)	4台	19~45 × 2台	(計90台)	4台
50m	1.5m	10m	1~23 × 2台	(計46台)	0台	1~15 × 2台	(計30台)	0台	1~16 × 2台	(計32台)	0台
			24~50 × 2台	(計100台)	4台	16~38 × 2台	(計76台)	4台	17~43 × 2台	(計86台)	4台
100m	1.5m	10m	1~20 × 2台	(計40台)	0台	1~13 × 2台	(計26台)	0台	1~14 × 2台	(計28台)	0台
			21~50 × 2台	(計100台)	4台	14~38 × 2台	(計76台)	4台	15~41 × 2台	(計82台)	4台
10m	2.0m	10m	1~25 × 2台	(計50台)	0台	1~16 × 2台	(計32台)	0台	1~18 × 2台	(計36台)	0台
			26~50 × 2台	(計100台)	4台	17~40 × 2台	(計80台)	4台	19~44 × 2台	(計88台)	4台
50m	2.0m	10m	1~23 × 2台	(計46台)	0台	1~15 × 2台	(計30台)	0台	1~16 × 2台	(計32台)	0台
			24~50 × 2台	(計100台)	4台	16~38 × 2台	(計76台)	4台	17~42 × 2台	(計84台)	4台
100m	2.0m	10m	1~20 × 2台	(計40台)	0台	1~12 × 2台	(計24台)	0台	1~14 × 2台	(計28台)	0台
			21~50 × 2台	(計100台)	4台	13~38 × 2台	(計76台)	4台	15~40 × 2台	(計80台)	4台
10m	5.0m	10m	1~24 × 2台	(計48台)	0台	1~16 × 2台	(計32台)	0台	1~17 × 2台	(計34台)	0台
			25~50 × 2台	(計100台)	4台	17~39 × 2台	(計78台)	4台	18~43 × 2台	(計86台)	4台
50m	5.0m	10m	1~22 × 2台	(計44台)	0台	1~14 × 2台	(計28台)	0台	1~15 × 2台	(計30台)	0台
			23~50 × 2台	(計100台)	4台	15~37 × 2台	(計74台)	4台	16~41 × 2台	(計82台)	4台
100m	5.0m	10m	1~19 × 2台	(計38台)	0台	1~12 × 2台	(計24台)	0台	1~13 × 2台	(計26台)	0台
			20~50 × 2台	(計100台)	4台	13~35 × 2台	(計70台)	4台	14~39 × 2台	(計78台)	4台

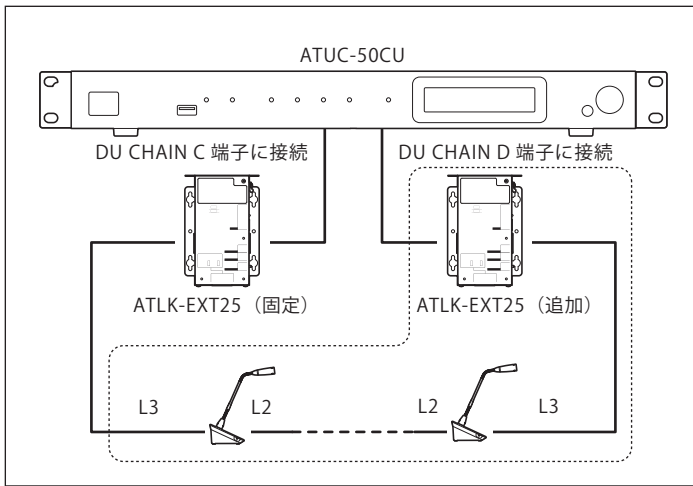
上表は以下の条件で算出されています。

- 50DUの接続可能台数は、ATUC-Mを使用した場合の数値です。
- IUの接続可能台数は、ATUC-M、TALK LED、およびFLOOR LED、8Ωスピーカーユニット、負荷32Ωヘッドホン、GPO端子にLED×4個(各7mA)を使用した場合の数値です。
- Cat5e以上(導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き)のケーブルを使用します。
- 1リング接続：DU CHAIN A/B端子のA-B端子間でリング接続します。
- 2リング接続：DU CHAIN A-B端子間、およびDU CHAIN C-D端子間でリング接続します。
- 「50DUa+VU接続台数」はNFCを使用した場合です。

ご注意 • 50DU/IUを接続する場合、絶対に接続可能台数と接続距離を超過しないでください。50CUやEXT165の故障の原因となります。

- 上表や注記についてはINTも50DUと同様です。ただし、接続できるINTは、1システムで最大6台です。
- 上表の組み合わせは代表例です。その他の組み合わせにつきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。

リング接続 (ATLK-EXT25)



- ご注意**
- ATLK-EXT25のAudio-Technica LINK A端子のジャンパースイッチはONにしてください。
 - リング接続では、DU CHAIN C端子にATLK-EXT25を固定で1台接続し、追加するATLK-EXT25の1台につき、図の点線内に接続可能台数の50DUを追加できます。
 - EXT25-50DU-…-50DU-50DU-となる時の[EXT25-50DU]の距離はL3になります。

ATLK-EXT25の1台あたりのLANケーブルの長さ、接続台数の関係：リング接続

電源	ケーブルの長さ		EXT25 1台あたり		
	EXT25-50DU間	50DU-50DU間	50DU 追加台数	IU 追加台数	50DUa+VU 追加台数
	L3	L2			
PoE	10m	1.5m ~ 5.0m	2台	1台	1台
PoE+	10m	1.5m ~ 5.0m	5台	3台	3台
ACアダプター (当社別売)	10m	1.5m ~ 5.0m	7台	5台	4台

上表は以下の条件で算出されています。

- 50DUの接続可能台数は、スピーカーの出力レベルがデフォルト値でATUC-Mを使用した場合の数値です。
- IUの接続可能台数は、スピーカーの出力レベルがデフォルト値でATUC-M、TALK LED、およびFLOOR LED、8Ωスピーカーユニット、負荷32Ωヘッドホン、GPO端子にLED×4個(各7mA)を使用した場合の数値です。
- Cat5e以上(導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き)のケーブルを使用します。
- 1リング接続：DU CHAIN A/B端子のA-B端子間でリング接続します。
- 2リング接続：DU CHAIN A-B端子間、およびDU CHAIN C-D端子間でリング接続します。
- 「50DUa+VU追加台数」はNFCを使用した場合です。

- ご注意**
- 50DU/IUを接続する場合、絶対に接続可能台数と接続距離を超過しないでください。50CUやEXT25の故障の原因となります。
 - 上表や注記についてはINTも50DUと同様です。ただし、接続できるINTは、1システムで最大6台です。
 - 上表の組み合わせは代表例です。その他の組み合わせにつきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。

CUリンク接続：

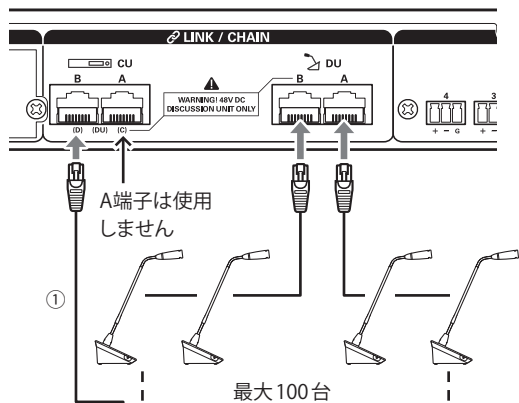
最大で3台の50CUをカスケード接続できます(下図のようにCU LINK A/B端子を使って接続します)。接続した50CUの中から親機を1台設定します。

1台の50CUにつき50DU/INTを最大100台接続できるため、CUを3台使用すると、合計で最大300台の50DU/INTを接続できます。

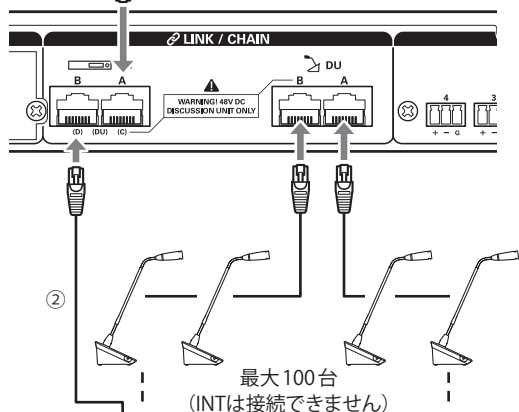
以下の手順にしたがってCUをカスケード接続します。

- ①親機のCU LINK B端子と、1台目の子機のCU LINK A端子を接続する。
- ②子機を2台使用する場合は、1台目の子機のCU LINK B端子と、2台目の子機のCU LINK A端子を接続する。

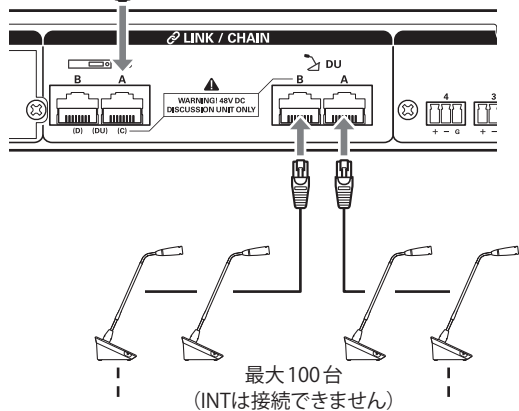
50CU親機



1台目の50CU子機



2台目の50CU子機



親機/子機 (CU Link Mode)：

	親機	1台目の子機	2台目の子機
2台のCU LINK	[親機]	子機(末端)	-
3台のCU LINK	[親機]	子機	子機(末端)

- 各50CUへの50DU/INTの接続方法は、デジチェーン接続(▶35ページ)、リング接続(▶35ページ)のいずれも可能です。

ご注意 •CU LINKを利用せず、50CUをスタンドアロンで使用する場合は、必ず[CUリンク設定]を[親機]に設定してください。

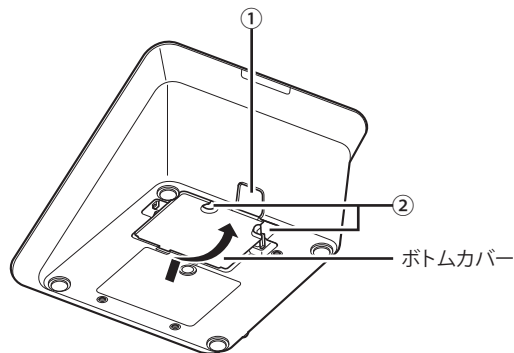
[子機]または[子機(末端)]に設定して使用した場合、動作保証できません。

- INTは最大6台まで親機に接続できます。子機には接続できません。

3 ボトムカバーを装着する。

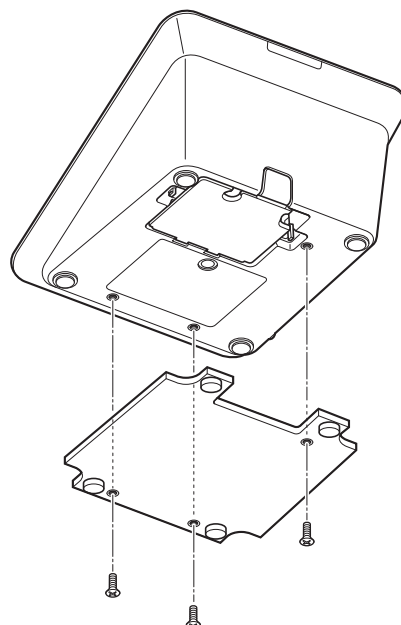
LANケーブルを接続したら、ボトムカバーを装着します。

- ボトムカバーと50DU/INT本体でLANケーブルを挟み込むように固定するため、50DU/INTのLAN端子への負荷が小さくなります。
- LANケーブルを背面に出す場合は①、底面に出す場合は②の穴を使用してください。



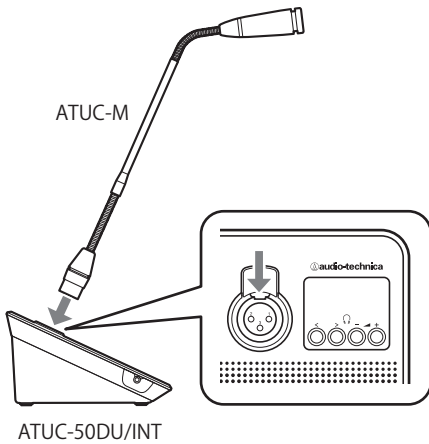
4 50DU/INTにオプションのボトムウェイトを装着する。

- 50DU/INT本体を机やテーブルに固定しない場合は、設置状態を安定させるために、オプションのボトムウェイト(330g)の装着をお勧めします。
- オプション品の購入につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。



3 50DU/INTにマイクロホンATUC-Mを接続する

1 50DU/INTのマイクロホン端子にATUC-Mを接続する。

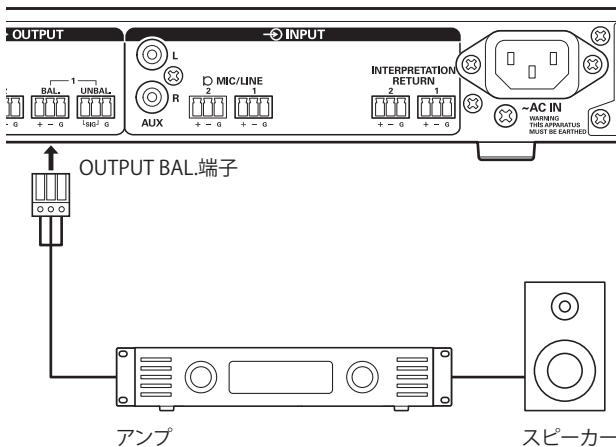


- ご注意**
- カチッという音がするまで差し込んでください。
 - ATUC-M部分を持って50DU/INTを持ち上げないでください。必ず50DU/INT本体を持ってください。
 - ATUC-Mのフレキシブル部分はゆっくり曲げ伸ばしてください。過大な力で曲げないでください。
 - ATUC-Mを取り外すときは、取り外しレバーを押しながらコネクタをしっかりと持って50DU/INTから抜いてください。
 - ATUC-Mの着脱は必ず電源がオフの状態で行ってください。ATUC-Mの故障の原因となります。

4 アンプを接続する

1 OUTPUT BAL.端子にアンプを接続する。

アンプを接続して、音を拡声します。
アンプを経由してスピーカーを接続します。



- ご注意**
- IN/OUT端子に外部機器を接続する際、外部機器のファントム電源を切って接続してください。ファントム電源をつけたままにしていると、予期せぬ故障の原因となります。
 - その他の機器を接続するときは、接続する機器の取扱説明書も参照してください。

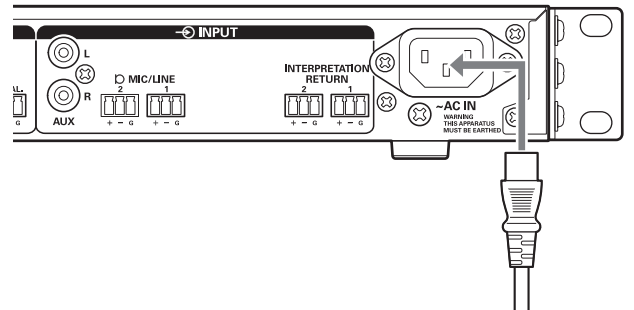
5 50CUの電源を入れて50DUの動作確認を行う

1~4までの接続が正しく行われたことを確認してから、下記の手順に従い、50CUの電源を入れます。

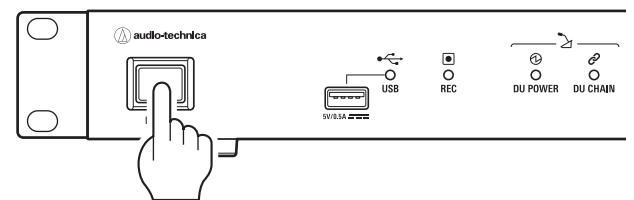
1 アンプやミキサーなどPA機器の電源がオフであることを確認する。

2 付属の電源コードを接続する。


- ご注意**
- 電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用した場合、故障などの原因となり、大変危険です。
 - 電源プラグを保護接地されている適切なコンセントに接続してください。確実に接地しないと、感電の原因になります。
 - 本体から取るアースは1箇所だけにしてください。本体から2箇所以上のアースを取ると、アースのループ現象により、ハムノイズ等が発生する可能性があります。



3 電源ボタンを押す。



- ご注意**
- 50CU子機を接続している場合は、50CU親機と50CU子機の電源が同時に入るようにしてください。電源を入れるタイミングが著しく異なると、CUリンクが確立されない場合があります。

 必要に応じて、50CUの操作でネットワークの設定(30ページ)を行ってください。

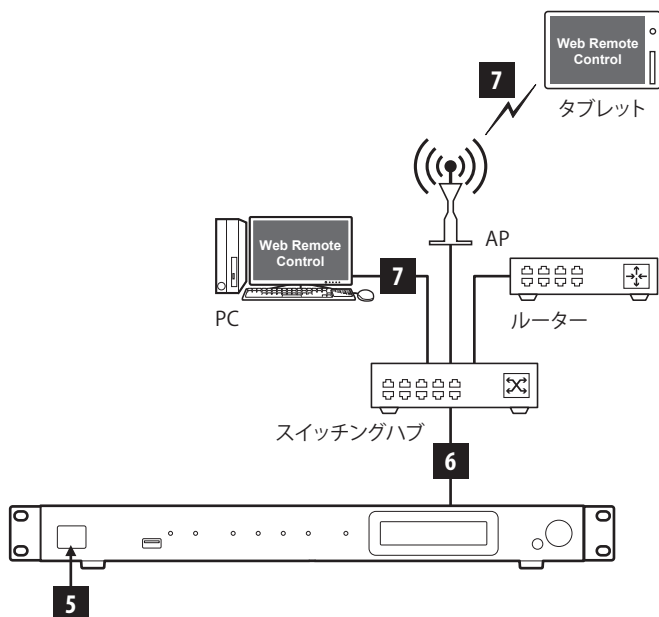
4 50CUが起動したら、各50DUの Ⓢ (トーク)ボタンを押して、接続に問題がないかを確認する。

ご注意 ・50DU同士を近接して設置する場合、50DUのスピーカーの音量を上げすぎるとハウリングをおこす恐れがあります。その際は50DUの間隔をあけるか、音量を下げるなどしてください。

5 50DUの動作確認が終わったら、続いてネットワーク機器の接続を行うため、一旦50CUの電源をオフにする。

ご注意 ・アンプの電源がオンになっている場合は、アンプの電源を先にオフにしてください。

接続全体図(2)

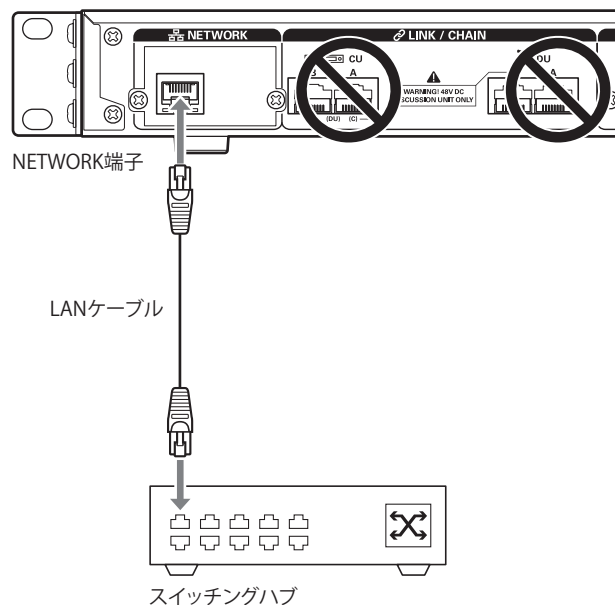


6 ネットワークに接続する

会議システムの詳細設定は、50CUをネットワークに接続してウェブリモートから行います。

1 LANケーブルを使って、スイッチングハブにNETWORK端子経由で50CUを接続する。

ご注意 ・ネットワーク機器に接続したLANケーブルを、誤ってCU LINK端子やDU CHAIN端子に接続しないように注意してください。接続機器が故障する恐れがあります。



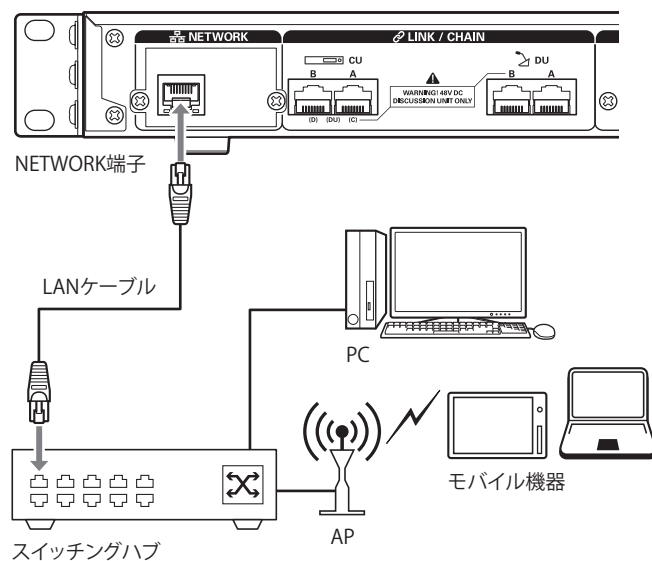
7 PCやモバイル機器をネットワークに接続する

ネットワークの設定について

- DHCP機能のあるネットワークに接続してご使用になる場合は、本機が自動的にIPアドレスなどの設定をおこないます。
- DHCP機能のないネットワークに本機を接続してお使いになる場合は、設定メニュー (Set) → System Setting (p11 ページ) で、IPアドレスなどの設定をおこなってください。
- 手で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

ご注意 ・当社では、お客様のネットワーク環境および接続機器に関する通信エラーや不具合については一切責任を負いません。

• PCのファイアウォール設定は無効にしてください。“Locate”が50CUを認識できなくなります。




Windows PC / Macと50CUをLANケーブルで直接接続するには

50CUをNIC (ネットワークインターフェースカード) 付きのPCに、LANケーブルで直接接続することもできます。

ご注意 ・PCに接続したネットワークケーブルを、誤ってCU LINK端子やDU CHAIN端子に接続しないように注意してください。PCが故障する原因となります。

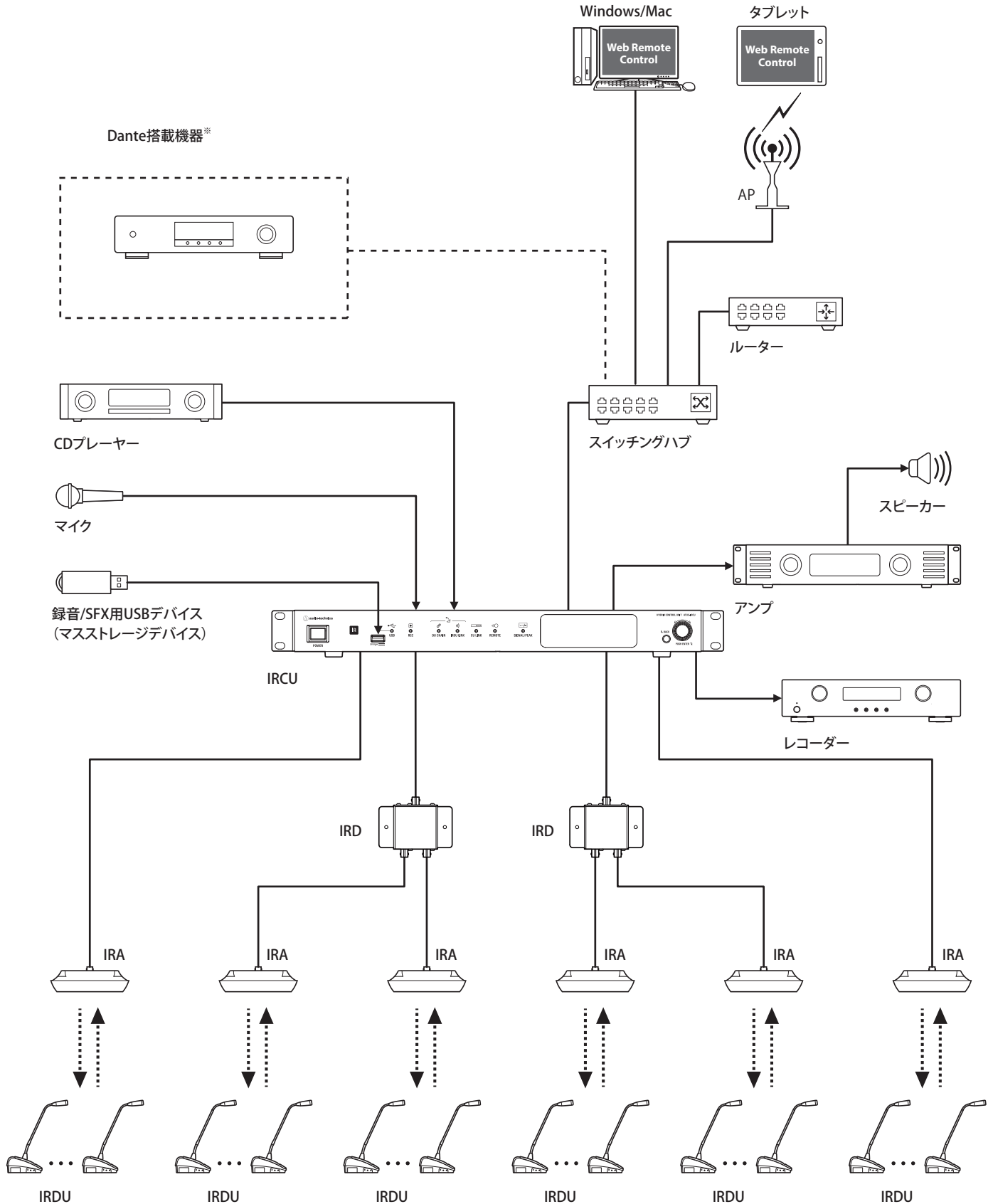
- 1 LANケーブル(ストレート)を使って、50CUの NETWORK端子とPC/MacのLAN端子を接続する。
- 2 Windows PC / Macのネットワーク設定で、「IP アドレスを自動的に取得する」(PC)または「DHCP サーバを使用」(Mac)を選択し適用する。
- 3 50CUを起動して、設定メニュー (Set) の *System Info* → *IP Config Mode* を *Auto* に設定する。
(▶11ページ)
- 4 BACKボタンを押して設定メニューを抜ける。

 ・ネットワーク設定の項目を変更した場合、設定値を有効にするため50CUの再起動が必要となります。

DHCPサーバーがないため、APIPA (Automatic Private IP Addressing) と呼ばれるIPアドレスの自動割り当て機能により、自動的に割り当てられたIPアドレスがWindows PC / Macおよび50CUに設定されます。

ATUC-IRシステム

IRシステム接続例

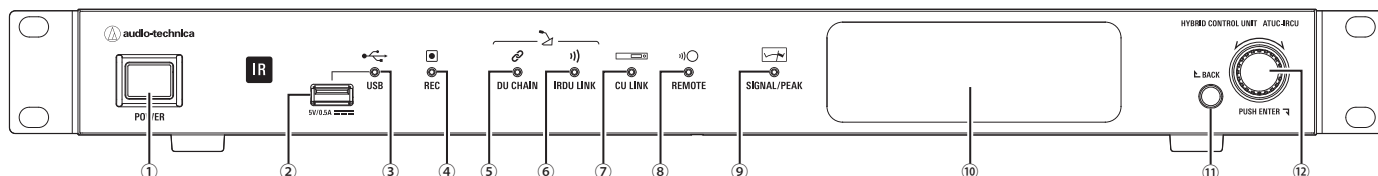


※ATUC-IRCUDANはDante対応機器などに接続可能です。

各部の名称と機能 (ATUC-IRシステム)

ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDAN

フロントパネル



① 電源スイッチ

電源をオン/オフします。

② USB端子

USBメモリーやUSBハードディスク等、USB機器 (マストレージデバイス) を接続して下記の操作が可能です。

- 音声録音
- チャイムやブザー音の再生
- プリセットデータのインポート/エクスポート
- ファームウェアバージョンアップ

ご注意 • ファイルシステムはFAT16/FAT32に対応しています。

- 最大ストレージ容量：2TB
- 最大ファイルサイズ：2GB
- USBハブには対応していません。
- 延長ケーブルは使用しないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したUSB機器 (マストレージデバイス) は使用しないでください。
- USB機器 (マストレージデバイス) 内に、本システムで使用しないファイルやフォルダを保存・作成しないでください。システムの動作に影響を及ぼす場合があります。
- セキュリティー機能など特殊な機能を持ったUSB機器 (マストレージデバイス) には対応していません。

③ USBアクセスインジケータ

USB機器 (マストレージデバイス) の接続状態を示します。

- アクセス時：緑に点灯

ご注意 • インジケータが緑に点灯しているときにUSB機器 (マストレージデバイス) を抜かないでください。データが破損する場合があります。

④ REC (録音) インジケータ

録音状態を示します。

- 録音中：緑に点灯
- 録音一時停止中：緑に点滅
- 録音停止中：消灯

ご注意 • 録音中および録音一時停止中にUSB機器 (マストレージデバイス) を取り外すと、録音したファイルが正しく書き込まれない場合があります。録音中はUSB機器 (マストレージデバイス) を取り外さないでください。

⑤ DU CHAIN (DUチェーン) インジケータ

- 正常時：緑に点灯
- 異常時 (IRDU通信NGなど)：緑に点滅
- DU非接続時：消灯

⑥ IRDU LINK (IRDUリンク) インジケータ

- 正常時：緑に点灯
- 異常時 (IRDU通信NGなど)：緑に点滅
- IRDU非接続時：消灯

⑦ CU LINK (CUリンク) インジケータ

- CUリンク時：緑に点灯
- 異常時 (CU通信NGなど)：緑に点滅
- CU非リンク時：消灯

⑧ REMOTE (リモート制御) インジケータ

- 通信時：緑に点灯
- 異常時 (外部への送信リトライNG時など)：緑に点滅
- 非通信時：消灯

⑨ SIGNAL/PEAK (信号/ピーク) インジケータ

オーディオ信号のレベルが

- 60dBFS以上のとき：緑
- 20dBFS以上のとき：オレンジ
- 2dBFS以上のとき：赤

に点灯します。

赤に点灯しないようにレベル調整して運用してください。

⑩ ディスプレイ

⑪ BACK (戻る) ボタン

1段階前/1階層上へ戻ります。

また、長押しで現在の位置にかかわらず、HOME画面へ戻ります。

⑫ ダイヤル/ENTER (エンター) ボタン

ダイヤルを回して設定項目を選び、ENTERボタンを押して選択を確定します。

また、ダイヤルを回して設定を調整します。

• 操作ボタンをロックする (キーロック機能)

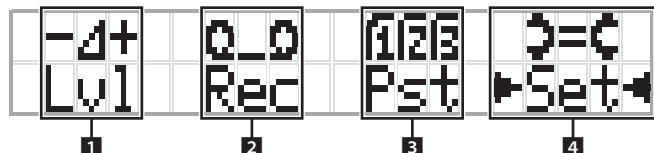
BACKボタンとENTERボタンを一緒に2秒以上押し続けると、電源スイッチ以外のフロントパネルからの操作を受け付けなくなります。

• 操作ボタンのロックを解除する

操作ボタン類がロックされた状態で、BACKボタンとENTERボタンを一緒に2秒以上押し続けると、ロックが解除されます。

ディスプレイ表示とダイヤル操作:

HOME画面

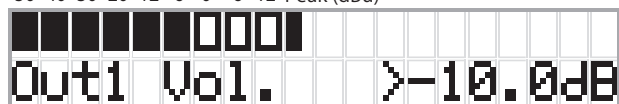


▶ ◀が表示されている項目が選択中の項目です。

ダイヤルを回して実行したい項目に▶ ◀を移動させて、ENTERボタンを押します。

① マスターレベル調整 (Lvl)

マスターレベル
-50 -40 -30 -20 -12 -6 0 6 12 Peak (dBu)



- ダイヤルを回して、IRCUの出力 (OUTPUT 1) レベルを調整します。
- ENTERボタンを押しながらダイヤルを回すと、10ステップ単位でレベルを調整できます。
- Peakのポイントがつかないようにレベルを調整してください。

② 録音操作 (Rec)

R (録音残時間) / E (録音経過時間) 表示

-50 -40 -30 -20 -12 -6 0 6 12 Peak (dBu)



- ダイヤルを回してRec (録音開始) / Pau (一時停止) / Stp (停止) / RまたはE (録音時間表示) を選び、ENTERボタンを押して操作を確定します。
- 画面右上の時刻表示は、時刻表示を選んだ状態でENTERボタンを押すと、R (録音残時間) / E (録音経過時間) を切り替えることができます。
- 画面左上の録音レベルメーターに▶ ◀を移動させるとRec Lvlと表示され、ENTERボタンを押すと、録音レベル調整モードになります。ダイヤルを回して、Peakのポイントがつかないように録音レベルを調整してください。
- ENTERボタンを押しながらダイヤルを回すと、10ステップ単位でレベルを調整できます。

⑬ 会議の準備 (Pst)



- [1] Recall Presets (プリセット呼出し): ダイヤルを回して呼び出したいプリセット番号に">"を移動して、ENTERボタンを押して選択を確定します。
- [2] Conf. Setup (会議設定): 会議設定を変更/確認します。ダイヤルを回して変更/確認したい項目に">"を移動して、ENTERボタンを押して選択を確定します。

Pstメニュー一覧:

ウェブリモートからも各種設定を行えます。()内はウェブリモートの項目名です。

[1] Recall Presets

[2] Conf. Setup

01 Conference Mode (会議モード)

02 NOM (同時発言マイク)

03 Auto Mic Off (オート・マイク・オフ)

04 Override Mode (優先モード)

05 Max Queue (マイク待機台数)

06 MicON Trigger (発言方法/優先マイク発言方法)

07 MicON Hold Time (ホールド・タイム)

08 Interrupt Option (オフ/ミュート設定)



• [2] Conf. Setupから設定を変更できる項目は、会議モードによって異なります。

• 設定項目の詳細については、ウェブリモート編の「メニュー一覧」を参照してください。

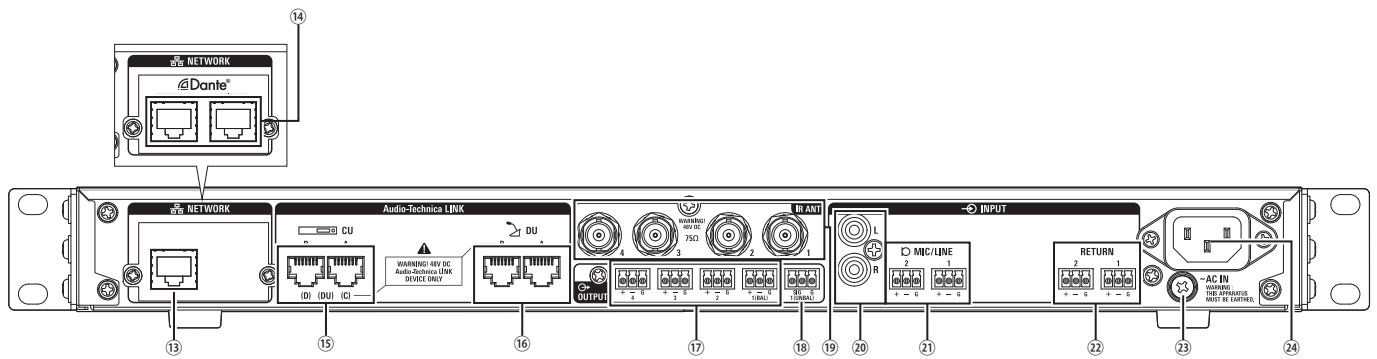
⑭ 設定 (Set)

ダイヤルを回してお好みの項目や設定に">"を移動して、ENTERボタンを押して選択を確定します。

設定項目については、「Setメニュー一覧」(p65 ページ)を参照してください。

リアパネル

* シリアルナンバーはトップカバー上のシートに記載されています。



ご注意 • 接続する外部機器の取扱説明書も参照してください。

- ネットワーク機器に接続されているLANケーブルを、誤ってCU LINK端子やDU CHAIN端子に接続しないようご注意ください。接続機器が故障する恐れがあります。

⑬ NETWORK (ネットワーク) 端子

- RJ-45
- ローカルエリアネットワークに接続し、ウェブリモートやIPリモートなどの外部制御を行う場合に使用します。

⑭ DANTE接続用NETWORK(ネットワーク) 端子 (ATUC-IRCUDAN)

- RJ-45
- DANTEオーディオネットワークへの接続およびウェブリモート・IPコントロールによる外部制御を行う場合に接続します。
- Primary端子、Secondary端子は端子モード設定により下表のようになります。

モード	接続機器	
	Primary	Secondary
Switched (デフォルト)	Danteネットワーク Webremote/外部制御	Danteネットワーク Webremote/外部制御
Redundant	Danteネットワーク (Primary) Webremote/外部制御	Danteネットワーク (Secondary)
Split	Webremote/外部制御	Danteネットワーク

⑮ CU LINK (CUリンク) A/B端子、DU CHAIN (DUチェーン) C/D端子

- RJ-45
- CU同士をカスケード接続します。
- また、設定によりDU/IU/INTを接続することも可能です。

⑯ DU CHAIN (DUチェーン) A/B端子

- RJ-45
- DU/IU/INTを接続します。複数のDU/IU/INTをデジチェーン接続するだけでなく、A/B端子を利用してリング接続も可能です。

⑰ アナログ出力 (バランス) 端子: OUTPUT 1-4 (BAL)

- ユーロブロック
- ピン配置 “+” Hot / “-” Cold / “G” GND

⑱ アナログ出力 (アンバランス) 端子: OUTPUT1 (UNBAL)

- ユーロブロック
- ピン配置 “SIG” Signal (2 系統) / “G” GND

⑲ 赤外線入出力端子: IR ANT

- ATUC-IRAを接続します。
- BNCコネクタ

⑳ アナログ入力 (アンバランス) 端子: INPUT (AUX)

- RCA

㉑ アナログ入力 (バランス) 端子: INPUT (MIC/LINE 1-2)

- ユーロブロック
- ピン配置 “+” Hot (ファントム電源対応) / “-” Cold (ファントム電源対応) / “G” GND
- 設定により、入力タイプ (MIC/LINE) の切り替えができます。

㉒ アナログ入力 (バランス) 端子: INPUT (INTERPRETATION RETURN 1-2)

- ユーロブロック
- ピン配置 “+” Hot / “-” Cold / “G” GND
- 同時通訳システムからの音声信号を入力します。

㉓ アース用ネジ

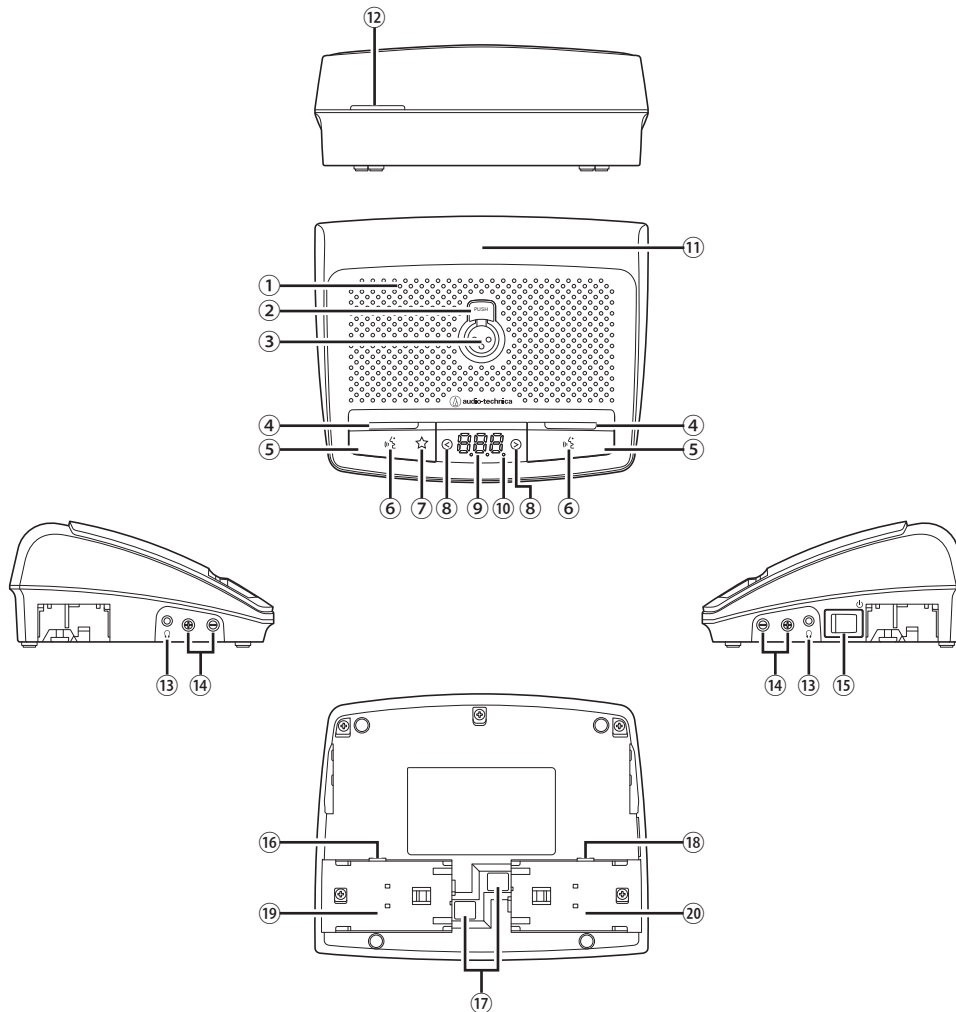
- 付属の電源コードは3芯プラグのため、ACコンセントが接地されていればCUは電源コードから適切にアース接続されます。

㉔ ACインレット (AC IN)

- 付属の電源コードを接続します。

ご注意 • 電源コードは、CU子機やDU/IU/INT/IRDUを含むすべての外部機器の接続が終わってから接続してください。

- 本体から取るアースは1箇所だけにしてください。本体から2箇所以上のアースを取ると、アースのループ現象により、ハムノイズ等が発生する可能性があります。



① 内蔵スピーカー

会議音声を出力します。

② マイクロホン取り外しボタン

③ マイクロホン端子


マイクロホンを接続します。

* ATUC-Mシリーズだけでなく、ES925/XLRや通常の3ピンXLRタイプのマイクロホンも接続可能です。

④ マルチファンクションLED

IRDUの発信状態を示します。

- 発言中：赤に点灯
- 発言要求中：緑に点滅
- 発言要求却下：緑に点滅（早い点滅4回後消灯）
- 発言OFF：消灯
- セルフミュート中：白色で点灯

 • LEDの色は9色から変更可能です。ウェブリモート編を参照してください。

⑤ マルチファンクションボタン

発言または発言要求をします。もう一度押すと、発言を終了または発言要求をキャンセルします。また、プライオリティがオンに設定されたIRDUの場合、ボタンを長押しすることで、その他のIRDUの発言を中止したり、音声をミュートすることができます。

優先権オフ時

2人使用モード	会議モード	発言モード	左ボタン	右ボタン
オフ	フリートーク	オートマチック	Self Mute	Self Mute
		オルタネイト	Self Mute	マイク・オン
		モーメンタリー	—	マイク・オン
	発言要求	オルタネイト	Self Mute	マイク・オン
フルリモート	—	Self Mute	Self Mute	
オン	フリートーク	オルタネイト	マイク・オン (話者1)	マイク・オン (話者2)
		モーメンタリー	マイク・オン (話者1)	マイク・オン (話者2)
	フルリモート	—	Self Mute	Self Mute

優先権オン時

発言モード	左ボタン*	右ボタン
オルタネイト モーメンタリー	オフ/ミュート	マイク・オン
	許可順	マイク・オン
オートマチック	オフ/ミュート	Self Mute
	許可順	Self Mute

*「左ボタン割り当て」設定によります。

⑥ ㊦ (トーク) LED

⑦ カット/ミュートLED

⑧ 「<」/「>」モニターチャンネル選択ボタン

操作すると、ディスプレイに、現在選択されているモニターチャンネルが表示されます。

- FL：フロアーチャンネルの音声
- 01～03：グループ1～3の音声

⑨ ディスプレイ

モニターチャンネルの変更やボリュームの調整をすると設定値が表示されます。

⑩ 電源LED


電源起動中は常に一番右のドットが点灯します。

⑪ 赤外線受発光部

⑫ 背面LED

発言状態や充電電池残量を示します。

- 発言中：点灯
- 発言要求中：点滅
- 発言オフ：消灯（ディマー点灯に変更可能）
- 充電電池残量少：橙色点滅

 • LEDの色は9色から変更可能です。

⑬ ヘッドホン接続端子

選択されたモニターチャンネルの音声が出力されます。

⑭ 「-」/「+」ヘッドホンボリューム調整ボタン

操作すると、ディスプレイに、現在のボリューム値（0～20）が表示されます。

⑮ 電源スイッチ

⑯ ACアダプター接続端子

⑰ 充電電池/充電電池カバー着脱ボタン

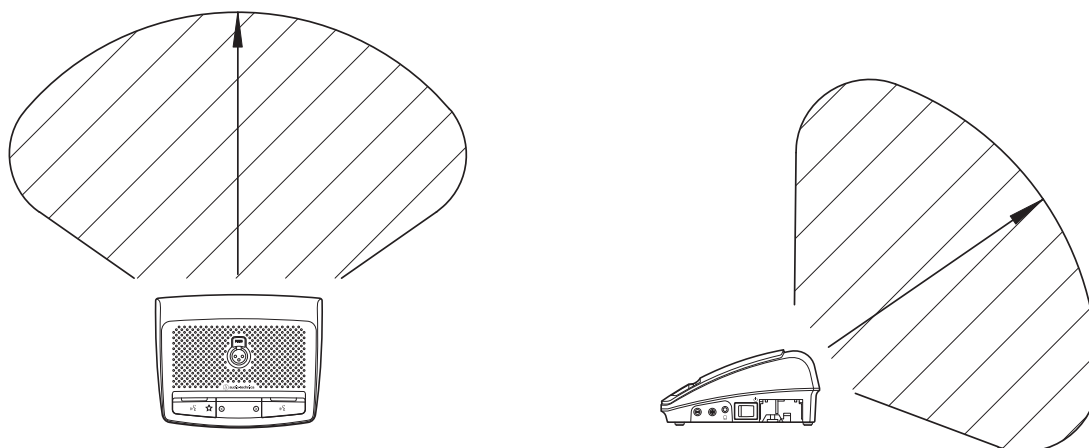
⑱ サービス端子

⑲ バッテリースロット1

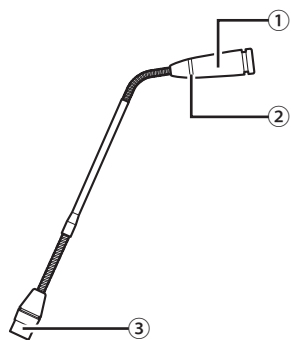
⑳ バッテリースロット2

受光範囲

IRDUの赤外線到達範囲は以下のとおりです。



■ ATUC-M

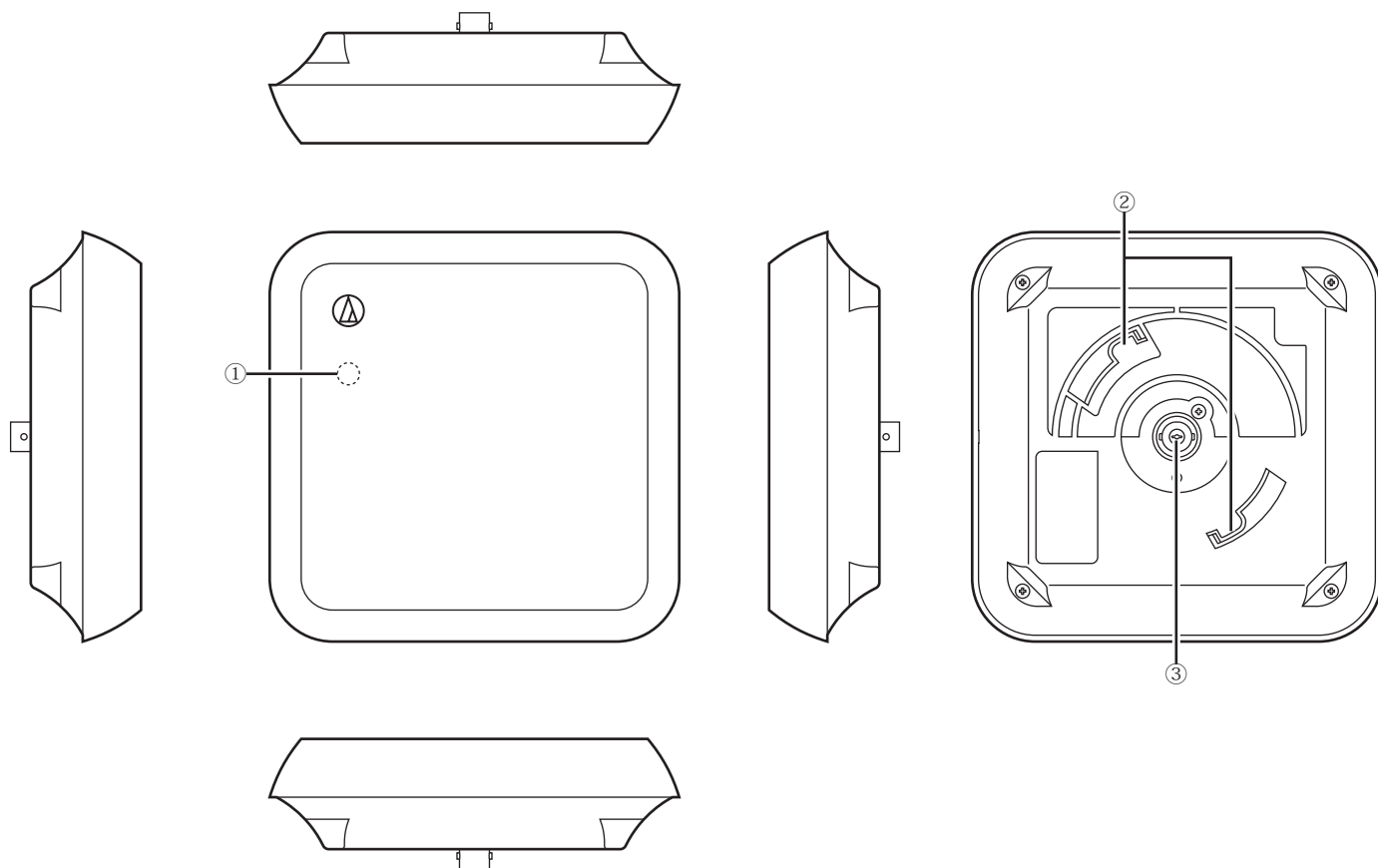


① マイク

② リングLED

マイクがオンになっているときに赤点灯します。
発言待機中は赤点滅します。

③ コネクター



① 電源LED

配線後、IRCUの電源をオンにすると、点灯します。

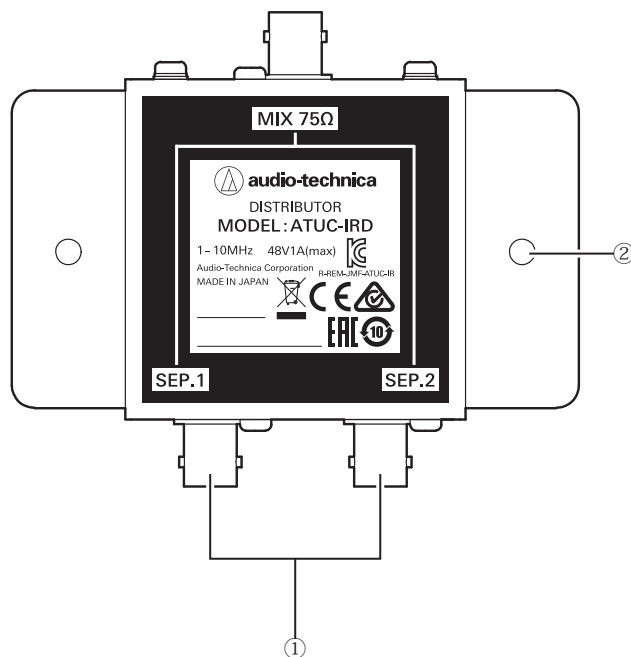
② 取り付け用フック

取り付けブラケット（付属品）に取り付けるとき、使用します。

③ BNCコネクタ

*BNCケーブルは付属していません。

■ ATUC-IRD



① BNCコネクタ

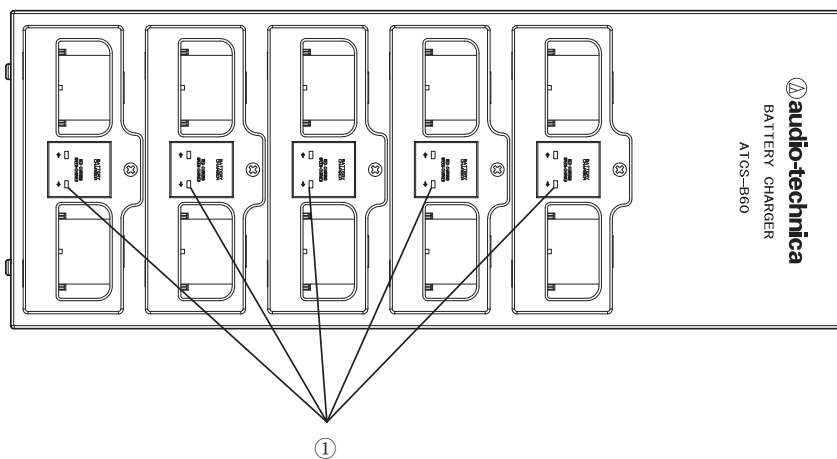
BNCケーブル接続用コネクタです。

② 取付固定穴

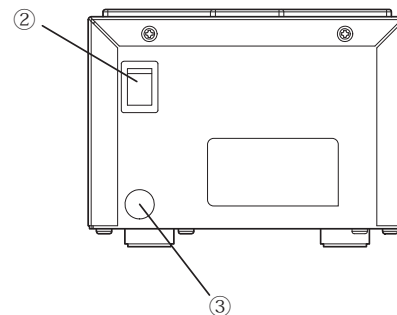
IRD本体取付用穴です。

・BNCケーブルは付属されていません。

<充電器(上面)>



<充電器(側面)>



① 充電状態表示LED

- ・充電中：赤点灯
- ・充電完了：緑点灯
- ・エラー：赤点滅

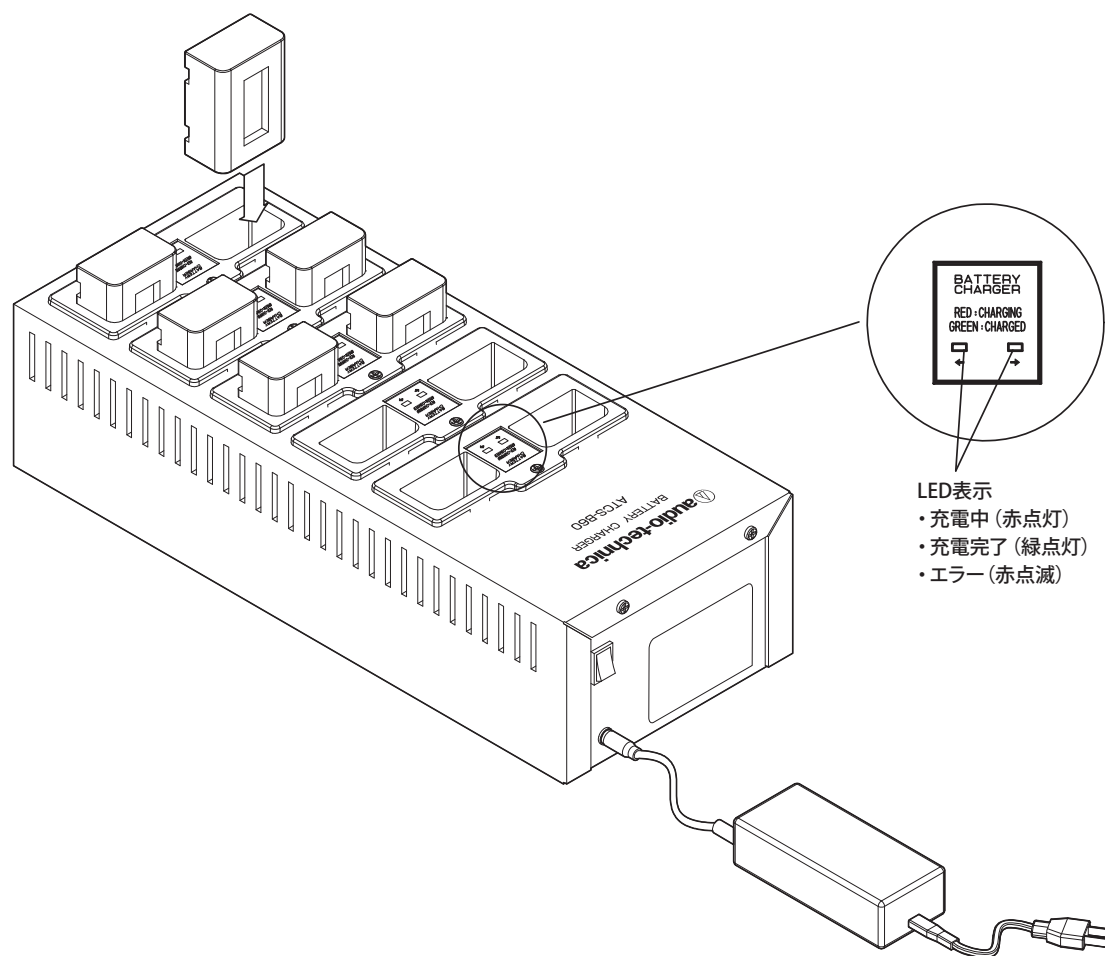
② 電源スイッチ

電源をオン／オフします。

③ ACアダプター端子

ACアダプターからのコネクターを接続します。

充電器を使用する



1 充電電池を充電口に差し込む。

充電電池の向きが逆の場合にはLEDが点灯しません。

2 充電状態表示LEDが赤色に点灯する。

充電エラーが発生した場合、LEDが赤色に点滅しますので、再度差し込んでください。

3 充電状態表示LEDが緑色に点灯すると充電完了です。

・約5.5時間で充電が完了します。充電時間は充電電池の充電残量によって変わります。

ご注意 ・ご使用は10～30℃、保管は0～20℃の室温で行ってください。

・長時間使用しないときは、B60から充電電池を取り外してください。電源を切ったB60に充電電池を長時間放置すると、過放電となり電池寿命が著しく低下、あるいは再充電できなくなる可能性があります。長時間使用しない場合、充電電池は充電せずにそのまま保管し、使用する前に再度充電してください。

・充放電サイクルは約300回です。

Danteを使用する

IRCUDANではDanteネットワークオーディオに対応しております。

ATUC-IRの音声をDante機器へ出力もしくはDante機器からの音声をIRCUに入力することが可能です。

Danteネットワークオーディオについての詳細はaudinateホームページ (www.audinate.com) を参照してください。

IRCUDANのネットワーク接続

ネットワーク端子モード設定

1. OLEDからの設定操作説明

設定メニュー (SET) → System settings → Network Config から Config Mode を設定してください。

2. Webremoteからの設定

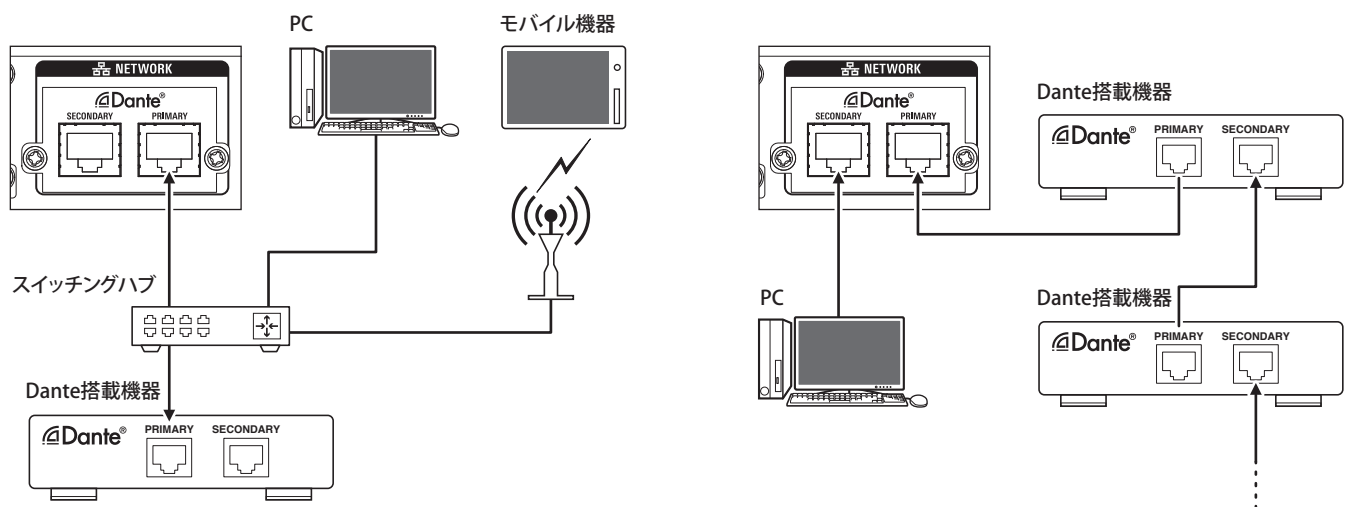
取扱説明書-ウェブリモート編-を参照してください。

• Dante Controller (audinate提供のアプリケーション) からも設定変更可能です。

Dante Controllerについてはaudinateホームページ (www.audinate.com) を参照してください。

各モードにおける接続

Switched (Default設定)



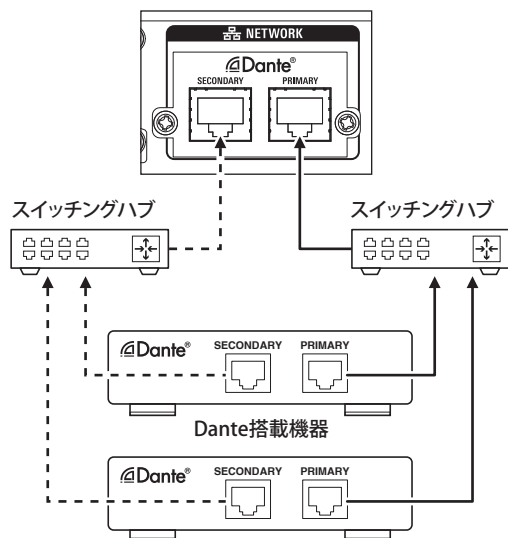
※Danteネットワークに使用するスイッチングハブはギガビット対応のものである必要があります。

使用するスイッチングハブの要求仕様はaudinateのページなどを参照してください。

PrimaryもしくはSecondary端子のどちらか一方にDanteオーディオおよびIRCUの外部制御を接続します。

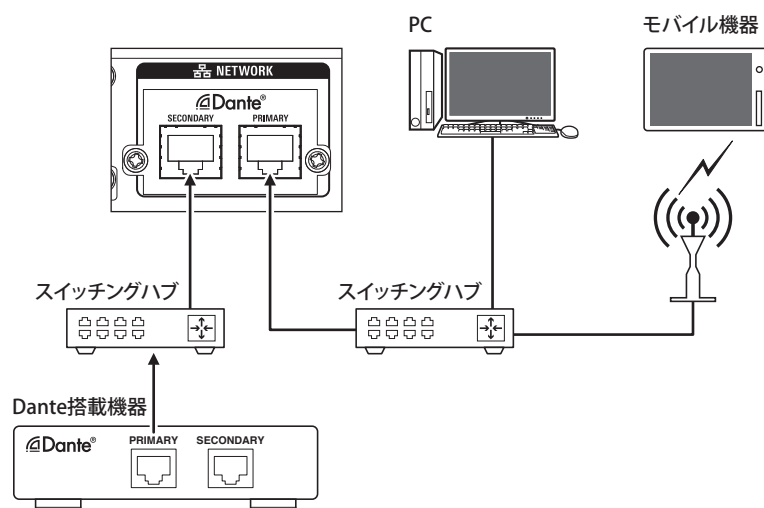
図のようにIRCUのネットワークポートへ直接PC、Dante機器を接続することも可能です。

Redundant Audio



Redundant AudioモードではPrimary とSecondaryでそれぞれ独立したネットワークが必要です。
 何らかの理由でDante Primary側のネットワークで異常が起きた際には自動的にSecondaryネットワークのDanteオーディオに切りかわります。

Split



SplitモードではPrimaryとSecondaryでそれぞれ独立したネットワークが必要です。
 PrimaryはIRCU外部制御端子、SecondaryはDanteオーディオ端子となります。

IRCU Danteチャンネルリスト


No	Dante送信チャンネル	Dante受信チャンネル
1	Active Mic 1	Mic/Line 1
2	Active Mic 2	Mic/Line 2
3	Active Mic 3	Aux L
4	Active Mic 4	Aux R
5	Active Mic 5	Language1-1
6	Active Mic 6	Language1-2
7	Active Mic 7	Language2-1
8	Active Mic 8	Language2-2
9	Active Mic 9	Language3-1
10	Active Mic 10	Language3-2

No	Dante送信チャンネル	Dante受信チャンネル
11	Mic/Line 1	
12	Mic/Line 2	
13	Aux L	
14	Aux R	
15	Retrun 1	
16	Return 2	
17	Output 1	
18	Output 2	
19	Output 3	
20	Output 4	
21	Group 0	
22	Group 1	
23	Group 2	
24	Group 3	
25	Floor	
26	Language 1	
27	Language 2	
28	Language 3	

■ ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDANで設定 を変更する

ディスプレイのHOME画面で「Set」を選択すると、IRCU / IRCUDANの設定が変更できます。変更可能な項目は、下表のとおりです。

より詳細な設定や、DU/IU/INTの個別設定については、ウェブリモートを使用してください。

-  ネットワーク設定の項目を変更した場合、設定値を有効にするためIRCU / IRCUDANの再起動が必要となります。

Setメニュー一覧

[1] System Setting	
01 Device Name	ATUC-IR
02 Link Port Set	CU A/B, DU C/D
03 CU Error Notice	On, Off
04 Network Config	
01 Config Mode	Switched, Redundant Audio, Split
02 Latency	250 μ sec, 500 μ sec, 1msec, 2msec, 5msec,
05 IP Setting	
01 IP Port Set.	
01 IP Config Mode	Auto, Static
02 IP Address	0.0.0.0 - 255.255.255.255
03 Subnet Mask	0.0.0.0 - 255.255.255.255
04 Gateway Address	0.0.0.0 - 255.255.255.255
02 Dante Port Set.	
01 IP Config Mode	Auto, Static
02 IP Address	0.0.0.0 - 255.255.255.255
03 Subnet Mask	0.0.0.0 - 255.255.255.255
04 Gateway Address	0.0.0.0 - 255.255.255.255
06 Allow Discovery	On, Off
07 IP Ctrl Setting	
01 IP Ctrl Port No	00001 - 65535
02 IP Ctrl Ntfy	On, Off
03 Audio Level Ntfy	On, Off
04 M-cast Adrs	0.0.0.0 - 255.255.255.255
05 M-cast Port No	00001 - 65535
08 Auto Mode Change	
01 Auto Mode Change	On, Off
02 Hold Time(Err)	20, 30, 40 seconds
09 NTP Setting	
01 NTP	On, Off
02 NTP Adrs	0.0.0.0 - 255.255.255.255
03 NTP Port	00001 - 65535
04 Time Zone	UTC -12:00 - +14:00
05 DST	On, Off
06 DST Start Date	1/1 - 12/31
07 DST Start Time	0:00 - 23:00
08 DST End Date	1/1 - 12/31
09 DST End Time	0:00 - 23:00
10 Infrared Setting	

01 IRDU No toDetect	0 - 200
02 Limit NOM	On, Off
03 IRDU Band	
01 Band A	Enabled, Disabled
02 Band B	Enabled, Disabled
03 Band C	Enabled, Disabled
04 Band D	Enabled, Disabled
05 Band E	Enabled, Disabled
06 Band F	Enabled, Disabled
07 Band G	Enabled, Disabled
08 Band H	Enabled, Disabled
09 Band I	Enabled, Disabled
10 Band J	Enabled, Disabled
11 Login Password	
01 Admin.Pwd.Login	On, Off
02 Admin.Password	パスワードを表示
03 Opr.Pwd.Login	On, Off
04 Opr.Password	パスワードを表示
12 Reset All Dflt.	
[2] System Info	
現在の設定値を表示	
01 Device Name	
02 Serial Number	
03 ATUC-IR CUFW Ver	
04 ATUC-IR IRFW Ve	
05 IP Config Mode	
06 IP Address	
07 Subnet Mask	
08 Gateway Address	
09 Mac Address	
10 Dante	
01 Device Name	
02 Firmware Ver.	
03 Config Mode	
04 Connect Status-P	
05 IP Mode-P	
06 IP Address-P	
07 Subnet Mask-P	
08 Gateway Adrs-P	
09 Mac Address-P	
10 Connect Status-S	
11 IP Mode-S	
12 IP Address-S	
13 Subnet Mask-S	
14 Gateway Adrs-S	
15 Mac Address-S	
16 Latency	
11 Allow Discovery	
12 IP Ctrl Port No	
13 IP Ctrl Ntfy	
14 Audio Level Ntfy	
15 M-cast Adrs	
16 M-cast Port No	
17 NTP	
18 NTP Adrs	
19 NTP Port	
20 Time Zone	

21 CU Link Status	
22 No.ofExtensionCU	
23 Total No.of IRDU	
24 Total No.of DU	
25 Total No.of IU	
26 Total No.of INT	

[3] Audio Setting

01 MIC/LINE Input 1	
01 Input Type	Mic, Line +4dBu, Line 0dBV, Dante
02 Input Gain	-24dB - +20dB
03 Level	-∞, -120 - +10dB
04 Phantom Power	On, Off
05 Mix to Floor	On, Off
02 MIC/LINE Input 2	
01 Input Type	Mic, Line +4dBu, Line 0dBV, Dante
02 Input Gain	-24dB - +20dB
03 Level	-∞, -120 - +10dB
04 Phantom Power	On, Off
05 Mix to Floor	On, Off
03 AUX Input	
01 Input Type	Analog, Dante
02 Level	-∞, -120 - +10dB
03 Mix to Floor	On, Off
04 DU SP Output Lvl	0 - 20
05 DU Floor Lock	On, Off
06 VoiceDetectSens	-5, -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4, 5
07 Auto to Mic2 In	On, Off

[4] Recorder Setting

01 Rec Format	WAV, MP3
02 RecordingQuality	64, 128, 192, 256, 320kbps
03 No.of Rec CH	1 - 4 (WAV), 1 - 2 (MP3)
04 Rec Source CH1	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix
05 Rec Source CH2	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix
06 Rec Source CH3	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix

07 Rec Source CH4	Floor, Group 0, Group 1, Group 2, Group 3, Language 1, Language 2, Language 3, Remote Lang. 1, Remote Lang. 2, Mic/Line 1, Mic/Line 2, Mic/Line 1&2 Mix
08 Auto Track	Off, 15, 30 min, 1, 2 hour
09 Filename Prefix	ファイル名のプリフィックスを表示

[5] Conference Mode

01 Conference Mode	Free Talk, Request Talk, Full Remote
02 NOM	1 - 10
03 Auto mic Off	5 - 60sec, Off
04 Override Mode	No Override, FIFO, LIFO (Conference Mode (会議モード)による)
05 Max Queue	0 - 150
06 MicON Trigger	All Button Toggle, All Voice, All Push-to-Talk
07 MicON Hold Time	1.0 - 10.0 seconds
08 Interrupt Option	Cut, Mute

[6] Logging

01 Logging	On, Off
02 Destination	Internal, USB

[7] Presets

01 Recall Presets	プリセットの呼び出し
02 Save Presets	プリセットの保存
03 Import Presets	プリセットのインポート
04 Export Presets	プリセットのエクスポート
05 Boot Up Preset	起動時に呼び出すプリセット

■ 文字を入力するには

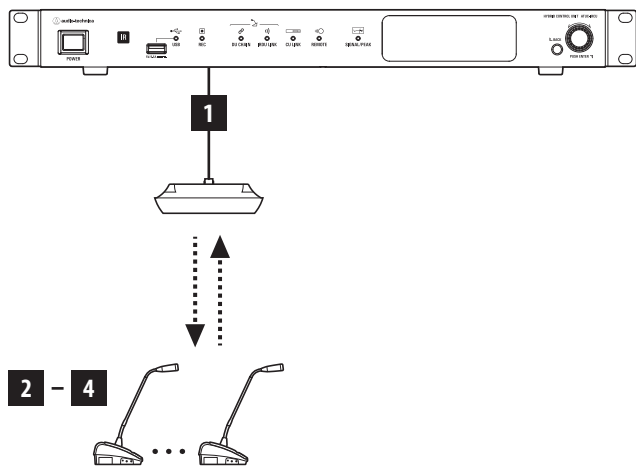
文字の入力は50CUと同じ操作です。「文字を入力するには」を参照してください(※31ページ)

IRシステムの接続と構築

■ 機器を接続する

- ご注意**
- 付属の電源コードは、他のすべての接続が終わってから接続してください。
 - 機器を接続するときは、コネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。コネクタがゆるんでいると、雑音や動作不良の原因となります。
 - 端子の向きをよく確認してください。
 - 機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書も参照してください。

接続全体図

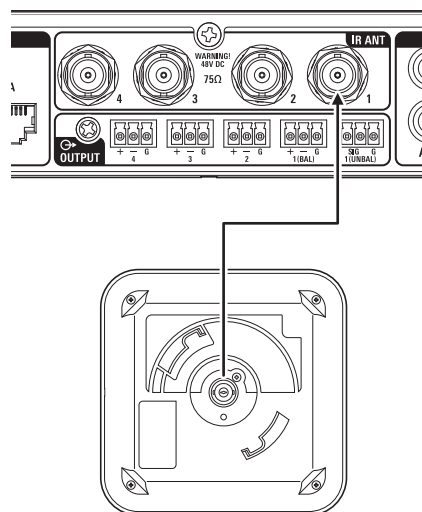


■ 1 IRAとIRCUを接続する

1 IRCUとIRAを設置する。

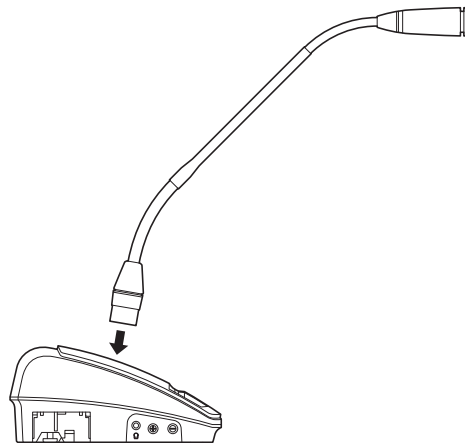
- ご注意**
- IRCUは平らな場所に設置してください。機器が落下して故障や怪我の原因となります。
 - IRCUをラックマウントする場合は、15ページの注意事項を確認のうえ、設置してください。
 - IRAの設置については「取扱説明書-設置編」をご参照ください。

2 IRCUとIRAをBNCケーブルで接続する。



■ 2 IRDUにマイクロホンATUC-Mを接続する

1 IRDUのマイクロホン端子にATUC-Mを接続する。



- ご注意**
- カチッという音がするまで差し込んでください。
 - ATUC-M部分を持ってIRDUを持ち上げないでください。必ずIRDU本体を持ってください。
 - ATUC-Mのフレキシブル部分はゆっくり曲げ伸ばしてください。過大な力で曲げないでください。
 - ATUC-Mを取り外すときは、マイクロホン取り外しボタンを押しながらコネクタをしっかりと持ってIRDUから抜いてください。
 - ATUC-Mの着脱は必ず電源がオフの状態で行ってください。ATUC-Mの故障の原因となります。
 - ATUC-MのリングLEDが点灯状態から消灯しない場合は、IRDUを起動しなおしてください。

3 IRDUを起動する

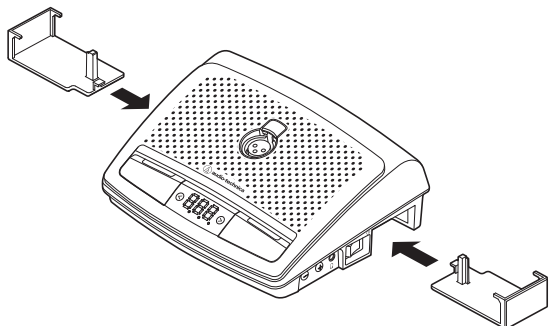
1 充電電池をIRDUに取り付ける。

充電電池をIRDUの下方から差し込みます。そのまま矢印の方向にスライドさせると充電電池が固定されます。カチッと音がして、充電電池が確実に装着されたことをご確認ください。



ACアダプター（別売）を使用する場合：

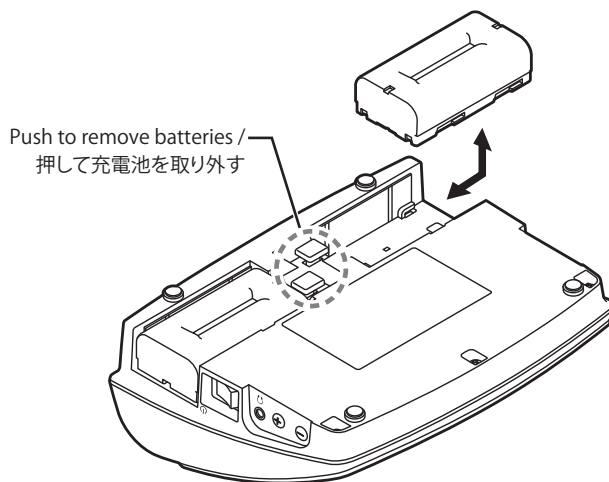
IRDUに充電電池カバーを取り付けてください。



- ご注意**
- ACアダプターのコードはコード引き出し口から引き出してください。
 - 充電電池カバー取り付け時にコードを挟まないでください。断線の原因になります。

充電電池を取り外す場合：

充電電池／充電電池カバー着脱ボタンを押しながら充電電池を矢印の方向にスライドさせて引き抜きます。



- ご注意**
- 充電電池は2つ取り付けることができますが、単独で取り付けても動作します。充電電池を両方取り付けた場合は、バッテリースロット1の充電電池から消費し、充電がなくなるとバッテリースロット2の充電電池に切り替わります。

• IRDUに充電機能はありません。充電する際は、当社専用の充電器(ATCS-B60)を使用してください。

4 IRDUの機器IDを設定する

ご使用前に、各IRDUにそれぞれのID番号を設定する必要があります。

ID番号の設定を行わないと、正しく使用できません。設定方法は、IRCUと接続した順にIDを自動付番する「オート設定」と、IRDU単体の操作でIDを設定する「マニュアル設定」の2種類があります。

- ID番号は記憶されますので、一回のみの設定になります。
- ID番号は001～200までの200通りが使用でき、それ以外の番号は設定できません。（工場出荷時は全て"001"になっています）

オート設定：

- ① 「BACK (戻る) ボタン」を押しながらIRCUの電源をオンして、機器ID設定モードに入る。
- ② OLEDに "audio-technica ATUC-IR" という表示が出たら「BACK (戻る) ボタン」を離す。
- ③ OLEDの表示が "ATUC-IRDU Device ID Auto Assign Mode..." に切り替わったらIRDUを1台ずつ順番に「<」/「>」モニターチャンネル選定ボタンを同時に押しながら電源をオンする。
- ④ 電源をオンにした順に自動的にIDが付与されるので、IDを確認したらマルチファンクションボタン右を押してIDを決定する。「マニュアル設定」と同じ操作で、任意のIDに設定することも可能です。
- ⑤ すべてのIDが決定したらIRCUを再起動する。

- ご注意** ・赤外線通信不良などによってIDが付与されなかったDUは電源を切り、もう一度、「<」/「>」モニターチャンネル選定ボタンを同時に押しながら電源をオンして「オート設定」を行うか、「マニュアル設定」でIDを決定してください。

マニュアル設定：

- ① 「<」/「>」モニターチャンネル選定ボタンを同時に押しながら電源スイッチを押す。
- ② ディスプレイを見ながら入力したいID番号を入力する。
〈例 ID番号を”152”に設定する場合〉
 - 1 「<」/「>」モニターチャンネル選定ボタンを同時に押しながら電源スイッチを押します。
 - 2 「<」/「>」ボタンを押して、1桁目の2をディスプレイに表示させます。
 - 3 マルチファンクションボタン左を押して2桁目に設定します。
 - 4 「<」/「>」ボタンを押して、2桁目の5をディスプレイに表示させます。
 - 5 マルチファンクションボタン左を押して3桁目に設定します。
 - 6 「<」/「>」ボタンを押して、3桁目の1をディスプレイに表示させます。
 - 7 マルチファンクションボタン右を押して決定します。
(7の操作以降は通常モードで使用できます。)

以降の手順はATUC-50システムと基本的に同じです。「有線システムの接続と構築」の「**4** アンプを接続する」(p48ページ)以降を参照してください。

5 IRDUを使用可能状態にする

使用する全てのIRDUの電源をオンにしてからIRCUCを起動した場合：
IRCUCの起動処理が完了し、使用可能状態になるとIRDUに接続したATUC-MのリングLEDの点滅が終了します。また、発言モードがオルタネイトもしくはモーメンタリーの場合は、マルチファンクションボタン右のトークLEDが点灯します。

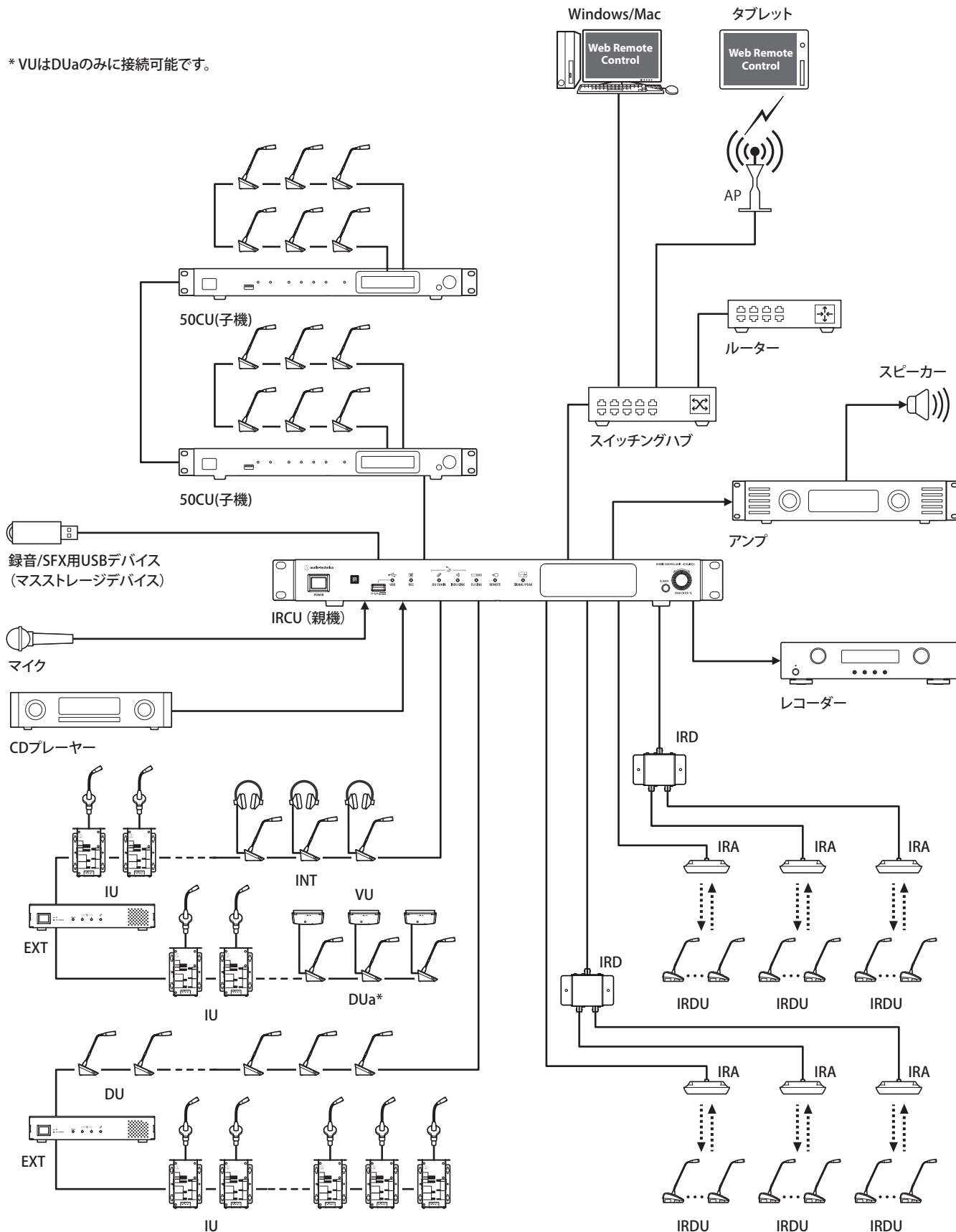
IRCUCの起動後にIRDUの電源をオンにした場合：
IRDUの起動処理が終了するとATUC-MのリングLEDが点滅します。マルチファンクションボタン右を押すとリングLEDが消灯し、IRDUが使用可能になります。発言モードがオートマチックの場合は、トークLEDは点灯しません。

ATUC-50/IRハイブリッドシステム

ATUC-50の有線会議システムとATUC-IRの赤外線会議システムを組み合わせ、ハイブリッド会議システムとして運用することができます。ハイブリッド会議システムとして運用する際は、本書の有線会議システムと赤外線会議システムの項目をそれぞれ参照して運用してください。

ハイブリッドシステム接続例

* VUIはDUaのみに接続可能です。



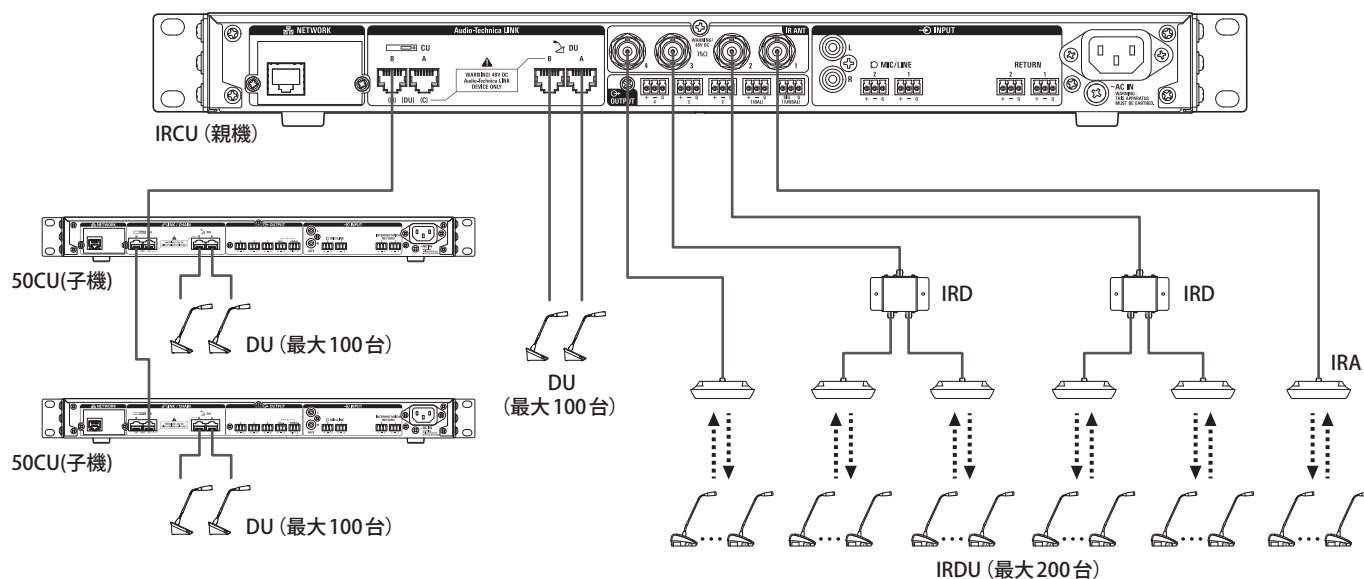
ハイブリッドシステムの接続と構築

有線システムとIRシステムの接続と構築について

ハイブリッド会議システムとして運用する際の接続と構築については、本書の有線会議システムと赤外線会議システムの項目をそれぞれ参照してください。

「有線システムの接続と構築」(p34 ページ)

「IRシステムの接続と構築」(p67 ページ)



スタンドアロン時の各ポート/各CUの最大端末接続数

	DU CHAIN端子の最大接続数					IRの最大接続数	システムの合計
	A	B	C	D	合計		
デジチェーン接続	50	50	50	50	100	200	300
リング接続	50		50		100		300

- DU CHAIN各端子に接続された端末の最大接続数は、EXTを使用することで100台まで可能となります。
- IUは50DUよりも消費電力が大きいため、適切な台数のEXTを使用しないと、表で示した台数を接続できません。適切な台数のEXTを使用しないで接続すると、CUやEXTの故障の原因となります。
IUの接続可能台数については、「LANケーブルの長さ、接続台数と必要なEXTの台数の関係」の表(p37、44 ページ)を参考にしてください。

CU Link 3 台時の各ポート/各CUの最大端末接続数

	IRCU親機				50CU子機最大2台				システムの合計
	DU CHAIN端子の最大接続数			IRの最大接続数	DU CHAIN端子の最大接続数			50CU x 2 合計	
	A	B	合計		A	B	合計		
デジチェーン接続	50	50	100	200	50	50	100	200	500
リング接続	50		50		50	50	100	100	350

ご注意 • INTは親機に最大6台まで接続可能です。

CUリンク接続について：

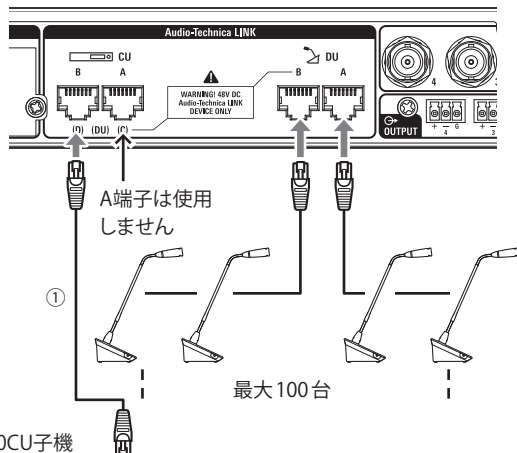
IRCU / IRCUDANを親機として、2台までの50CUを子機としてカスケード接続できます（下図のようにCU LINK A/B端子を使って接続します）。

1台のCUにつき50DU/INTを最大100台接続できるため、CUを3台使用すると、合計で最大300台の50DU/INTを接続できます。

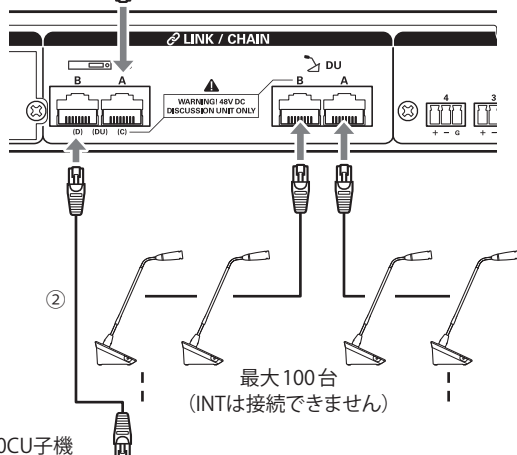
以下の手順にしたがってCUをカスケード接続します。

- ①親機のCU LINK B端子と、1台目の子機のCU LINK A端子を接続する。
- ②子機を2台使用する場合は、1台目の子機のCU LINK B端子と、2台目の子機のCU LINK A端子を接続する。

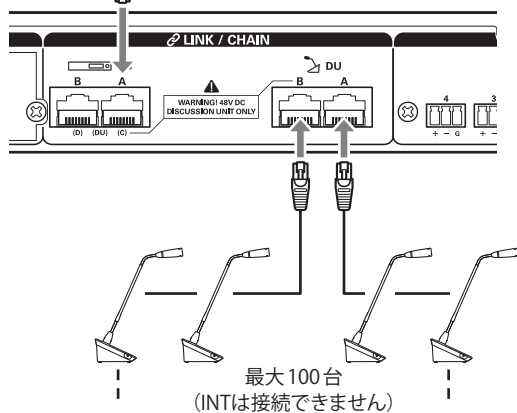
IRCU / IRCUDAN親機



1台目の50CU子機




2台目の50CU子機



親機/子機 (CU Link Mode)：

	1台目の子機	2台目の子機
2台のCU LINK	子機(末端)	-
3台のCU LINK	子機	子機(末端)

ご注意 ・親機となるIRCU / IRCUDANでの設定は必要ありません。

 ・各CUへの50DU/INTの接続方法は、デジチェーン接続 (P35 ページ)、リング接続 (P35 ページ) のいずれも可能です。

ご注意 ・INTは最大6台まで親機に接続できます。子機には接続できません。

・CUリンク接続している場合、Boot Up Preset機能 (P66 ページ) は、正しく動作しないため、使用しないでください。

困ったときは

■ 故障かな?と思ったら

問題が発生したときは、まず下記を確認してください。

1. 接続は正しいですか。
2. 取扱説明書に記載されているとおりにシステムを運用していますか。
3. 外部機器は正しく動作していますか。CUに接続しない状態で動作確認をしてください。
4. ネットワーク機器を再起動してください。

システム上のいずれかの機器が正しく動作しない場合は、下記の表を確認してください。

この表に該当する項目がない場合は、当社営業窓口までお問い合わせください。

お問い合わせの際にファームウェアのバージョンが必要な場合があります。あらかじめファームウェアのバージョンを以下から確認してください。

ウェブリモートで確認する場合：

[設定 & 保守] → [システム設定] → [ユーティリティ]

もしくは

[設定 & 保守] → [システム情報]

CU画面で確認する場合：

Set → Administrator または Operator でログイン → System Info

ATUC-50CU/ATUC-IRCU/ATUC-IRCUDAN

症状	原因／対策	参照ページ
電源が入らない。	電源コードの接続を確認してください。	48 ページ
接続したマイクが機能しない。	マイクの接続を確認してください。	12 ページ
	MIC/LINE 1/2 の設定を確認し、調整してください。	11 ページ
	ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [CUオーディオ] → [入力設定] CU画面で確認する場合： Set → Administrator または Operator でログイン → Audio Setting	
接続したスピーカーから音が出ない。 音がひずむ。	すべての機器の接続を確認してください。	12 ページ
	接続ケーブルをしっかりと奥まで差し込んでください。	-
	端子の入力／出力を間違えて接続していないか確認してください。	12 ページ
	端子のピンサイン (Hot/Cold/GND等) を間違えていないか確認してください。	12 ページ
	ケーブルが破損していないか確認してください。	-
	接続したアンプの設定を確認し、調整してください。	-
録音ができない。	USB機器 (マストレージデバイス) の残容量を確認してください。	-
	USB機器 (マストレージデバイス) を装着し直すか、別のUSB機器 (マストレージデバイス) に交換してください。	-

症状	原因／対策	参照ページ
録音動作はしているのに、録音ファイルがPCなどで再生すると音が出ない。	[録音ソース] で設定されている録音対象のチャンネルが正しいか確認してください。 ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [録音] → [レコーダー設定] CU画面で確認する場合： Set → Administrator または Operator でログイン → Recorder Setting	11 ページ
パスワードを忘れてしまった。	以下の手順でパスワードを強制解除してください。 ① CUのHOME画面を表示させ、BACK (戻る) ボタンを押したまま、ダイヤルを右に3クリック分まわす。 ② BACK (戻る) ボタンを押したまま、ダイヤルを左に3クリック分まわす。 ③ BACK (戻る) ボタンを押したまま、ENTER (エンター) ボタンを押す。	10 ページ

ATUC-IRCUDAN

症状	原因／対策	参照ページ
Dante Controllerから認識できない。	LANケーブルの接続を確認してください。	62 ページ
	DANTEネットワーク設定を確認してください。 ウェブリモートから確認する場合： [設定 & 保守] → [システム設定] → [Network / Dante]	65 ページ
Danteオーディオが入力されない。	Dante Controllerでのオーディオルーティングが正しいか確認してください。	-
	ウェブリモートでの入力オーディオ設定が正しいか確認してください。 [設定 & 保守] → [インストール設定] → [CUオーディオ] 画面にて入力設定のタイプに"DANTE"を選択する必要があります。	66 ページ
Danteオーディオが出力されない。	Dante Controllerでのオーディオルーティングが正しいか確認してください。	-

ATUC-50DU/DUa/INT

症状	原因／対策	参照ページ
電源が入らない。	CUや他のDU/INTとの接続を確認してください。	34, 35 ページ
Ⓜ(トーク) ボタンが機能しない。	会議モードや設定によっては Ⓜ(トーク) ボタンが機能しません。会議モードの設定を確認してください。 ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [会議] → [会議モード] CU画面で確認する場合： Set → Administrator または Operator でログイン → Conference mode	11 ページ
	通訳者ユニットの設定により、トークボタンを押して発話しても、正しく音声が出力されない場合があります。通訳者ユニットの設定を確認してください。 ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [同時通訳] → [同時通訳設定] → [同時通訳モード] および [設定 & 保守] → [インストール設定] → [同時通訳] → [通訳者ユニット個別設定] → [通訳言語]	-

症状	原因／対策	参照ページ
ヘッドホン接続端子から音が出ない。	ヘッドホンプラグをしっかりと奥まで差し込んでください。	-
	DU/INTの「+」ボタンで音量を上げてください。	13, 14 ページ
	DU/INTの「モニターチャンネル選択」ボタンで、目的のチャンネルの音声をモニターできているか確認してください。	13, 14 ページ
内蔵スピーカーから音が出ない。	DUの接続を確認してください。	35 ページ
	LANケーブルをしっかりと奥まで差し込んでください。	-
	ケーブルが破損していないか確認してください。	-
	[設定 & 保守] → [インストール設定] → [DU/IU] → [DU/IU詳細設定] から、[スピーカー] の設定が [オン] になっていることを確認してください。	-
	スピーカーレベルを調整してください。 ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [DU/IU] → [DU/IU共通設定] の [スピーカー・レベル] CU画面で確認する場合： <i>Set</i> → <i>Administrator</i> または <i>Operator</i> でログイン → <i>Audio Setting</i> の <i>DU SP output lvl</i>	11 ページ
INTの内蔵スピーカーからは音声が出されません。	-	
ATUC-Mが機能しない。	DU/INTのマイクロホン端子にATUC-Mのコネクターをカチッと音がするまで差し込んでください。	48 ページ
	DUの場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [DU/IU] → [DU/IU詳細設定] から、[マイク] の設定を確認してください。 INTの場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [同時通訳] → [通訳者ユニット設定] → [通訳者ユニット詳細設定] から、[マイク] の設定を確認してください。 • [ファントム電源] が [オフ] になっていないか確認してください。 • [入力ゲイン] が低すぎないか確認してください。	-
プリセットを読み込んだら、前回と設定が変わってしまった。	プリセットファイルが正しいか確認してください。	-
	DU/INTの台数やトポロジー等、前回から変更されていないか確認してください。	-

ATUC-50IU

症状	原因／対策	参照ページ
電源が入らない。	CUや他のDU/INTとの接続を確認してください。	34, 35 ページ

ATLK-EXT165

症状	原因／対策	参照ページ
電源が入らない。	電源コードの接続を確認してください。	48 ページ

ATLK-EXT25

症状	原因／対策	参照ページ
電源が入らない。	ACアダプター(当社別売)の接続を確認してください。	25 ページ
	PoE/PoE+ IN端子の接続を確認してください。	
	接続したDUの台数が最大接続台数を超えていないか確認してください。	34 ページ
接続したDUが機能しない。	接続したDUの接続方法を確認してください。	25 ページ
	Audio-Technica LINK A端子に接続している場合は、ジャンパースイッチのピンの設定を確認してください。	26 ページ
	モードスイッチの設定を確認してください。	27 ページ

ATUC-IRDU

症状	原因／対策	参照ページ
電源が入らない。	充電電池の取り付けを確認してください。	68 ページ
	充電電池の充電残量を確認してください。	61 ページ
初期化動作が終わらない(LED点滅が継続する)。	IRDUおよびIRAの設置場所の確認をしてください。	-
	システム起動時IRDU検出台数が制限されている場合があります。赤外線設定を確認してください。 [設定 & 保守] → [システム設定] → [赤外線] この場合、IRDUの任意のボタンを操作することで接続が可能になります。	65 ページ
☞(トーク) ボタンが機能しない。	会議モードや設定によっては、☞(トーク) ボタンが機能しません。会議モードの設定を確認してください。 ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [会議] → [会議モード] CU画面で確認する場合： Set → Administrator または Operator でログイン → Conference mode	11 ページ
接続したマイクから音が出ない、音が歪む。	IRDUおよびIRAの設置場所を確認してください。	-
	機器IDの設定を確認してください。	68 ページ
	赤外線の干渉が起きている可能性があります。使用する赤外線周波数の設定で問題が解消する場合があります。 [設定 & 保守] → [システム設定] → [赤外線] → [IRDUチャンネル]	65 ページ
ヘッドホン接続端子から音が出ない。	ヘッドホンプラグをしっかりと奥まで差し込んでください。	56 ページ
	IRDUの「+」ボタンで音量を上げてください。	56 ページ
	「モニターチャンネル選択」ボタンで、目的のチャンネルの音声をモニターできているか確認してください。	56 ページ
内蔵スピーカーから音が出ない。	[設定 & 保守] → [インストール設定] → [DU/IU] → [DU/IU詳細設定] から、[スピーカー] の設定が [オン] になっていることを確認してください。	35 ページ
	スピーカーレベルを調整してください。 ウェブリモートで確認する場合： [設定 & 保守] → [インストール設定] → [DU/IU] → [DU/IU共通設定] の [スピーカー・レベル] CU画面で確認する場合： Set → Administrator または Operator でログイン → Audio Setting の DU SP output lvl	11 ページ

ATUC-IRA

症状	原因／対策	参照ページ
ATUC-IRAの電源が入らない。	ケーブルの接続を確認してください。	67 ページ
	ケーブルが破損していないか確認してください。	

■ エラーメッセージ一覧

- ウェブリモートおよびCUディスプレイに表示されるエラーメッセージは以下のとおりです。
- CUのLEDインジケーターによる異常時表示もCUディスプレイの欄に併記しています。
- 「対処方法」にしたがって確認しても、繰り返し同じエラーが発生する場合、または部品の交換、製品の修理が必要な場合は、当社営業窓口までお問い合わせください。

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケーター)	内容／対処方法
1	Resume Data Error	Resume Data Err	レジュームデータの読み込みに失敗しました。 • 前々回の設定、もしくはデフォルト設定で起動しました。機能的な制限はありませんが、再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
2	Preset Data Error	Pst Data Err	プリセットデータの読み込みに失敗しました。 • プリセットデータは、前回読み込みに成功したプリセット、もしくはデフォルト時のプリセットとなります。機能的な制限はありませんが、再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
3	DU電源エラー	DU Power Err (DU CHAIN：緑に点滅)	DU電源供給に異常が発生しました。 • 48V出力系統で電圧降下しているおそれがあります。 ① DUの接続をすべて解除してから、CUを再起動して同じエラーが発生する場合は、CUの修理が必要となります。 ② ①でエラーが発生せず、DUを再接続後、CUを再起動して同じエラーが発生する場合は、ケーブル不良またはDUの不良の可能性がります。問題のあるケーブルまたはDUを特定して、交換・修理してください。
4	DU接続エラー	DU Comm Err (DU CHAIN：緑に点滅)	DUの個別設定ができません。 • DUの接続に問題がないか確認してください。
5	DU接続 リングからデジジー・チェーン	DU Ring to Daisy (DU CHAIN：緑に点滅)	DUのトポロジーが変更されました(リングからデジジー)。 • DUの接続変更を行わずにこのエラーが発生した場合は、DUの接続に問題がないか確認してください。
6	DU接続 デジジー・チェーンからリング	DU Daisy to Ring (DU CHAIN：緑に点滅)	DUのトポロジーが変更されました(デジジーからリング)。 • DUの接続変更を行わずにこのエラーが発生した場合は、DUの接続に問題がないか確認してください。
7	DU接続台数が減りました	DU Number Decrease (DU CHAIN：緑に点滅)	DUの接続台数が減少しました。 • DUの接続変更を行わずにこのエラーが発生した場合は、DUの接続に問題がないか確認してください。
8	DU接続台数が100台を超過しています	DU Exceeds 100pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN A/B/C/D端子に接続されている台数の合計が100台を超過しています。 • 台数の合計が100台以下となるよう接続を変更してください。
9	INT接続台数が6台を超過しています	INT Exceeds 6pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN A/B/C/D端子に接続されているINTの台数の合計が6台を超過しています。 • 台数の合計が6台以下となるよう接続を変更してください。
10	A/BポートのDU接続台数が50台を超過しています	DU A/B Exceeds 50pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN A/B端子に接続されている台数が50台を超過しています。 • それぞれ台数が50台以下となるよう接続を変更してください。
11	C/DポートのDU接続台数が50台を超過しています	DU C/D Exceeds 50pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN C/D端子に接続されている台数が50台を超過しています。 • それぞれ台数が50台以下となるよう接続を変更してください。
12	CU接続エラー	CU Comm Err (CU LINK：緑に点滅)	CU間の通信に異常が発生しました。 • CU間の接続に問題がないか確認してください。
13	CUリンク・オフ	CU Link OFF (CU LINK：緑に点滅)	CUリンクが解除されました。 • 意図せずこのエラーが発生した場合は、CU間の接続に問題がないか確認してください。
14	ネットワーク・エラー	Network Comm Err (REMOTE：緑に点滅)	(1) ネットワーク通信に異常が発生しました。 (2) IPコマンド通信に異常が発生しました。 • ネットワーク接続に問題がないか確認してください。

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケータ)	内容／対処方法
15	USB接続エラー	USB Access Err	USBデバイスへのアクセス時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
16	USBフォーマット・エラー	USB Format Err	USBデバイスのフォーマットに問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスのフォーマットを確認してください。 • FAT16、FAT32でフォーマットされたUSBデバイスを使用してください。
17	失敗。	Failed	(1) 何らかのシステム要因で設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 再操作してエラーが発生するか確認してください。 (2) 再生できません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスが装着されているか確認してください。 • USBデバイス内に再生するファイルがあるか確認してください。 • 再生するファイルのフォーマットが正しいか確認してください。(例えば、別の再生機器で再生できるか確認する) (3) 録音できません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスが装着されているか確認してください。 • USBデバイスが書き込み禁止になっていないか確認してください。 • USBデバイスの空き容量を確認してください。 • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
	ファイル・エクスポート失敗		(4) プリセットファイルがエクスポートできません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
	ファイル・インポート失敗		(5) プリセットファイルがインポートできません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
20	ログ設定：USB書き込みエラー	USB Write Err	データログがUSBメモリーに保存できません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスが装着されているか確認してください。 • USBデバイスが書き込み禁止になっていないか確認してください。 • USBデバイスの空き容量を確認してください。 • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
21	失敗。電源をお切り下さい。	CU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	CUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。
22	失敗。電源をお切り下さい。	IRCU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	IRCUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。
23	失敗。電源をお切り下さい。	DU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	DUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)
24	失敗。電源をお切り下さい。	DUa FW Update Err Please Turn Pwr OFF	DUaのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)
25	失敗。電源をお切り下さい。	INT FW Update Err Please Turn Pwr OFF	INTのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)
26	失敗。電源をお切り下さい。	IU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	IUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケータ)	内容／対処方法
27	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないDUのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of DU Failed Please Turn Pwr OFF	DUのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったDUがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったDUのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のDUを取り外してください。 ④③で取り外したDUの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
28	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないDUaのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of DUa Failed Please Turn Pwr OFF	DUaのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったDUaがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったDUaのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のDUaを取り外してください。 ④③で取り外したDUaの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
29	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないINTのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of INT Failed Please Turn Pwr OFF	INTのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったINTがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったINTのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のINTを取り外してください。 ④③で取り外したINTの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
30	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないIUのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of IU Failed Please Turn Pwr OFF	IUのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったIUがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったIUのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のIUを取り外してください。 ④③で取り外したIUの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
31	Data acquisition error.	Data Acquisition Err	ウェブリモートの操作やCUディスプレイの操作時にデータの取得に失敗しました。 •再操作してエラーが発生するか確認してください。
32	設定出来ません。	Unable to Set	(1) 文字列に禁止文字が含まれているため設定できません。 •禁止文字を文字列から削除してください。 (2) 入力した値が範囲外、または変更禁止状態のため設定できません。 •範囲内の値を入力してください。 •機器の状態を確認し、変更可能な状態であれば、再操作してエラーが発生するか確認してください。
		Can't.ReducePriority	(3) [同時発言マイク] (NOM) が現在のプライオリティ数との関係で変更できません。 •別の台数を設定するか、DUのプライオリティ設定を見直してください。
33	変更を適用するために全てのマイクをオフにする必要があります。 適用しますか？	Turn OFF All DU?	(4) 録音中／録音一時停止中／ファイル書込み中により、録音に関する設定が変更できません。 •録音停止してから再操作してください。 (5) 設定変更するためには、すべてのDUのマイクをオフにする必要があります。 •[はい]を選択すると、すべてのDUに対して強制的にマイクがオフされ、設定が変更されます。

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケータ)	内容/対処方法
34	制御出来ません。	Unable to Ctrl	(1)録音中/録音一時停止中/ファイル書き込み中により、操作できません。 (2)その他理由で操作できません。(設定変更以外の操作ができません) ・録音停止してから再操作してください。
35	IRDU台数有効赤外線チャンネル超過	Pst Recall Err	プリセットファイルが読み込めません。[同時発言マイク]の数が、有効な[IRDUチャンネル]の数を超過しています。 ・[赤外線設定]の[使用可能赤外線周波数チャンネル制限]の設定を[オフ]にしてください。
36	Dante接続エラー	Dante Comm Err	Danteボードとの通信に異常が発生しました ・電源をOFF後、再起動してください。再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
37	優先権の超過です。減らしてください	-	CUリンクにより、プライオリティ設定されているDUの数が設定値を超えました。プライオリティ設定されているDUの数を減らします。(いくつかのDUのプライオリティ設定を解除します) ・プライオリティ設定されているDUを確認し、必要に応じて設定を変更してください。
38	設定出来ません。優先権数の超過です。	-	プライオリティ設定できるDUの数は、[同時発言マイク](NOM)の設定値よりも1台少ない台数までです。現在の設定値では、これ以上、プライオリティ設定されたDUを増やせません。 ・NOMの設定値を変更するか、DUのプライオリティ設定を変更してください。
39	録音失敗	-	録音機能に異常が発生しました。ウェブリモートにおいて録音操作を伴わない録音不可エラーなど。 ・CU本体で録音中にエラーが発生していないか確認してください。エラーが発生していれば、その内容に従って対処してください。
40	デバイスID XXX バッテリー1 Low	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー1の残量が少なくなっています。 ・バッテリー1を交換してください。
41	デバイスID XXX バッテリー1 Empty.	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー1の残量が無くなりました。 ・バッテリー1を交換してください。
42	デバイスID XXX バッテリー2 Low	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー2の残量が少なくなっています。 ・バッテリー2を交換してください。
43	デバイスID XXX バッテリー2 Empty.	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー2の残量が無くなりました。 ・バッテリー2を交換してください。
44	デバイスID XXX IRDU応答なし	-	機器ID XXXのIRDUから応答がありません。 ・設置マニュアルを参考に、IRDUとIRAの設置環境をご確認の上、直前に行った操作をもう一度実行してください。
45	-	Boot Error XXX	起動時に異常が発生しました。(XXX:エラーコード) ・電源OFF後、再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。同じエラーが発生する場合は、CUの修理が必要となります。
46	-	Chg to FreeTalk Mode	コントロール機器との通信に異常が発生したため、会議モードをコントロール機器が不要なフリートークに切り替えます。 ・ネットワーク接続に問題がないか確認してください。
47	-	Forcible FW Update	CUの強制アップデートを行います。 ・メッセージに従いアップデート中は絶対に電源をOFFしないでください。
48	-	Connect USB Device with FW Update File	強制アップデートを行います。(CU/DUどちらの場合でも表示されます) ・ファームウェアの保存されたUSBデバイスをCUに装着してください。
49	-	Warning 60D	DUのトポロジーが変更されていないのに、接続台数が変更されました。 ・システム内のDUに不具合が発生した可能性があります。頻発する場合は、速やかに当社営業窓口までお問い合わせください。

仕様

■ ATUC-50CUの仕様

一般

I/Oコネクタ	入力	MIC/LINE×2、AUX (ST) × 1、INTERPRETATION RETURN× 2	
	出力	BAL.× 4、UNBAL.× 1	
	LINK/CHAIN	DU A/B端子、CU A/B端子 (DU C/D端子)	
録音 (*1)	USBストレージ機器経由	1/2/3/4トラック (WAV) (BWF規格) 1/2トラック (MP3) (オリジナル形式)	
	MP3ビットレート	64kbps/128kbps/192kbps/256kbps/320kbps	
再生 (*1)	WAV	データ長	16bit、24bit
		サンプリング周波数	48kHz
	MP3 (*2)	ビットレート	32-320kbps
		サンプリング周波数	48kHz
		最大ファイルサイズ	2GB
		最大ファイル数	30ファイル
シグナルディレイ		MIC入力から出力：1ms DUからCU：1.2ms	
応答周波数		+1.0 -2.0dB、20Hz ~ 20kHz (1kHz、+4dBu出力)	
ダイナミックレンジ		110dB、A-Weighted	
S/N比		89dB、A-Weighted	
ヘッドルーム		20dB	
雑音等価入力	マイク/ライン 1-2	-126dBu未満、Rs=150ohm	
残留雑音		-86dBu未満、A-Weighted	
全高調波歪率		0.03%未満、1kHz ユニティ	
クロストーク@ 1kHz		-80dB未満	
OLEDディスプレイ		20 × 2キャラクタータイプ、カラー：イエロー	
ファントム電源		DC+48V	
電源		AC 100V ~ 240V 50/60Hz	
消費電力		20W ~ 175W (最大)、ATUC-50DU 50台は2.55A相当	
動作保証温度		0 ~ 45℃	
動作保証湿度		25 ~ 85%	
外形寸法 (W×D×H)		482.6mm× 331.6mm× 44mm	
質量		3.4kg	
仕上げ処理	前面	ブラック	
	上面/背面	ブラック	
付属品		電源コード、ユーロブロックコネクタ× 9	

*1：対応ファイルシステム：FAT16/FAT32

*2：MPEG-1 Audio Layer-3のみ対応

入力／出力仕様

アナログ入力仕様

入力端子	ゲイン	負荷インピーダンス	入力レベル			コネクタ	バランス／アンバランス	
			最小値	公称値	最大値			
MIC/LINE 入力 1-2	Mic	15～59dB	5k ohm	-60dBu	-40dBu	-16dBu	ユーロブロック	バランス
	Line	15～59dB	20k ohm	-40dBu	+4dBu* 0dBu	+24dBu* +20dBu	ユーロブロック	バランス
AUX入力 LR (モノ×2)	-	10k ohm	-	0dBV* -10dBV/ -20dBV	+20dBV* +10dBV/ 0dBV		RCAピン	アンバランス
INTERPRETATION RETURN 1-2	-	20k ohm	-	+4dBu* 0dBu	+24dBu* +20dBu		ユーロブロック	バランス

* デフォルト設定

アナログ出力仕様

出力端子	負荷インピーダンス	出力レベル			コネクタ	バランス／アンバランス
		最小値	公称値	最大値		
BAL. (バランス) 出力 1-4	150ohm	-	+4dBu	+24dBu	ユーロブロック	バランス
UNBAL. (アンバランス) 出力 1	300ohm	-	0dBV	+20dBV	ユーロブロック	アンバランス

デジタル入力／出力仕様

端子	フォーマット	データ長/ サンプリング周波数	オーディオ	コネクタ
USB	USB	24bit/48kHz	再生：MP3またはWAV、録音：MP3またはWAV	USB (タイプA)
DU CHAIN A/B (C/D)	オリジナル形式	24bit/48kHz	フロアー、リターン、通訳言語、アクティブマイク	RJ-45
CU LINK A/B	オリジナル形式	24bit/48kHz	フロアー、リターン、通訳言語、アクティブマイク	RJ-45

コントロールI/O仕様

端子	フォーマット	レベル	コネクタ
NETWORK	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	RJ-45

ATUC-50DU/DUa/INTの仕様

一般

I/Oコネクタ	入力	マイクロホン端子
	出力	ヘッドホン接続端子
	CHAIN	DU / CU接続端子
データ長/サンプリング周波数	24bit/48kHz	
応答周波数	+1.0 -2.0dB, 20Hz ~ 20kHz (1kHz, +4dBu出力)	
ダイナミックレンジ	104dB, A-Weighted	
S/N比	84dB, A-Weighted	
ヘッドルーム	20dB	
雑音等価入力	-121dBu未満, Rs=150ohm	
全高調波歪率	0.07%未満, 1kHz ユニティ	
ファントム電源	DC+24V	
電源	DC+48V	
消費電力	2.2W	
動作保証温度	0 ~ 45℃	
動作保証湿度	25 ~ 85%	
外形寸法 (W×D×H)	135mm×148.3mm×84.2mm	
質量	570g (オプションのボトムウェイトを含む: 900g)	
仕上げ処理	前面	ガンメタル
	筐体	ブラック
付属品	クイックセットアップガイド、保証書	

入力/出力仕様

アナログ入力仕様

入力端子	ゲイン	負荷インピーダンス	入力レベル			コネクタ	バランス/アンバランス
			最小値	公称値	最大値		
MIC入力	7 ~ 47dB	5k ohm	-60dBu	-40dBu	-20dBu	XLRメス	バランス

アナログ出力仕様

出力端子	負荷インピーダンス	出力レベル			コネクタ
		最小値	公称値	最大値	
ヘッドフォン	32ohm	-	1.5mW	15mW	φ 3.5mmステレオ
スピーカー	8ohm	-	50mW	100mW	-

デジタル入力/出力仕様

端子	フォーマット	データ長/ サンプリング周波数	オーディオ	コネクタ
DU CHAIN A/B	オリジナルフォーマット	24bit/48kHz	フロアー、リターン、通訳言語、アクティブマイク	RJ-45

コントロールI/O仕様

端子	フォーマット	レベル	コネクタ
拡張端子	UART	+5V, TX, RX, GND	RJ-11

■ ATUC-50IUの仕様

一般

I/Oコネクタ	入力	ユーロブロックコネクタ：マイク入力端子×1組、操作入力端子×6、汎用入力端子(GPI)×8
	出力	ユーロブロックコネクタ：スピーカー出力端子×1組、ヘッドホン出力端子×1組、ステータス出力端子×6、電源出力端子×1組、汎用出力端子(GPO)×8
	CHAIN	DU / CU接続端子
データ長/サンプリング周波数		24bit/48kHz
応答周波数		+1.0 -2.0dB, 20Hz ~ 20kHz (1kHz, +4dBu出力)
ダイナミックレンジ		104dB, A-Weighted
S/N比		84dB, A-Weighted
ヘッドルーム		20dB
雑音等価入力		-125dBu未満, Rs=150ohm
全高調波歪率		0.07%未満, 1kHz ユニティ
ファントム電源		DC+48V
電源		DC+48V
消費電力		3.4W
動作保証温度		0 ~ 45℃
動作保証湿度		25 ~ 85%
外形寸法 (W×D×H)		116mm×173mm×25mm
質量		460g
付属品		クイックスタートガイド、ユーロブロックコネクタ×13 (緑×3、黒×10)、保証書

入力/出力仕様

アナログ入力仕様

入力端子	ゲイン	負荷インピーダンス	入力レベル			コネクタ	バランス/アンバランス
			最小値	公称値	最大値		
MIC入力	7 ~ 47dB	4k ohm	-60dBu	-40dBu	-20dBu	ユーロブロック	バランス

アナログ出力仕様

出力端子	負荷インピーダンス	出力レベル			コネクタ
		最小値	公称値	最大値	
ヘッドフォン	32ohm	-	1.5mW	15mW	ユーロブロック
スピーカー	8ohm	-	50mW	100mW	ユーロブロック

デジタル入力/出力仕様

端子	フォーマット	データ長/サンプリング周波数	オーディオ	コネクタ
DU CHAIN A/B	オリジナルフォーマット	24bit/48kHz	フロアー、リターン、通訳言語、アクティブマイク	RJ-45

コントロールI/O仕様

端子	コネクタ
操作入力端子	ユーロブロック
ステータス出力端子	ユーロブロック
汎用入力/出力端子	ユーロブロック

■ ATLK-EXT165の仕様

一般

I/Oコネクタ	リンクパワーステータス	ユーロブロックコネクタ (3ピン)
	CHAIN	DU / CU接続端子 (RJ45 x 2)
電源		AC 100V ~ 240V 50/60Hz
消費電力		15W ~ 160W (最大)、ATUC-50DU 50台は2.55A相当
動作保証温度		0 ~ 45℃
動作保証湿度		25 ~ 85%
外形寸法 (W×D×H)		217mm×326mm×41mm
質量		2.2kg
付属品		クイックスタートガイド、ユーロブロックコネクタ×1 (黒)、テーブルマウント、保証書

■ ATLK-EXT25の仕様

一般

I/Oコネクタ	入力	操作入力端子
	出力	Audio-Technica LINK POWER STATUS出力端子×1
	CHAIN	Audio-Technica LINK A/B端子
電源		PoE IN (IEEE 802.3af/IEEE 802.3at準拠) あるいはAC100V 50/60Hz (ACアダプター 12V 3A使用)
消費電力		1W ~ 36W (最大)
動作保証温度		0 ~ 40℃
動作保証湿度		25 ~ 85%
外形寸法 (W×D×H)		116mm×173mm×25mm
質量		494g
付属品		クイックスタートガイド、ユーロブロックコネクタ×2

■ ATUC-VUの仕様

一般

電源	DC+5V (DUaから供給)
消費電力	最大240mA
対応NFC	MIFARE
動作保証温度	0 ~ 40℃
動作保証湿度	25 ~ 85%
外形寸法 (W×D×H)	150mm×67mm×20mm
ケーブル長	420mm
質量	105g (ケーブル含む)

■ ATUC-M43H/58Hの仕様

	ATUC-M43H	ATUC-M58H
型式	バックエレクトレットコンデンザー型	
指向特性	ハイパーカーディオイド	
周波数特性	100～15,000Hz	
感度 (0dB=1V/1Pa、1kHz)	-40dB	
最大入力音圧レベル (1kHz、THD1%)	134dB S.P.L.	
SN比 (1kHz、1Pa)	64dB以上	
出力インピーダンス	250ohm平衡	
仕上げ	マットブラック焼付塗装	
外形寸法	φ 18.9 × 430mm	φ 18.9 × 580mm
質量	約82g	約92g

■ ATUC-M32Lの仕様

型式	バックエレクトレット・コンデンサー型
指向特性	超指向性
周波数特性	100～15,000Hz
感度 (0dB=1V/1Pa、1kHz)	-34dB (19.9mV)
最大入力音圧レベル (1kHz、THD1%)	128dB S.PL
SN比 (1kHz、1Pa)	70dB
出力インピーダンス	250ohm
ファントム電源	DC24～52V、7.7mA
外形寸法	φ 10.0×320.0mm
質量	約83g
出力コネクタ	3ピンXLR-Mタイプ 平衡

■ ATUC-IRCU/ATUC-IRCUDANの仕様

一般

I/Oコネクタ	入力	MIC/LINE×2、AUX (ST) × 1、INTERPRETATION RETURN×2
	出力	BAL.×4、UNBAL.×1
	LINK/CHAIN	DU A/B端子、CU A/B端子 (DU C/D端子)
	Dante/コントロール (ATUC-IRCUDANのみ)	Dante Primary/Secondary, NETWORK port
	IRアンテナ	IRアンテナI/O端子×4
録音 (*1)	USBストレージ機器経由	1/2/3/4トラック (WAV) (BWF規格) 1/2トラック (MP3) (オリジナル形式)
	MP3ビットレート	64kbps/128kbps/192kbps/256kbps/320kbps
再生 (*1)	WAV	データ長 16bit, 24bit
		サンプリング周波数 48kHz
	MP3 (*2)	ビットレート 32-320kbps
		サンプリング周波数 48kHz
		最大ファイルサイズ 2GB
	最大ファイル数 30ファイル	
データ長		24bit
サンプリング周波数		48kHz
シグナルディレイ		MIC入力から出力：1ms DUからCU：1.2ms
応答周波数		+1.0 -2.0dB, 20Hz ~ 20kHz (1kHz, +4dBu出力)
ダイナミックレンジ		110dB, A-Weighted
S/N比		89dB, A-Weighted
ヘッドルーム		20dB
雑音等価入力	マイク/ライン 1-2	-126dBu未満, Rs=150ohm
残留雑音		-86dBu未満, A-Weighted
全高調波歪率		0.03%未満, 1kHz ユニティ
クロストーク@ 1kHz		-80dB未満
OLEDディスプレイ		20 × 2 キャラクタータイプ、カラー：イエロー 動作寿命：100,000時間
ファントム電源		DC+48V
電源		AC 100V ~ 240V 50/60Hz
消費電力		26W ~ 175W (最大)
動作保証温度		0 ~ 45℃
動作保証湿度		25 ~ 85%
外形寸法 (W×D×H)		434mm× 326mm× 44mm
質量		4.76kg
仕上げ処理	前面	ブラック
	上面/背面	ブラック
付属品		電源コード、ユーロブロックコネクタ×9

*1：対応ファイルシステム：FAT16/FAT32

*2：MPEG-1 Audio Layer-3のみ対応

入力／出力仕様

アナログ入力仕様

入力端子	ゲイン	負荷インピーダンス	入力レベル			コネクタ	バランス／アンバランス	
			最小値	公称値	最大値			
MIC/LINE 入力 1-2	Mic	15～59dB	5k ohm	-60dBu	-40dBu	-16dBu	ユーロブロック	バランス
	Line	15～59dB	20k ohm	-40dBu	+4dBu* 0dBu	+24dBu* +20dBu	ユーロブロック	バランス
AUX入力 LR (モノ×2)	-	10k ohm	-	0dBV* -10dBV/ -20dBV	+20dBV* +10dBV/ 0dBV		RCAピン	アンバランス
INTERPRETATION RETURN 1-2	-	20k ohm	-	+4dBu* 0dBu	+24dBu* +20dBu		ユーロブロック	バランス

* デフォルト設定

アナログ出力仕様

出力端子	負荷インピーダンス	出力レベル			コネクタ	バランス／アンバランス
		最小値	公称値	最大値		
BAL. (バランス) 出力 1-4	150ohm	-	+4dBu	+24dBu	ユーロブロック	バランス
UNBAL. (アンバランス) 出力 1	300ohm	-	0dBV	+20dBV	ユーロブロック	アンバランス

赤外線入力／出力仕様

端子	負荷インピーダンス	コネクタ
IRアンテナ端子	75ohm	BNC

デジタル入力／出力仕様

端子	フォーマット	データ長/ サンプリング周波数	オーディオ	コネクタ
USB	USB	24bit/48kHz	再生：MP3またはWAV、録音：MP3またはWAV	USB (タイプA)
DU CHAIN A/B (C/D)	オリジナル形式	24bit/48kHz	フロアー、リターン、通訳言語、アクティブマイク	RJ-45
CU LINK A/B	オリジナル形式	24bit/48kHz	フロアー、リターン、通訳言語、アクティブマイク	RJ-45

コントロールI/O仕様 (ATUC-IRCU)

端子	フォーマット	レベル	コネクタ
NETWORK	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	RJ-45

コントロールI/O仕様 (ATUC-IRCUDAN)

端子	フォーマット	レベル	コネクタ
DANTE Primary	DANTE	10BASE-T/100BASE-TX /1000base-TX	RJ-45
DANTE Secondary	DANTE	10BASE-T/100BASE-TX /1000base-TX	RJ-45
NETWORK	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	RJ-45

■ ATUC-IRDUの仕様

一般

通信方式	赤外線	
周波数	1MHz ~ 10 MHz	
変調方式	FM	
波長	870nm	
範囲	最大6m	
I/Oコネクタ	入力	マイクロホン端子
	出力	ヘッドホン接続端子×2
応答周波数	+1.0 - 2.0dB, 200Hz ~ 5kHz (1kHz, +4dBu出力)	
ダイナミックレンジ	65dB, A-Weighted	
S/N比	58dB, A-Weighted	
ヘッドルーム	7dB	
雑音等価入力	-80dBu未満, Rs=150ohm	
全高調波歪率	1%未満, 1kHz ユニティ	
ファントム電源	DC+24V	
バッテリー	LI-240a (リチウムイオン電池) × 2	
バッテリー寿命	バッテリー 1 個	6時間40分 (送信:受信 = 1:4)
	バッテリー 2 個	13時間20分 (送信:受信 = 1:4)
電源	DC+12V, 1A	
消費電力	4.0W	
動作保証温度	0 ~ 40℃	
動作保証湿度	25 ~ 85%	
外形寸法 (W×D×H)	189mm × 150mm × 71.3mm	
質量	約800g (バッテリー×2を含む)	
仕上げ処理	前面	ガンメタル
	筐体	ブラック
付属品	バッテリーカバー × 2	

入力／出力仕様

アナログ入力仕様

入力端子	ゲイン	負荷インピーダンス	入力レベル			コネクタ	バランス／アンバランス
			最小値	公称値	最大値		
MIC入力	7 ~ 47dB	5k ohm	-60dBu	-40dBu	-20dBu	XLRメス	バランス

アナログ出力仕様

出力端子	負荷インピーダンス	出力レベル			コネクタ
		最小値	公称値	最大値	
ヘッドフォン	32ohm	-	1.5mW	15mW	φ 3.5mmステレオ
スピーカー	8ohm	-	50mW	100mW	-

■ ATUC-IRAの仕様

通信方式	赤外線	
周波数	1MHz ~ 10MHz	
変調方式	FM	
波長	870nm	
範囲	最大6m	
消費電力	4.0W	
動作保証温度	0 ~ 40℃	
動作保証湿度	25 ~ 85%	
外形寸法 (W×D×H)	130mm × 35mm × 130mm	
質量	約260g	
仕上げ処理	トップパネル	ホワイトメタリックカラー
	筐体	ホワイトマットテクスチャー
付属品	マウントブラケット× 1、ネジ× 2	

入力／出力仕様

端子	負荷	チャンネル		コネクタ
IRアンテナ	75ohm	トーク 10ch	モニター 4ch	BNC

■ ATUC-IRDの仕様

分配数	2
周波数帯域	1 ~ 10MHz
混合・分配損失	5dB以下
入出力インピーダンス	75ohm
接続端子	BNCジャック (電流通過型 50V以下、1A以下)
動作保証温度	-10 ~ 50℃
外形寸法 (W×D×H)	100 mm × 82.6 mm × 30mm
質量	167g

■ ATCS-B60の仕様

電源	AC100V 50/60Hz (ACアダプター 10V 7.2A使用)
定格容量	60VA (10V 6A)
充電電流	550mA
充電時間	約5.5時間 (専用充電電池充電時)
外形寸法 (W×D×H)	130mm × 340mm × 86.7mm (突起部は含まず)
質量	2kg (ACアダプター、電源コード含まず)

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬 2-46-1

www.audio-technica.co.jp

©2021 Audio-Technica Corporation

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社ホームページ記載の当社営業窓口までお問い合わせください。